

第2次

芦北町環境基本計画

令和2年度 ▶ 令和11年度



令和2年3月

熊本県芦北町

【はじめに】



本町では、「自然の恵みと生活の豊かさがともに実感でき、だれもが安心して暮らせる、環境に配慮したまちづくり」を基本理念とした「芦北町環境基本計画（第1次）」を策定し、平成22年度（2010年度）から令和元年度（2019年度）までの10年間の計画期間として、快適な環境の創造に向けた様々な施策を実施して参りました。

一方で、近年の環境問題に目を向けますと、大気や水質などの生活環境に関する問題や、不法投棄などの廃棄物に関する問題など、私たちにとって身近な環境問題から、地球温暖化の影響と思われる局地的集中豪雨の頻発や自然界の生態系の変化、また、海洋のマイクロプラスチックやエネルギー問題など、地球規模で対応が必要な環境問題まで、大小関わらず、その内容は多岐にわたっています。

また、公害の原点と言われる「水俣病」は、公式確認から60年が過ぎた今でも多くの方々が健康被害等で苦しんでおられ、さらに、時間の経過と共に水俣病を知らない人も多くなり、人々の記憶から風化されることが危惧されています。

そこで、本町では、第1次計画から引き続き、快適な環境の創造を図るため、令和11年度（2029年度）までの環境施策の方向性を示した「第2次芦北町環境基本計画」を策定しました。

第2次計画では、第1次計画に基づき実施してきた施策の成果等を踏まえ、引き続き課題解決に必要な取り組みを継承しつつ、目まぐるしく変わる社会情勢や前述のような世界規模の環境問題に対応するための新たな視点を加えた計画となっております。

今ある環境を将来の世代に引き継ぐことは、今を生きる私たちの責務であり、今後、何世代にもわたって続いていく、すべての生命への配慮でもあります。

上位計画である芦北町総合計画の基本理念「すべては、次代を担う子どもたちのために」自然豊かで美しく、環境に優しい「芦北町」を次代に繋いでいくため、今後も、本計画に基づき様々な施策に取り組んで参ります。

最後に、本計画の策定に当たり、貴重な御意見・御提言をいただきました町民の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝を申し上げますとともに、本計画の推進に当たりましても、今後、皆さまの積極的な御参加、並びに御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

芦北町長 竹 崎 一 成

【目次】第2次芦北町環境基本計画

第1章 基本的事項

1 - 1	基本計画策定の背景	
(1)	これまでの取り組み	1
(2)	社会情勢等の変化	1
1 - 2	計画の概要	
(1)	計画策定の目的	2
(2)	計画の役割と位置づけ	2
(3)	計画の期間	3
(4)	計画の対象地域	4
(5)	対象とする環境の範囲	4

第2章 町が目指す環境のすがた

2 - 1	芦北町の概況	
(1)	位置と地勢	5
(2)	町の歴史	5
(3)	気象	5
(4)	人口と世帯	6
(5)	産業	7
(6)	土地利用面積	9
(7)	交通体系	10
2 - 2	基本目標及び施策の体系	11

第3章 具体的な環境施策

3 - 1	基本目標1 豊かな自然を知り、守り育てるまちづくり	12
(1)	自然と親しむ	13
(2)	豊かな森林を守る	14
(3)	農地を守り、安全な作物をつくる	15
(4)	川と海の生態を守る	16
(5)	数値目標	17
3 - 2	基本目標2 安全、安心に暮らせる環境づくり	18
(1)	ごみを限りなくゼロに近づける	19

(2)	環境美化を推進する	20
(3)	水資源を大切に	21
(4)	大気汚染や悪臭発生、騒音、振動を防ぐ	22
(5)	数値目標	22
3 - 3	基本目標3 ふるさとの歴史・文化を学び伝え、創造するまちづくり	23
(1)	貴重な歴史文化財を守り知る	24
(2)	自然と共生した心豊かな文化的生活を	25
(3)	水俣病に学び、伝える	26
(4)	数値目標	27
3 - 4	基本目標4 ひとりひとりが考え、みんなで取り組む快適な環境づくり	28
(1)	ひとりひとりの環境に対する意識を高める	29
(2)	環境保全活動に取り組む	30
(3)	数値目標	31
3 - 5	基本目標5 地球環境に配慮したまちづくり	32
(1)	省エネルギーに取り組む	33
(2)	代替エネルギーへシフトする	34
(3)	数値目標	34

第4章 計画の推進

4 - 1	推進体制	35
4 - 2	計画の進行管理	36

資料編

1	計画策定の経過	37
2	アンケート結果（一般）	39
3	アンケート結果（中学生・高校生）	86

第1章 基本的事項

1 - 1 基本計画策定の背景

(1) これまでの取り組み

芦北町では、芦北町環境基本条例に基づき、平成22年度（2010年度）から令和元年度（2019年度）の10年間を計画期間として、「自然の恵みと生活の豊かさがともに実感でき、だれもが安心して暮らせる、環境に配慮したまちづくり」を基本理念に掲げた、芦北町環境基本指針（以下「基本指針」といいます。）を策定し、快適な環境の創造に向けた各種環境施策を推進してきました。その基本指針に基づき策定された芦北町環境基本計画（以下「基本計画」といいます。）は、上位計画の芦北町総合計画（第一次）の基本理念である「個性の光る活力あるまちづくり」を環境視点から具現化する計画であると共に、基本指針で掲げた5項目の基本目標について具体的な施策の方向性を定め、町民、事業者及び町のそれぞれの取り組みを明確化し、環境の適正な保全及び利用に資することを目的としたものでした。

このような中、基本計画（第1次）の終期を迎えるに当たり、本町を取り巻く課題や社会環境の変化に対応し、環境行政を適切に運営していくために今回見直しを行うこととなりました。

(2) 社会情勢等の変化

我が国は、戦後の高度経済成長期の耐久消費財等の普及によって、大幅に生活水準を向上させ、物質的に豊かな国となりました。その反面、産業活動や人々の生活に起因する公害が各地で発生し、たくさんの方がその被害を受けました。私たちの住む芦北町でも、「公害の原点」といわれる「水俣病」が発生し、いまでも多くの方がその後遺症等に悩まされ、日々生活されています。

これら公害については、本来あった環境の回復と保全を継続して行っていくことが課題となっています。また、本格的な少子高齢化・人口減少社会の到来や都市部への若年人口の流出、里地里山の荒廃、有害鳥獣等による農作物等への被害が顕著にみられるようになり、様々な要因で生物多様性は失われつつあり、重要な資源が確保できなくなることはおろか、災害が発生する危険性が増加しています。

平成23年に発生した東日本大震災や平成28年に発生した熊本地震を契機として、安全・安心を前提とした持続可能な社会の形成が求められています。

一方、世界に目を向けると、秩序を欠いた開発等による環境破壊の深刻化、温室効果ガスを起因とした地球温暖化等が顕在化してきました。

以上のことを踏まえ、環境問題は世界規模の問題であり、地球環境まで見据えた環境保全活動等に取り組むことがとても重要になってきました。

なお、前基本計画と同様に町民、事業者及び町がそれぞれの役割を担いながら連携を図り、協働により基本計画を推進していくことが期待されます。

1 - 2 計画の概要

(1) 計画策定の目的

本計画は、芦北町環境基本条例第5条第1項の「芦北町環境基本指針」に基づき、町の快適な環境創造を図るため策定するものであり、町の基本方針及び取り組むべき具体的施策を定め、町民、事業者及び町のそれぞれの役割を明確に示し、環境の適正な保全及び利用に資することを目的としています。

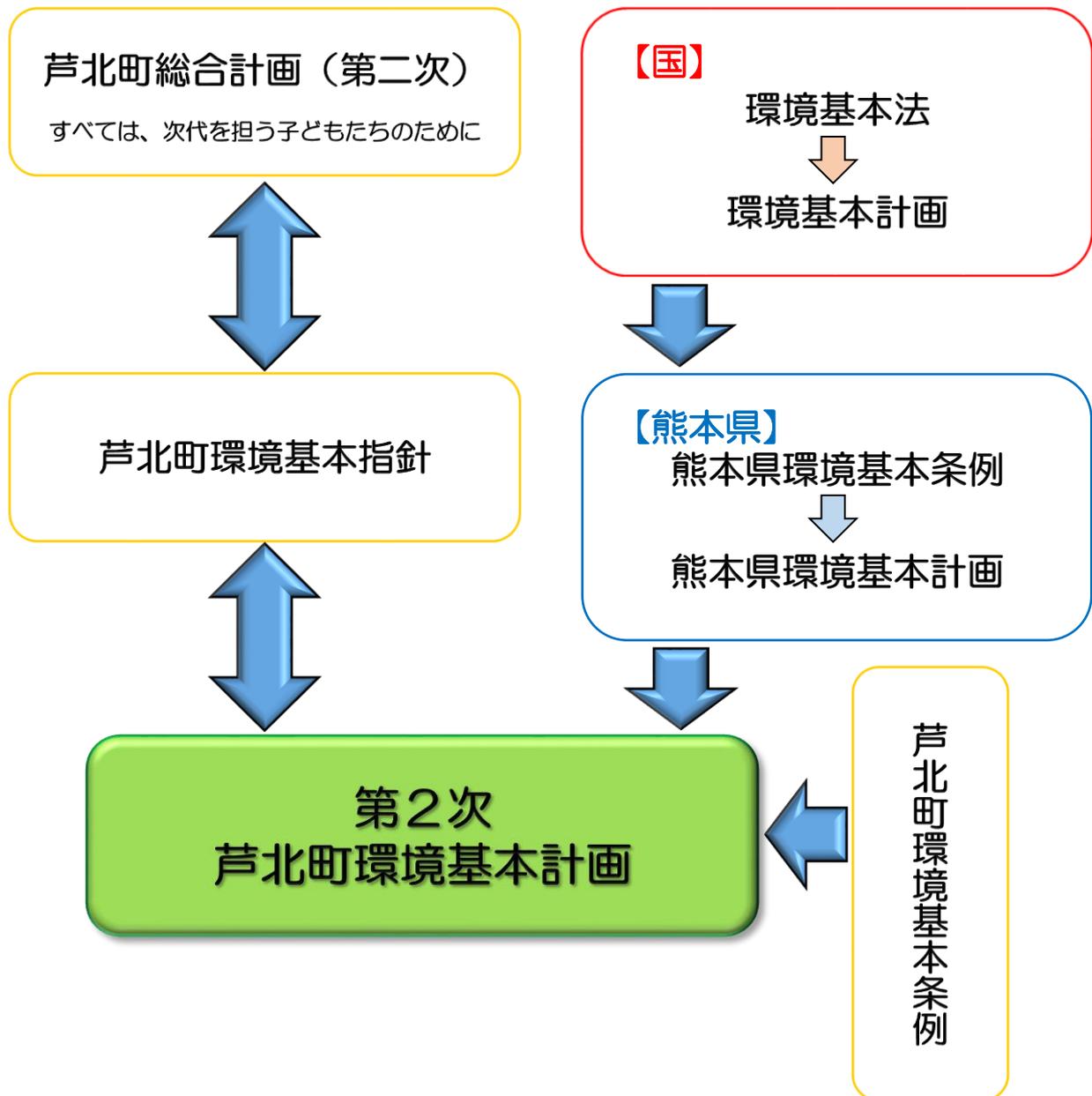
＜芦北町環境基本条例第5条に規定する基本指針＞

- 町長は、快適な環境の創造を図るため、第2条第1項各号に掲げる施策について基本となる指針（以下、「基本指針」という。）を策定し、これに基づき当該施策の計画的実施に努めるものとする。
- 町長は、各地域における今日の自然的、社会的特性を認識し、その適正な保全及び利用に資するための基本となる計画（以下、「基本計画」という。）を策定するものとする。

(2) 計画の役割と位置づけ

本計画は、上記条例に基づく環境に関する総合的な方向性を示すものであるとともに、町の最上位計画である「芦北町総合計画（第二次）」に掲げる「すべては、次代を担う子どもたちのために」を環境視点で実現することと、他計画と総合的かつ横断的に推進を図ることで、自然豊かで美しく、環境に優しい「芦北町」を次代へ繋げていくという重要な役割を担っています。

< 計画体系 >



(3) 計画の期間

令和2年度から令和11年度の10年間とします。

なお、本町を取り巻く社会環境の変化や科学的な進展、また、環境問題等の変化等を踏まえ、必要に応じて、計画の見直しを行います。

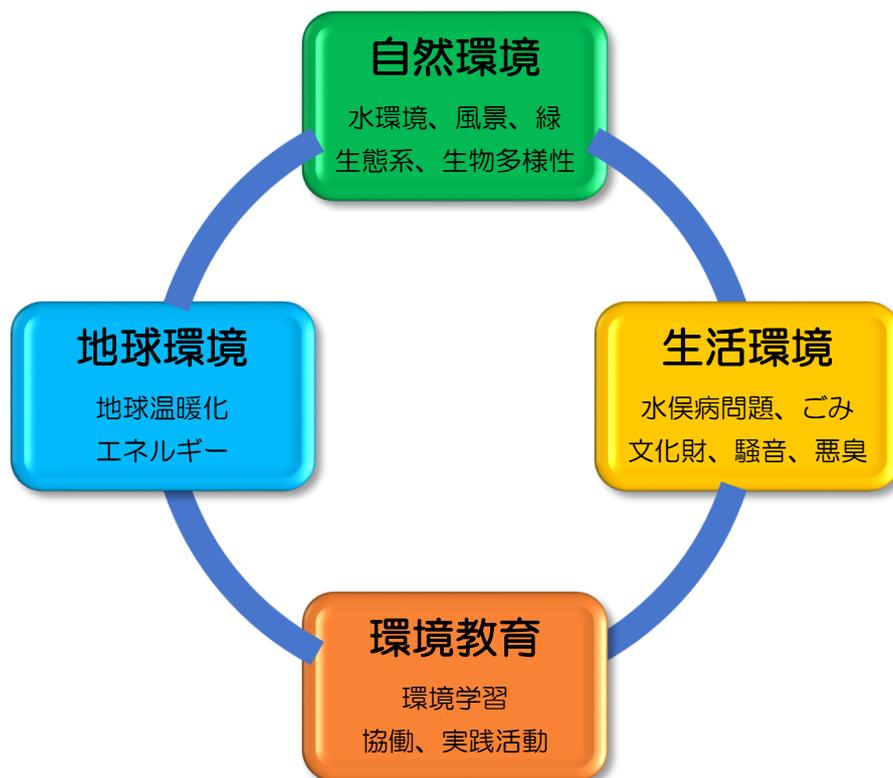


(4) 計画の対象地域

本計画で対象とする地域は芦北町全域とします。

(5) 対象とする環境の範囲

環境の範囲は、生活環境等の身近な環境問題から地球規模の環境問題まで多岐に渡ることから、本計画では、以下に示す4つの観点から課題解決に向けて取り組むこととします。



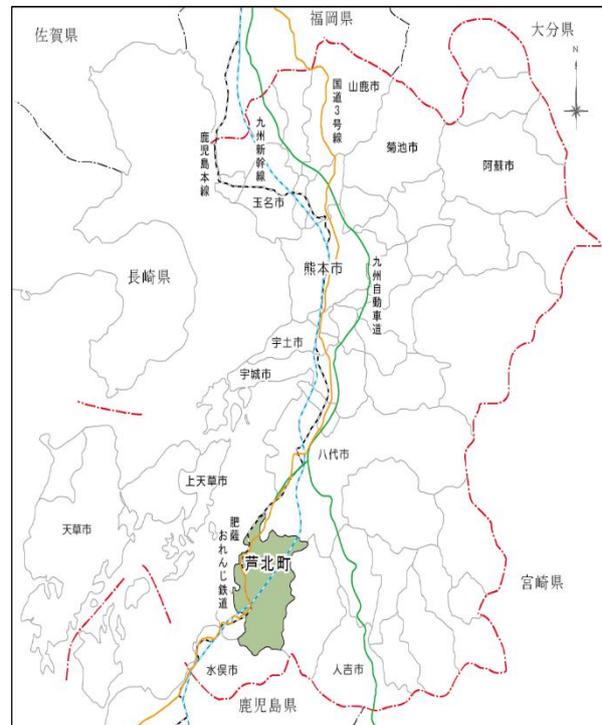
第2章 町が目指す環境のすがた

2-1 芦北町の概況

(1) 位置と地勢

芦北町は、熊本県の南部に位置し、東西約16.6km、南北約25.4kmと南北方向に長く、総面積233.98km²で、県内で7番目に広い面積を有しています。南に津奈木町と水俣市、東は球磨川をはさんで球磨村、北は八代市に隣接しています。

面積の約8割を緑豊かな山々が占め、本町最高峰の大関山（標高902m）を源とする清らかで豊富な水が不知火海（八代海）に注いでいます。西方に開けた芦北海岸は天草の島々を望み、県立自然公園指定の美しいリアス式海岸を形成し、温暖な気候は、甘夏みかんやデコポンの産地として知られています。



(2) 町の歴史

万葉の時代から「葦北（あしきた）の国」として知られ、古くから九州南部への海・陸両路の重要な拠点であったことがうかがえます。さらに大陸文化との交流形跡も見られるほか、近世には肥薩国境の要衝の地となり、城下町として、あるいは宿場、商い場、湯治場として栄え、県南の政治・経済・文化の中心として発展しました。昭和30年（1955年）1月に佐敷町、大野村、吉尾村の3ヶ町村が合併し「葦北町」となり、昭和45年（1970年）11月に葦北町と湯浦町が合併して「芦北町」となりました。その後、平成の大合併により、平成17年（2005年）1月1日に田浦町と芦北町が合併して、新「芦北町」が誕生し現在に至っています。

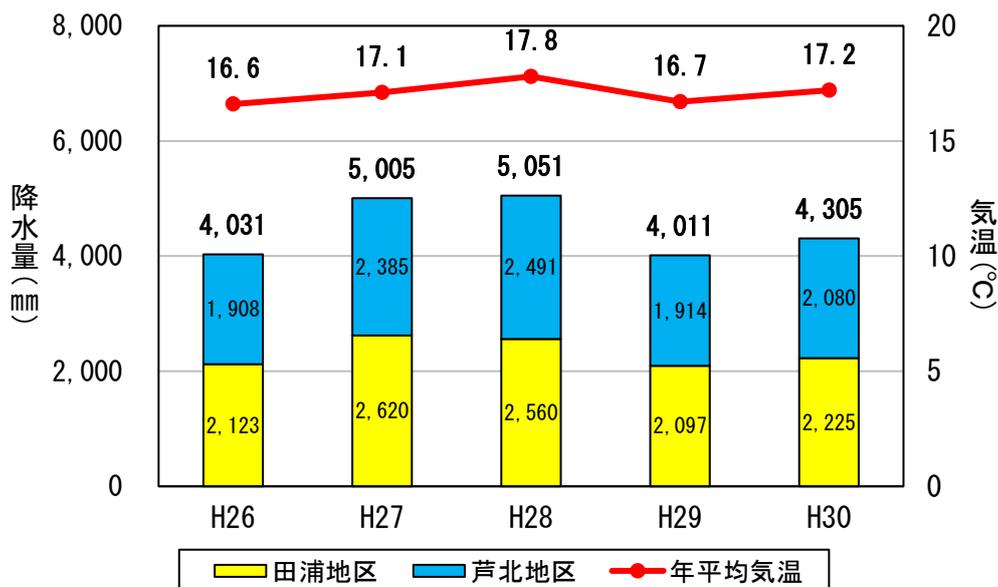
（出典：芦北町総合計画）

(3) 気象

芦北町の気候は、温暖な海岸地域と冷涼な山間地域に大きく分けられ、年平均気温は16℃から18℃で、年間降水量は4,000mmから5,000mm前後となっています。

また、海岸地域は暖流の影響により比較的暖かく無霜地帯が多くあるのに対し、山間地域は降雨量、湿度がともに高く比較的冷涼な気候となっています。

＜年総降水量と年平均気温（気象庁、熊本県）＞



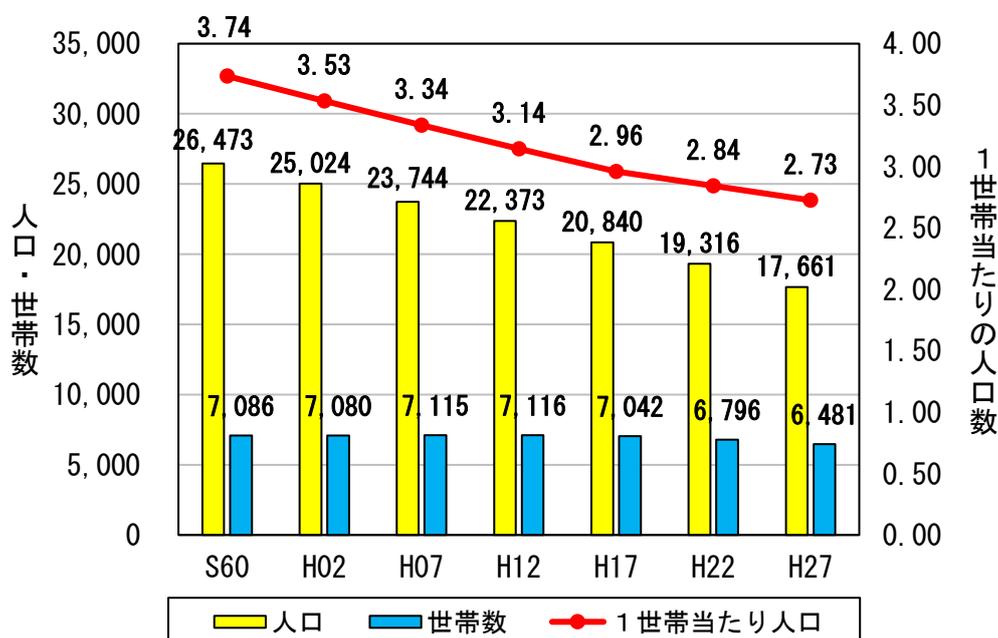
（４）人口と世帯

芦北町の人口は、平成27年（2015年）国勢調査では17,661人、世帯数は6,481世帯ですが、昭和30年代（1955年代）前半をピークに減少傾向にあり、今後も減少していくことが予想されます。

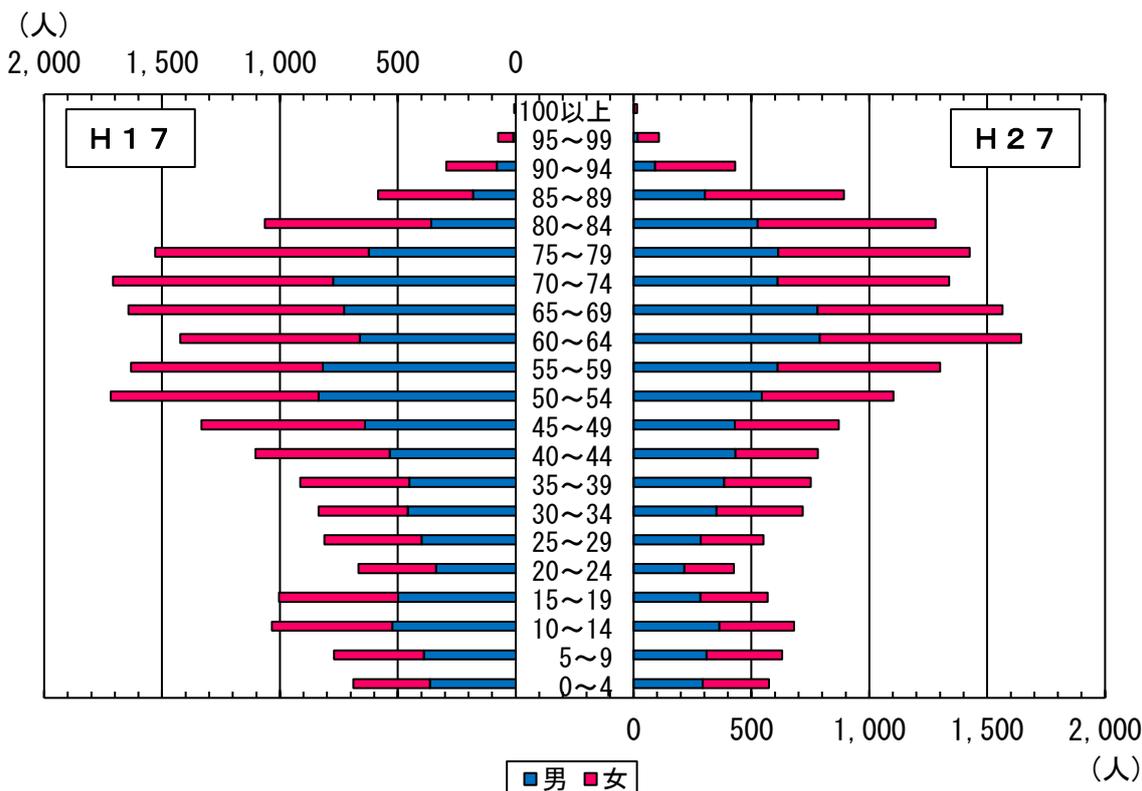
また、総人口の減少と共に、生産年齢人口（15歳～64歳）と年少人口（0歳～14歳）のいずれも減少が続いています。

一方、老年人口（65歳以上）は、昭和45年代（1970年代）の高度経済成長期には一時減少しましたが、生産年齢人口が順次老年期に入ったことや、平均寿命が延びたこともあり再び増加し、平成2年（1990年）には年少人口を上回り、以降も増加を続けています。

＜人口・世帯数等の推移（国勢調査）＞



<年齢5歳階級別人口比較（国勢調査）>



(5) 産業

平成27年国勢調査における就業者数は7,879人で、その内訳は第3次産業が61.5%と最も高く、続いて第2次産業22.9%、第1次産業15.6%となっています。

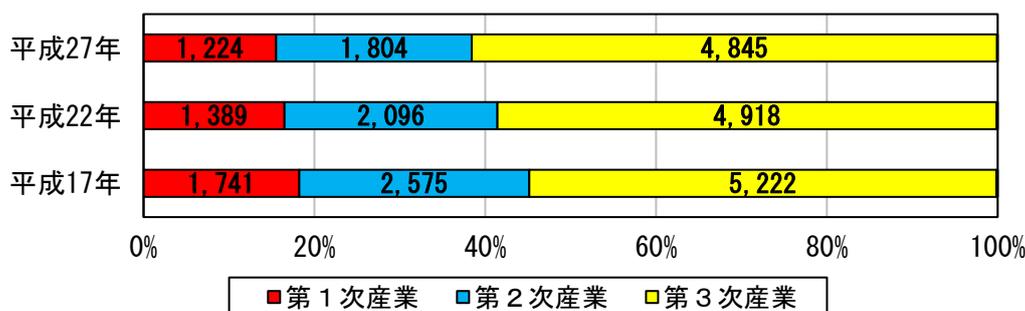
各業の推移を見てみると、農業は、農業就業人口及び経営耕地面積ともに10年の間に減少しており、耕作放棄地が増加してきていることがうかがわれます。

漁業は、漁業従事者数及び漁獲量共に減少しています。

商工業は、商店数については年々減少していますが、商品販売額については、平成19年と比較すると減少していますが、近年では増加傾向にあります。

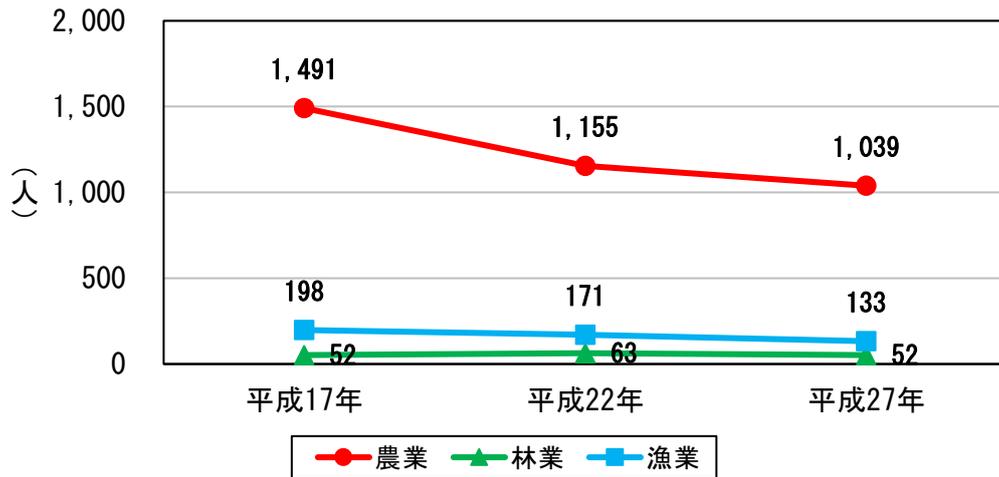
また、製造業についても、平成24年と比較すると、各数値減少していますが、近年では、増加傾向にあります。

<産業別就業者数（人）（国勢調査）>

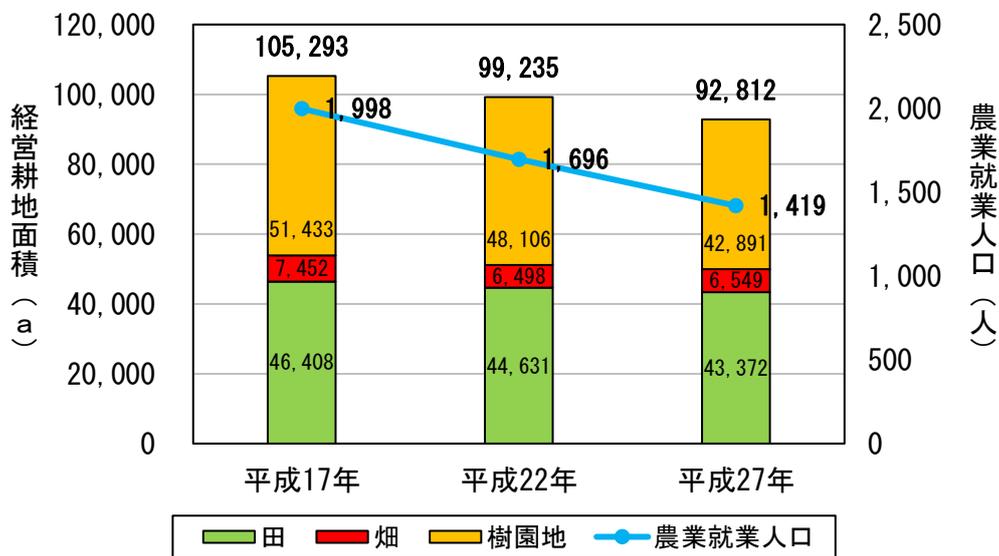


※ 分類不能があるため、文中総数とは一致しない。

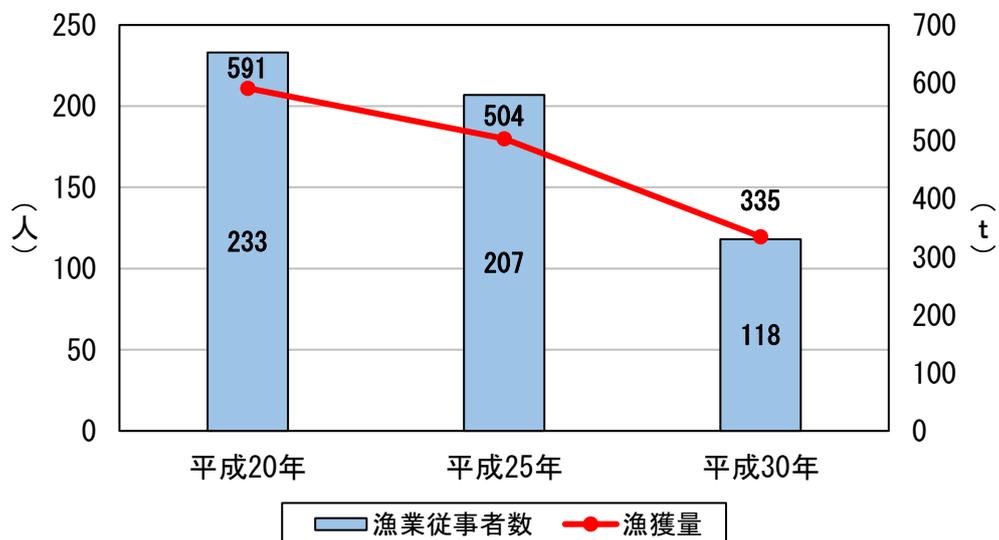
＜第1次産業の業種別の推移（国勢調査）＞



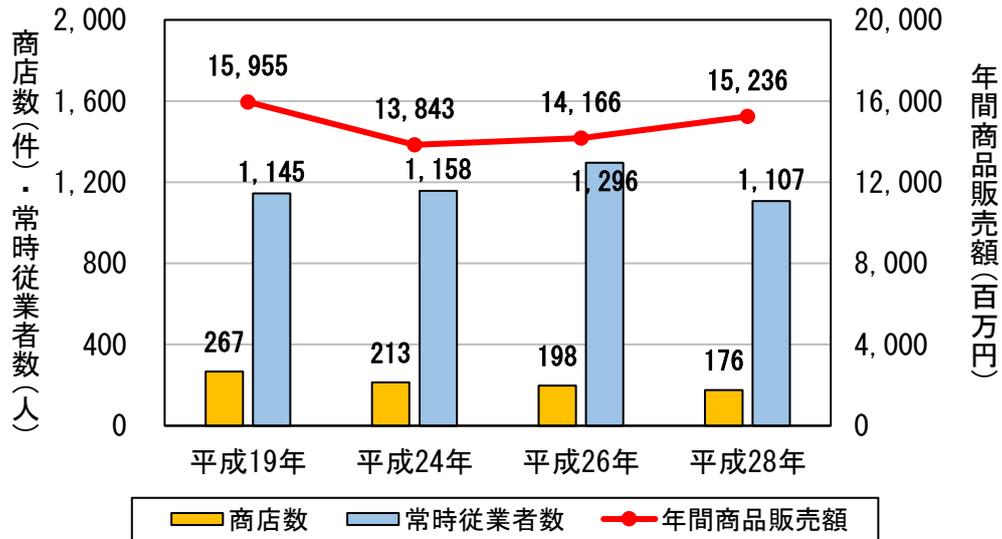
＜農業就業人口と経営耕地面積（農林業センサス）＞



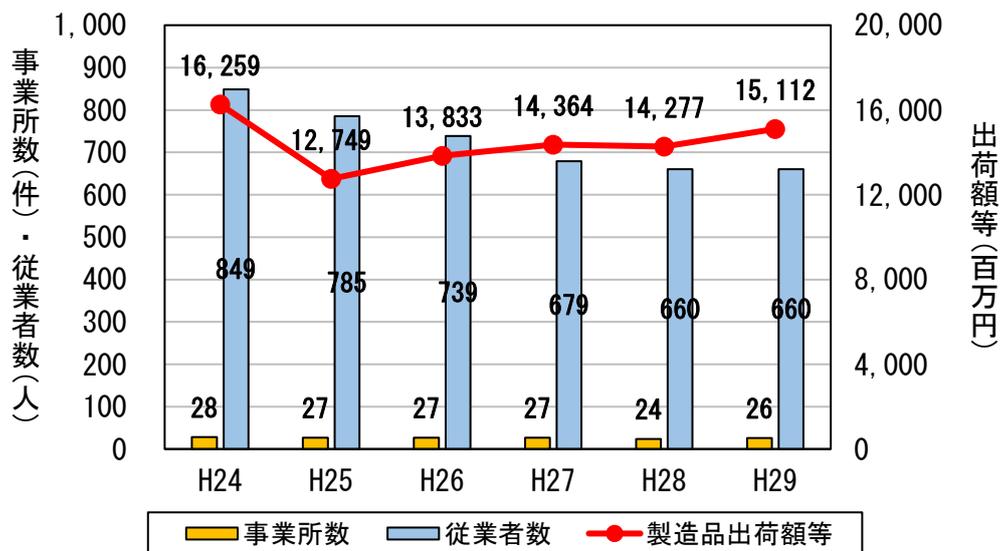
＜漁業従事者数と漁獲量（漁業センサス、農林水産統計年報）＞



<商店数・常時従業者数と年間商品販売額（商業統計調査、経済センサス）>

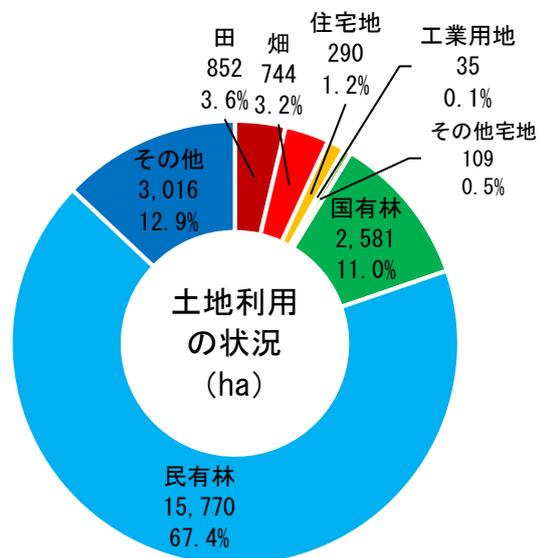


<事業所数・従業者数と製造品出荷額等（工業統計調査、経済センサス）>



(6) 土地利用面積

地目別土地利用状況をみると、森林（国有林・民有林）が78.4%（約18,352ha）と最も多くなっており、次いで農用地（田・畑）が6.8%（1,596ha）となっています。また、宅地（住宅地・工業用地・その他宅地）は1.8%（435ha）となっており、農振農用地区域を指定し、無秩序な市街化を防止しています。



(7) 交通体系

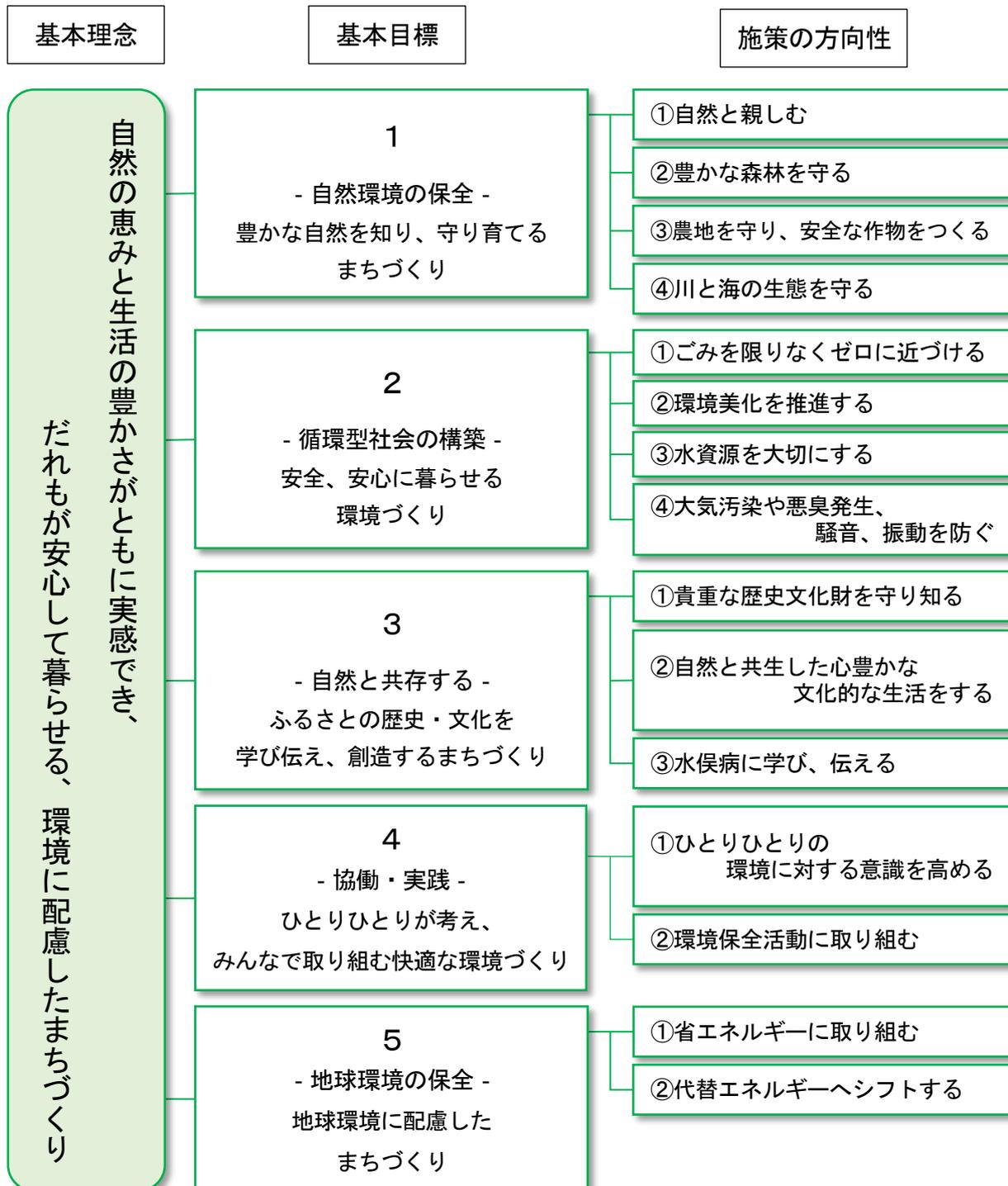
南九州西回り自動車道、国道3号が南北を結ぶ主要幹線道路であるのに対し、東西を結ぶ幹線道路には、熊本県道27号芦北球磨線があります。また、鉄道は町の東部を球磨川に沿って走る「JR肥薩線」、国道3号に並行するように南北を縦断して走る「肥薩おれんじ鉄道」があります。鉄道以外の公共交通機関は、路線バスや「ふれあいツク〜ルバス」が運行され、住民の貴重な移動手段となっています。



ふれあいツク〜ルバス

2 - 2 基本目標及び施策の体系

本計画では、芦北町の将来の望ましい環境像を実現するために、分野が横断的な5つの基本目標を定めます。第3章では、それぞれの基本目標に施策の方向性を定め、具体的に町民、事業者、町のそれぞれの取組みや環境指標及び目標値等を掲げます。



第3章 具体的な環境施策

3 - 1 基本目標1 豊かな自然を知り、守り育てるまちづくり

- 自然環境の保全 -

現在の状況

【森林】

全国的に森林所有者の多くは小規模零細経営であり、芦北町も例外ではありません。木材価格の低迷等による林業従事者の減少により、間伐はおろか、伐期に達した山林であっても主伐されることは少なく、また、自然災害等による影響もあり、山林の荒廃が進んでいます。しかし、森林には「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」、「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」、「水資源を蓄える働き」が期待されることから、健全な森林を積極的に造成し育成する森林整備に取り組むことが重要です。

【農地】

人口減、少子高齢化、若年層の都市部への流出等の複合的な事由に伴う農家の後継者不足や担い手不足により、依然として耕作放棄地が増加しています。この状況が続くと、農業の魅力が低下し、さらに農業従事者が減る悪循環が起こり、農業の衰退や里山の保全が危ぶまれます。また、耕作放棄地は有害鳥獣（イノシシ、シカ、アナグマ等）のすみかにもなり、農作物への被害をはじめ、人家付近まで出現し危害を及ぼす恐れもあり、これらの問題を解決するため、所有者（使用者）の適正な管理はもとより、地域農業による維持管理や新たな担い手の確保に取り組むことが重要です。

【河川】

町の西側には日本三大急流の球磨川が流れており、大関山を源流とした佐敷川や湯浦川をはじめ、田浦地区の田浦川や大野地区の天月川、吉尾地区の吉尾川など、人々の生活に様々な形で潤いを与えています。近年は経年劣化による修繕や災害防除による河川改修等により、人工で作られた護岸等が増加し、以前のように人々が河川と触れ合う場所が少なくなっています。

【海】

森林の豊富な栄養分を含んだ河川からの流入により、多種多様な生物が確認される不知火海沿岸では、古くから風と潮の流れだけを利用した伝統的漁法のうたせ網漁が行われてきました。近年では、様々な要因から漁獲量は年々減少していますが、地道な水産資源の管理と生息環境の再生活動等が行われています。

【施策の方向】

- | | |
|-------------------|-------------|
| ① 自然と親しむ | ② 豊かな森林を守る |
| ③ 農地を守り、安全な作物をつくる | ④ 川と海の生態を守る |

① 自然と親しむ

町民の取組

- 自然の多様な機能について学習します。
- 山、川、海等に出かけ自然の素晴らしさに触れるとともに、環境保全活動等に参加します。
- 公園や緑地等の町民の憩いの場の維持管理活動に参加します。
- 生きものの特性や役割、暮らし方について学びます。
- 外来生物による生態系への影響について理解を深め、安易な取得や移動、放棄はしません。

事業所の取組

- 自然の多様な機能について理解します。
- 事業所周辺の緑化に取り組めます。
- 社会貢献活動の一環として自然とふれあう場を設け、町民等に提供します。
- 公園や緑地等の町民の憩いの場の維持管理活動に参加します。
- 環境について有している情報の提供に協力します。
- あらゆる事業活動の際には、地域生物の情報収集を行い、生物多様性保全の観点から動植物の生育環境に十分留意します。

町の取組

- 森林の植生や水田の多様な機能について理解が深まるよう啓発を行います。
- 学生や園児に対する環境教育を推進します。
- グリーンツーリズムを推進します。
- 自然と観光の調和を図ります。
- 町民が利用しやすい公園の整備や管理を行います。
- 川や海、生物の多様性について、学習機会と情報提供の充実を図ります。

② 豊かな森林を守る

町民の取組

- 森林の適正な使用・利用・保全に努めます。
- 地元産の木材を積極的に利用します。
- 緑の募金などの緑を守る活動に協力します。
- 山菜や動植物の乱獲をせず、保護に努めます。

事業所の取組

- 森林の荒廃につながるような開発は避け、適正な管理に努めます。
- 地元産木材の利用促進を図るための啓発に努めます。
- 林業後継者の育成を図ります。
- 森林の開発・整備にあたっては、自然環境や景観に配慮します。

町の取組

- 町有林の計画的な保育事業を実施します。
- 新たな森林管理システムにより、町内の森林の現状を把握し、適正な森林管理に努めます。
- 災害に強い森林づくりや生物多様性の確保、水源涵養機能を向上するために、適切な間伐等の啓発及び事業を推進します。
- 町産材の利用促進を図ります。
- 森林開発行為に係る指導を行います。
- 林業の担い手確保を推進します。
- 林業経営者や林業組織等に対して、作業の効率化や経営の合理化などの指導・支援を行います。
- 有害鳥獣被害防止策に努めます。

③ 農地を守り、安全な作物をつくる

町民の取組

- 食の安全と農地の生物の関係を学びます。
- 耕作放棄地、休耕田の有効利用や景観維持に努めます。
- 農業者との交流や農業体験、講習会などを通じ、農業への理解を深めます。
- 鳥獣被害からの自己防衛に努めます。
- 農薬は適切に使用します。

事業所の取組

- 化学肥料や農薬の低減、有機栽培など、環境保全型農業に努めます。
- 使用後の農業用プラスチックや肥料・農薬容器の処理は適正に行います。
- 農地の開発・整備にあたっては、自然環境や景観に配慮します。
- 休耕地は意欲ある農業者に貸すなど有効活用を行います。
- 農業体験や地元農産物を食する機会を創出します。
- エコファーマーの登録に努めます。
- 環境保全型農業の啓発を積極的に行います。
- 家畜等の排泄物は適正に管理し、堆肥化するなどし、有効活用します。
- 営農型発電設備（ソーラーシェアリング）等を導入し地球温暖化防止に貢献します。

町の取組

- 農薬や肥料等の適正使用や、農業生産活動に伴う廃棄物の適正処理について普及啓発に努めます。
- 環境と人に優しい農作物（無農薬・減農薬等）や高品質の作物普及に取組み、地元農産物のブランド化に努めます。
- 農業の担い手確保を推進します。
- 耕作放棄地等の有効利用や農地の集積・集約化のため、農地基盤整備を推進します。
- 営農型発電設備（ソーラーシェアリング）の支援を検討します。
- 地域の協力のもと有害鳥獣被害防止対策に努めます。
- エコファーマーへの登録を推進します。
- 環境に配慮して農業関係事業を実施します。

④ 川と海の生態を守る

町民の取組

- 川や海、用水路の清掃活動に参加します。
- 川や海を利用した際に出たごみの責任を持ちます。
- 川や海の水質等に異常を発見したときは、直ちに町や県、警察へ連絡します。
- 川や海にごみが流れ込まないように、ごみの管理をしっかり行います。
- 在来種保護のため、ペットや外来生物は責任をもって管理します。

事業所の取組

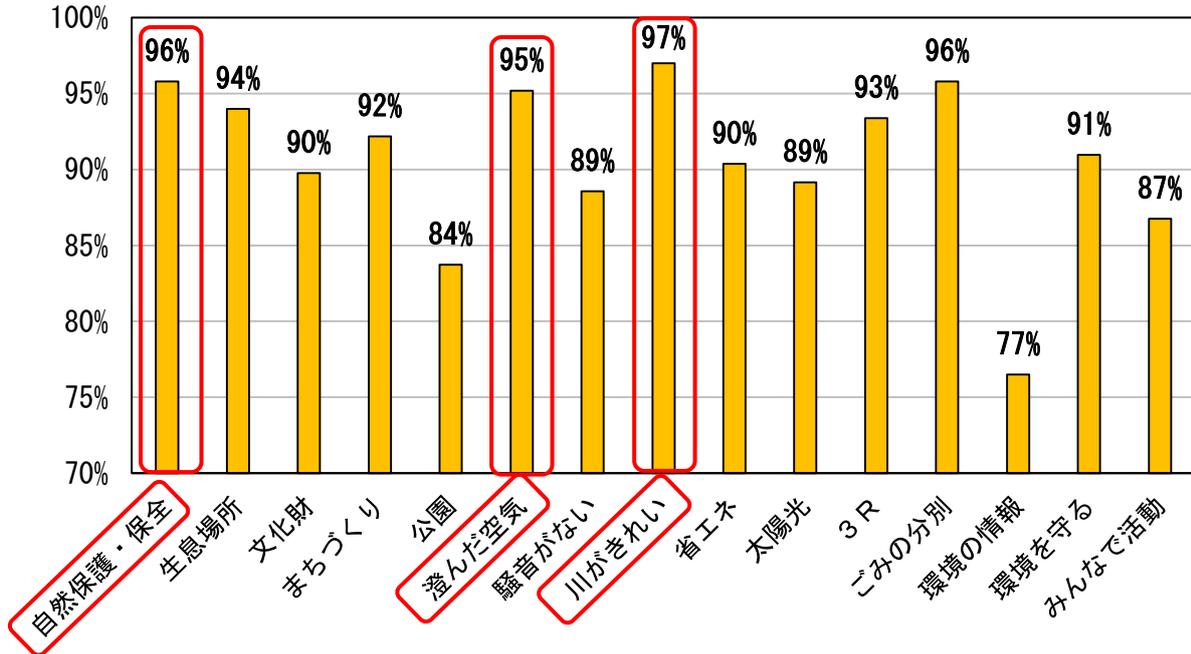
- 川や海の清掃活動に協力します。
- 川や海の水質等に異常を発見したときは、直ちに町、県、警察へ連絡します。
- 川や海の生態系や景観に配慮し事業を行います。
- 事業活動に伴い生じる廃棄物や排水は適切に処理します。
- 野外でごみが飛散しないよう適切に管理します。

町の取組

- 町民や事業者と連携して川や海辺の清掃活動を行います。
- 海岸への漂着物等については、県及び関係団体と連携し回収に努めます。
- 環境に配慮した河川や海の整備工法を推進します。
- 指定保護河川のほたるをはじめ、河川生物の保護活動を支援します。
- 稚魚の漁獲制限など資源管理型漁業の普及に努めます。
- アマモ等の藻場育成や海底耕運・清掃等による海的环境保全を推進します。
- 川や海的环境保全に不可欠である森林保全を推進します。

【参考】町民へのアンケート結果（中学生・高校生）

＜項目別大切だと思う人の割合（％）＞



◆自然に関する事を大切だと思っている中高生が多いことがうかがえます。

【数値目標】

基本 目標 1	項目		適用数値 年度等	令和元年度	令和 6 年度 (見直し年度)	令和 11 年度 (計画最終年度)	
豊かな自然を知り、 守り育てるまちづくり	耕作放棄地解消面積		N-1年度	3.3ha	4.0ha	5.0ha	
	エコファーマー数		N年末	24人	35人	40人	
	河川の水質	佐敷川	BOD	N-1年度	0.5mg/l	1mg/l 以下	1mg/l 以下
			DO	N-1年度	9.6mg/l	7.5mg/l 以上	7.5mg/l 以上
		湯浦川	BOD	N-1年度	0.5mg/l	1mg/l 以下	1mg/l 以下
			DO	N-1年度	10.0mg/l	7.5mg/l 以上	7.5mg/l 以上
	海水浴場の水質	鶴ヶ浜	水質判定	N-1年度	適AA	適AA	適AA
		御立岬公園	水質判定	N-1年度	適AA	適AA	適AA
		芦北マリン パークビーチ	水質判定	N-1年度	適AA	適AA	適AA

3 - 2 基本目標2 安全、安心に暮らせる環境づくり

- 循環型社会の構築 -

現在の状況

【ごみ】

芦北町の人口は年々減少しているにも関わらず、ごみの総排出量は増加しています。

国は「循環型社会形成推進基本法」に基づいて、ごみの発生抑制を基本としたごみの減量化及び資源の循環的な利用を促進していく循環型社会の形成を目指し3R（Reduce（発生抑制）・Reuse（再利用）・Recycle（再資源化））を推進しています。芦北町もそれに倣い生ごみの堆肥化や家庭ごみの分別の徹底等を行うと共に、様々な活動、啓発を実施してきました。

近年問題となっている、海洋プラスチックごみ問題の要因の一つとしてレジ袋等のごみが河川等から流れ込んでいることが挙げられ、地球及び生物への影響が危惧されています。

政府も、令和2年7月からプラスチック由来のレジ袋（一部対象外）について、小売店に有料化を義務付けすることを決定しました。

既に国外ではプラスチック由来のレジ袋の使用禁止や有料化を始めている国もあり、中には厳しい罰則規定を設けて、運用している国もあります。

芦北町もこれまで以上に、ごみの発生抑制と資源循環型社会の構築に取り組んでいく必要があります。

【水俣病】

公害の原点と言われる「水俣病」は、平成29年に公式確認から60年を迎えました。

現在でも多くの方々が健康被害等に苦しみ続けておられるなど、未だ根本的な解決には至っていません。これまでも芦北町では、水俣病に関する情報や教訓を広く町内外に発信し、環境を守ることの大切さを伝え、水俣病被害者等を地域全体が支えることを目的として、様々な取り組みを行ってきました。今後も、水俣病が抱える問題を一人一人が受け止め、それぞれの立場から振り返り、その経験を風化させることなく継続して各種事業を進めていくことが重要であると共に、水俣病を正しく理解し、公害の悲惨さを後世へ伝えていく義務があるものと考えます。

【施策の方向】

- ① ごみを限りなくゼロに近づける
- ② 環境美化を推進する
- ③ 水資源を大切にす
- ④ 大気汚染や悪臭発生、騒音、振動を防ぐ



3RとはReduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つのRの総称です。

・Reduce（リデュース）→ものを大切に使いごみを減らすこと。無駄なごみを減らすこと。

・Reuse（リユース）→ものを繰り返し使うこと。

・Recycle（リサイクル）→ごみを、資源として再利用すること。

① ごみを限りなくゼロに近づける

町民の取組

- マイバッグやマイボトルを積極的に使用します。
- 生ごみの堆肥化に協力します。
- ごみの分別は適正に行います。
- 食品ロスの削減に努めます。
- 物を大切に長く使います。
- 詰め替えや量り売りの商品を積極的に選びます。
- フリーマーケット（アプリ）やリサイクルショップを活用し、再利用に努めます。
- 物の購入からサービスの購入に努めます。

事業所の取組

- マイバッグの普及とレジ袋の削減を推進します。
- 生ごみの堆肥化に協力します。
- 生産から販売までの流通過程における廃棄物（食品ロスを含む）の削減に努めます。
- 各種リサイクル法を遵守し、リサイクルに努めます。
- プラスチックに代わる新素材を積極的に活用します。
- 紙コップや割り箸など、使い捨て品の使用は控えます。
- ペーパーレス化に努めます。
- 店頭回収や自主回収を行い、使用済商品の再利用に努めます。
- 物の販売からサービスの販売への移行に努めます。

町の取組

- マイバックの利用とレジ袋削減について、普及啓発に努めます。
- ごみの分別方法の周知に努めます。
- 生ごみの減量化・堆肥化を推進します。
- フードドライブなど、食品ロス削減の取組みを推進します。
- 3Rを推進します。

② 環境美化を推進する

町民の取組

- ごみ出しのルールを守り、ごみステーションの環境美化に努めます。
- 不法投棄を発見したときは、速やかに町や県、警察に通報します。
- 環境美化活動には積極的に参加します。
- 喫煙ルールを守ります。
- 景観維持のために空き家や空き地等の維持管理に努めます。
- ペットのフンは飼い主が責任をもって処理します。

事業所の取組

- 産業廃棄物は責任をもって処分します。
- 事業系ごみは、ごみステーションに出しません。
- 不法投棄を発見したときは、速やかに町や県、警察に通報します。
- 環境美化活動には積極的に参加します。
- 景観に配慮した開発や整備を行います。

町の取組

- ごみ出しルールの周知に努めます。
- 不法投棄の監視パトロールや通報体制の強化を図り、不法投棄が発生しにくい環境をつくります。
- 高齢世帯等、ごみ出し困難世帯への対応を検討します。
- 各地区の美化活動を支援します。
- 学校教育で環境美化に関することを指導します。



ごみ不法投棄撲滅アクション



みんなの川と海づくりデー海岸清掃

③ 水資源を大切にす

町民の取組

- 農業集落排水や浄化槽を利用し、生活排水は適切に処理します。
- 環境にやさしい洗剤を使用します。
- 節水を心がけます。
- 井戸や湧水の調査・保全に協力します。
- 取水元の環境整備に努めます。

事業所の取組

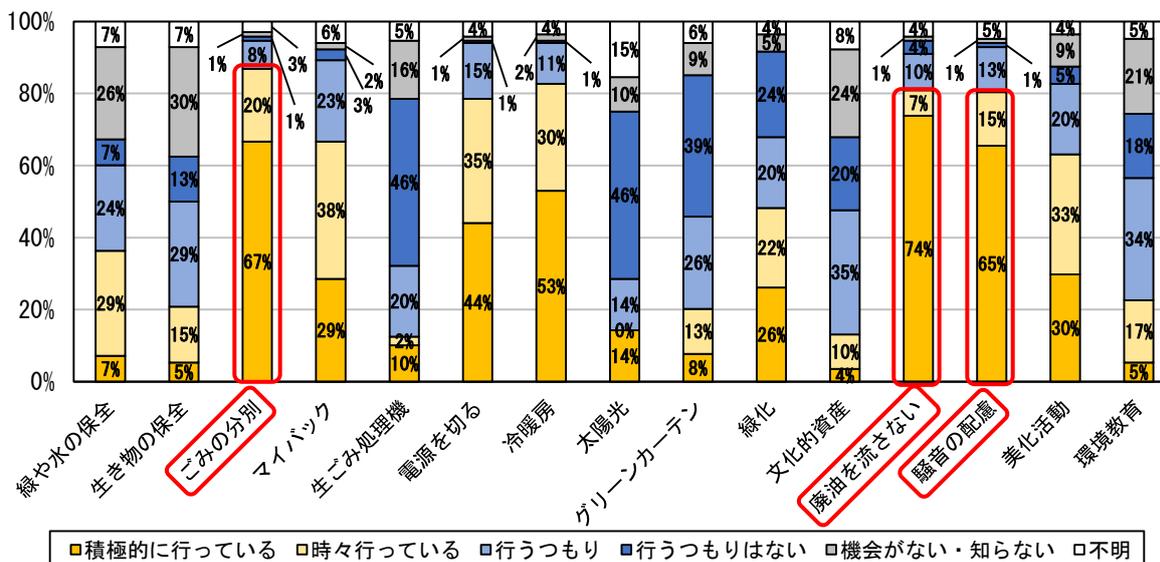
- 農業集落排水へ接続し又は浄化槽を設置し、水質汚染防止に努めます。
- 水環境を守る活動に積極的に関わります。
- 関係法令等を遵守し、水質悪化につながる物質は適正に処理します。

町の取組

- 農業集落排水への接続や浄化槽の設置を推進します。
- 水質汚濁防止法に基づき県や警察と連携し、水質汚濁を未然に防ぎます。
- 水道施設の整備を行い、限りある水資源を大切に利用します。
- 節水の啓発を行います。

【参考】町民へのアンケート結果（一般）

<項目別個人の取組度（％）>



◆多くの方が、環境汚染につながらないように配慮しているようです。

④ 大気汚染や悪臭発生、騒音、振動を防ぐ

町民の取組

- 生活騒音や振動、悪臭の発生に気を付けます。
- ごみの焼却はしません。
- 公共交通機関を積極的に利用します。
- 自動車を購入する際は、環境性能の高いものを検討します。
- 近所へは徒歩や自転車で移動します。

事業所の取組

- 関係法令等を遵守して事業に取組みます。
- 社用車更新の際には、環境性能の高い車両の購入やリースを検討します。

町の取組

- 関係機関と協力し、各種法令等に基づく規制や指導を行います。
- 屋外焼却の禁止について周知・啓発を行います。
- 適正なし尿処理を推進します。

【数値目標】

基本 目標 2	項目	適用数値 年度等	令和元年度	令和 6 年度 (見直し年度)	令和 11 年度 (計画最終年度)
安全、 安心して暮らせる環境づくり	ごみの総排出量	N-1年度	3,606 t	3,453 t	3,332 t
	リサイクル率	N-1年度	35.4%	38.5%	40.0%
	ごみの分別をしている人の割合 (アンケート調査による)	N年度	86.9%	89.5%	91.4%
	典型 7 公害に係る苦情件数 (①大気汚染、②水質汚濁、③土壌汚染 ④騒音、⑤振動、⑥地盤沈下、⑦悪臭)	N-1年度	16 件	8 件	4 件
	水洗化率	N-1年度	68.7%	70.2%	71.7%
	マイバッグの持参率 (アンケート調査による)	N-1年度	66.6%	83.5%	95.1%

3 - 3 基本目標3

ふるさとの歴史・文化を学び伝え、創造するまちづくり

- 自然と共存する -

現在の状況

芦北町には、長い歴史の中で生まれ、育まれ、守り伝えられてきた有形無形の文化財が数多くあります。古くから薩摩街道と人吉街道（相良往環）が通る交通の要衝であった芦北町は、薩摩に対する肥後南部の防衛拠点として、「佐敷城」が築かれ、その城下町として発展しました。元和元年（1615年）の一国一城令により佐敷城が廃城となった後も、街道の宿場町として、また、球磨と天草を結ぶ水運の基地として栄えた歴史があり、今なお古い伝統的な建物や街並みが残されています。

廃城となった佐敷城も平成5年（1993年）から発掘調査が行われ、平成20年（2008年）3月には「佐敷城跡」として、芦北水俣地方では初となる国史跡の指定を受けました。平成25年（2013年）3月には、佐敷城跡の保存管理の基本的な考え方や整備・活用の進め方等の史跡保護の基本的方針と今後の方向性をまとめた「史跡佐敷城跡保存管理計画」を策定し、歴史ある街並みと併せて保存管理・整備活用に取り組んでいます。

一方で、「七夕綱」や「棒踊り」、「臼太鼓踊り」等の地域に伝わる民俗芸能は、後継者不足などにより、その継承が難しくなっており、貴重な文化財を保存していくうえで、大きな課題となっています。

葦北郡内唯一の高等学校「芦北高校」は、平成15年から「芦北湾におけるアマモの繁殖方法の確立と普及による地域環境保全活動」として、アマモ場造成への研究に取り組んでおり、平成30年には、全国的にも珍しいケースとして、大学発ベンチャー企業と共同で研究にあたるなど、ほかにはない取り組みを行っています。また、ほたる保護活動にも取り組んでおり、地域と連携した保護活動を展開しています。

町内の小学校においては、水俣病や環境問題等へ意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することを目的に ※「水俣に学ぶ肥後っ子教室」が実施され、早い時期から環境学習に取り組んでいます。

（※平成23年度から熊本県内の公立の小学5年生を対象に実施）

【施策の方向】

- ① 貴重な歴史文化財を守り知る
- ② 自然と共生した心豊かな文化的生活をする
- ③ 水俣病に学び、伝える

① 貴重な歴史文化財を守り知る

町民の取組

- 本町の歴史や文化への理解を深め、文化財の保全に努めます。
- 風土に根ざした民俗行事や風習を保存・伝承します。
- 貴重な動植物や自然林、巨樹の保存に努めます。
- 地域の伝統行事や文化イベント等に積極的に参加します。

事業所の取組

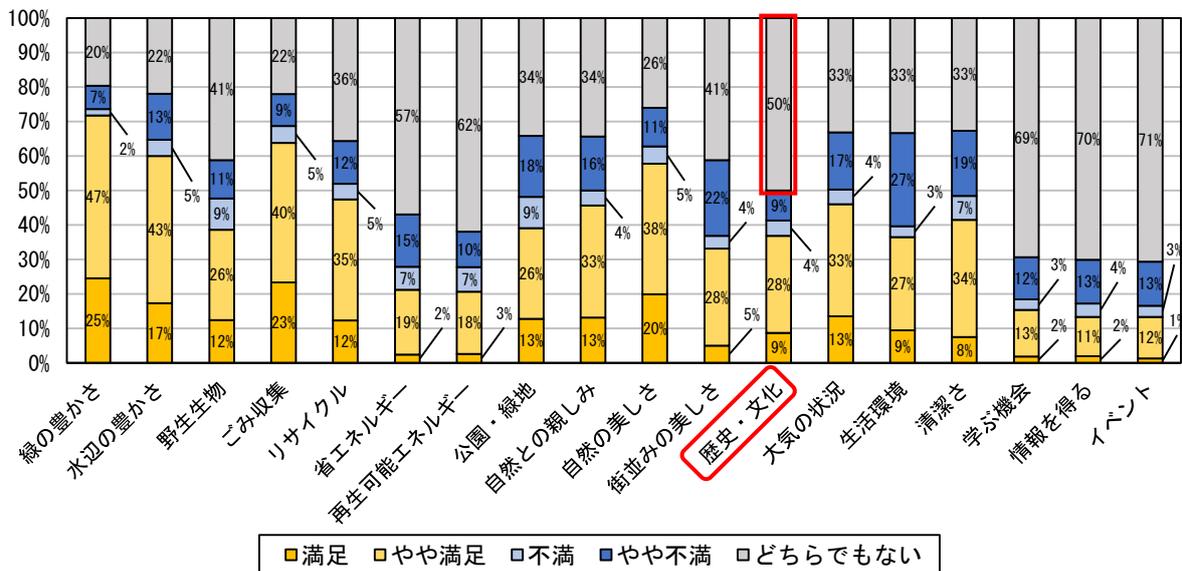
- 事業活動にあたっては、事前に埋蔵文化財等の有無について調査を行い、担当部署の指導・助言のもと実施します。
- 町や地域で行う歴史・文化活動に協力します。
- 貴重な動植物や自然林、巨樹の保存に努めます。

町の取組

- 本町の歴史や文化を生かしたまちづくりを推進します。
- 小中学校で本町の歴史文化を学ぶ時間を設けます。
- 歴史・文化のボランティアガイドの育成に取組みます。
- 本町に残る、うたせ船やうたせ網漁法等の文化財の保存に取組みます。

【参考】町民へのアンケート結果（一般）

<項目別満足度（％）>



◆歴史文化についての関心度が低いことがうかがえます。

② 自然と共生した心豊かな文化的生活をする

町民の取組

- 建物や看板などを設置する時は、周囲の景観との調和に配慮します。
- 宅地の緑化を進めます。
- 公園の使用に際しては、樹木を大切にして適切な管理に協力します。
- 家庭菜園やガーデニングを楽しみます。

事業所の取組

- 建物や看板などを設置する時は、周囲の景観との調和に配慮します。
- 工場や事業所周辺の緑化を推進します。
- 公園の使用に際しては、樹木を大切にして、適切な管理に協力します。

町の取組

- まちづくり支援事業等により快適な環境地域づくりを支援します。
- 公園の適正な管理に努めます。
- 豊かな自然環境と多様な生態系の保全に努めるとともに、自然と開発のバランスがとれた土地利用を図ります。



芦北高校と株式会社アグリライト研究所
によるアマモ場再生に向けた共同研究
(提供：株式会社アグリライト研究所)

芦北高校と芦北町ほたるの里山保全連絡
協議会による共同でのほたる保護活動



③ 水俣病に学び、伝える

市民の取組

- 水俣病の歴史を正しく理解するよう講演会等に参加します。
- 情報発信支援事業やもやい直し事業に積極的に参加します。

事業所の取組

- 水俣病の歴史を正しく理解するよう講演会等に参加します。
- 情報発信支援事業やもやい直し事業に積極的に参加します。

町の取組

- 水俣病について、理解が深まるよう事業等に取組みます。
- 小中学校で水俣病に関する事業を行います。
- 地域のもやい直し事業を支援します。



水俣病関連情報発信支援事業
(うたせ船で水俣病を学ぶ講座)

水俣病関連もやい直し事業
(芦北町もやい祭り)



【数値目標】

基本 目標3	項 目	適用数値 年度等	令和元年度	令和6年度 (見直し年度)	令和11年度 (計画最終年度)
創造的産業振興の推進 ふるさと歴史・文化を学び伝える	文化財指定数	N-1年度	82件	86件	90件
	歴史・文化的資産の保全が重要と感じている人の割合 (アンケート調査による)	N年度	72.6%	76.4%	80.6%
	都市公園・緑地面積	N年度	218,587㎡	218,587㎡	218,587㎡
	水俣病関連事業等への参加者数	N年度	305人	335人	366人

3 - 4 基本目標4

ひとりひとりが考え、みんなで取り組む快適な環境づくり

- 協働・実践 -

現在の状況

依然として、心無い人による「不法投棄」や「ポイ捨て」等のごみの不適正処理が見受けられます。

また、地域のごみステーションでは、分別の不徹底によるごみの未収集、住民の高齢化や空き家等の増加による、地域全体の衛生環境の維持が困難になるなど、様々な問題が見受けられます。

このような、問題を解決していくためには、啓発や監視体制を強化するとともに、住民ひとりひとりが、「自分たちの地域の環境は自分たちで守る」等の意識を持ち、地域で「ごみ分別」の勉強会を開催するなど、日頃から環境問題に関心をもつことはもとより、地域の人々の繋がりを強めていくことがとても重要です。

また、環境問題に拘わらず助けを必要としている人がいる場合には、進んで手助けするなど、地域全体で問題解決にあたることもとても重要です。

【施策の方向】

- ① ひとりひとりの環境に対する意識を高める
- ② 環境保全活動に取り組む

① ひとりひとりの環境に対する意識を高める

町民の取組

- 環境問題に関心を持ち、環境に関する情報を積極的に入手します。
- 環境に関するセミナーやシンポジウムなどに積極的に参加します。
- 幼少時から自然の恵みを体感できるよう、キャンプや自然観察会、食育活動、木育活動などに積極的に参加します。

事業所の取組

- 環境に関するイベント、学習会及び講座等に積極的に参加し理解を深めます。
- 社員の環境教育に取り組めます。
- 環境に関する情報を積極的に入手します。
- 環境学習や体験学習等の機会を創出します。

町の取組

- 環境に関する学習会を開催します。
- 環境学習ができる機会を創出します。
- 環境フィールドミュージアム事業や塩づくり体験等を通して、環境に関する体験学習の場を提供します。
- 環境に関する情報を積極的に提供します。



水俣・芦北地域環境フィールドミュージアム事業
(椿油づくり)

② 環境保全活動に取り組む

町民の取組

- 一日一汗運動などのボランティア活動に積極的に参加します。
- 各地域や各地区等の自主的な環境美化活動に取り組めます。

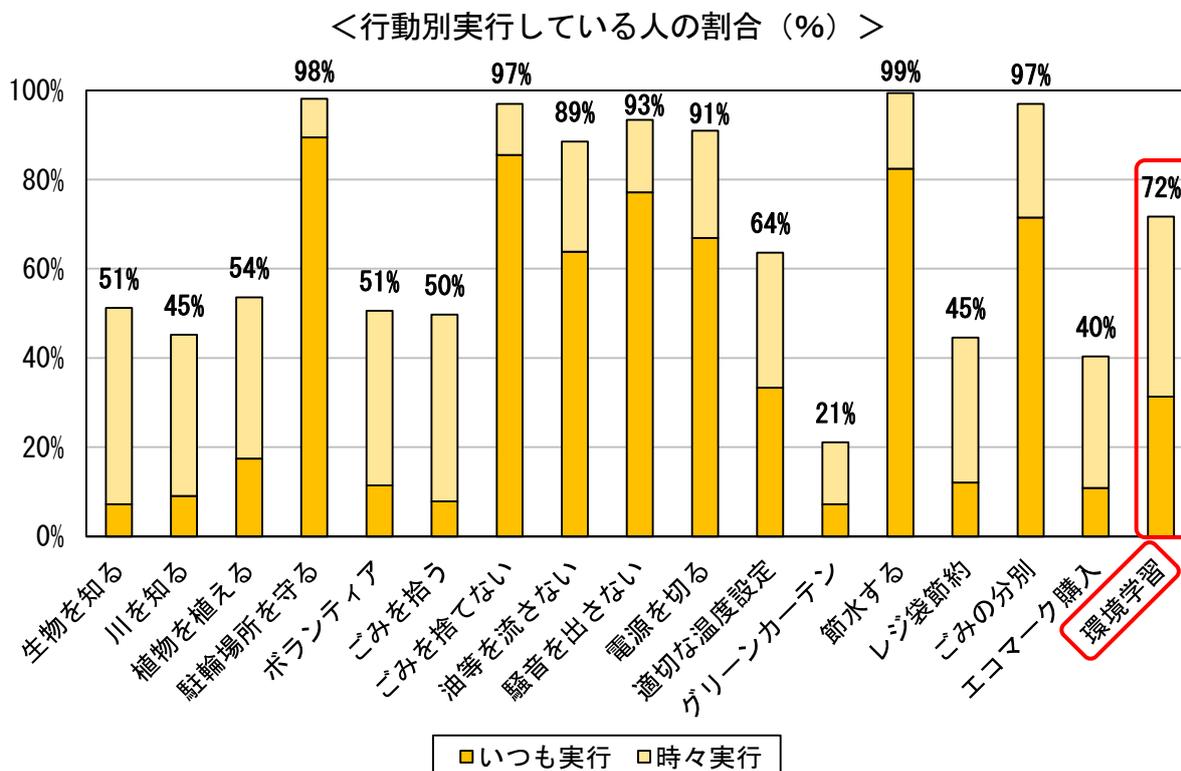
事業所の取組

- 一日一汗運動などのボランティア活動に積極的に参加します。
- 環境保全活動について、事業者間で連携して環境活動を進めます。

町の取組

- 住民や事業者が主体となって行う清掃等の環境活動を積極的に支援します。
- 町民、事業者と連携し、環境保全に関わる事業を推進します。
- 各地区の自主的な環境活動を支援します。

【参考】町民へのアンケート結果（中学生・高校生）



◆中学生・高校生の約7割が環境学習をしていることがうかがえます

【数値目標】

基本 目標4	項目	適用数値 年度等	令和元年度	令和6年度 (見直し年度)	令和11年度 (計画最終年度)
みんなで取り組む快適な環境づくり ひとりのひとりが考え、	地域活動に参加している人 (アンケート調査による)	N年度	63%	70%	80%
	環境に関心がある人 (アンケート調査による)	N年度	68%	75%	80%
	環境基本計画を知っている人 (アンケート調査による)	N年度	3.6%	10%	20%
	塩づくり体験の年間体験者数	N-1年度	702人	750人	800人
	みんなの川と海づくりデー 参加者数	N-1年度	185人	190人	200人

3 - 5 基本目標5 地球環境に配慮したまちづくり

- 地球環境の保全 -

現在の状況

地球規模で環境問題を見てみると、温室効果ガス等による「地球温暖化」、エアコンや冷蔵庫等に使用されていたフロンガスの大気放出による「オゾン層の破壊」、化石燃料の燃焼に伴い生じる硫黄酸化物等による「酸性雨」、無秩序な開発や環境汚染による「生物多様性の減少」など、人類のみならず、地球上に生息する生物全体に様々な影響を及ぼしていると考えられています。

例えば地球温暖化が要因とされている気候変動や気温上昇は、局地的集中豪雨等の異常気象を誘発していると考えられています。

そのような中、芦北町では平成19年7月から「地球温暖化対策実行計画」を策定し、役場内の事務事業により排出される温室効果ガスの量を把握し、排出削減を目指しました。

また、再生可能エネルギーを積極的に導入するため、公共施設への太陽光発電設備の導入や家庭用太陽光発電設備設置に対し助成を行い、再生可能エネルギーの普及・推進を図り、温室効果ガスの削減に取り組んできました。

【パリ協定：世界の動き】

2015年（平成27）にフランス・パリで行われた第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、2020年（令和2年）以降の新たな地球温暖化対策に関する法的枠組みである「パリ協定」が採択されました。このパリ協定は、化石燃料が使用されるようになった産業革命前と比較して、気温上昇を2℃未満に抑制することを世界共通の長期目標とし、さらに主要排出国を含むすべての国が削減目標を5年毎に更新・提出することが盛り込まれており、世界の国々が協力する初めての枠組みとなります。

【SDGs：持続可能な開発目標】

2015年（平成27年）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された「SDGs（Sustainable Development Goals）：持続可能な開発目標」は、2016年（平成28年）から2030年（令和12年）までの国際社会の共通目標で、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

17のゴールのうち、少なくとも12の項目が環境に関連しており、国も関連項目の実施に向け、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等の分野において国内外における施策を積極的に展開していくとアナウンスしています。

【施策の方向】

- ① 省エネルギーに取り組む
- ② 代替エネルギーへシフトする

① 省エネルギーに取り組む

町民の取組

- 自動車や家電製品を購入する際は、環境性能の高いものを検討します。
- 自動車運転の際はエコドライブを実践します。
- 節電・節水を心がけます。
- グリーンカーテンやすだれ、打ち水など省エネ対策を実践します。
- 環境家計簿を実践します。
- 無理のない範囲で、エアコンの省エネ温度（夏季 28℃、冬季 20℃）を維持します。

事業所の取組

- 工場や事業所では、資材の調達から製品の出荷まで、また、廃棄物の処理を含めたあらゆる段階で省エネルギーに取り組めます。
- 社用車の運転の際は、エコドライブを実施します。
- 事業所内での省エネルギーに取り組むとともに、建物や設備の省エネ化を検討します。

町の取組

- 省エネルギーに関する情報を積極的に町民に提供し、普及啓発を図ります。
- ZEH・ZEBに関する情報提供・普及啓発を図ります。
- 公用車の買い替え時には、ハイブリッド車等の環境負荷の低い車両の導入を検討します。
- エコドライブを推進します。
- 公共施設ではグリーンカーテンに取り組めます。また、グリーンカーテンコンテストを実施し、グリーンカーテンの普及に努めます。
- 「地球温暖化対策実行計画書」により、温室効果ガスの削減や環境負荷低減に取り組めます。

② 代替エネルギーへシフトする

町民の取組

- 廃食用油の回収に協力します。
- 家屋の新築や建て替えの際には、太陽光発電など高効率エネルギー設備の設置・導入を検討します。
- 公共交通機関を積極的に利用します。
- 災害に備え蓄電池の導入を検討します。

事業所の取組

- 廃食用油の回収、リサイクルに協力します。
- 再生可能エネルギー設備導入支援制度などを活用して、事業に最適な設備の導入を検討します。
- バイオマス燃料の導入を検討します。

町の取組

- 代替エネルギーの必要性等について、普及啓発を行います。
- 公共施設への太陽光発電システムの設置を検討します。
- 電気自動車を導入し、災害時には移動型蓄電池として利用します。
- 公共施設における蓄電池等の設置を検討します。
- 事業者が構築するマイクログリッドへの支援を行います。
- 再生可能エネルギーを利用した公共交通体系の導入を検討します。
- 風力発電等再生可能エネルギーを推進します。

【数値目標】

基本 目標 5	項目	適用数値 年度等	令和元年度	令和 6 年度 (見直し年度)	令和 11 年度 (計画最終年度)
地球環境に配慮したまちづくり	一般家庭でのグリーンカーテン設置率（アンケート調査で設置していると回答した人の割合）	N年度	20%	25%	30%
	公共施設における蓄電池等設置数	N-1 年度	0 個	2 個	5 個
	電気自動車保有台数（町公用車）	N-1 年度	0 台	1 台	2 台

第4章 計画の推進

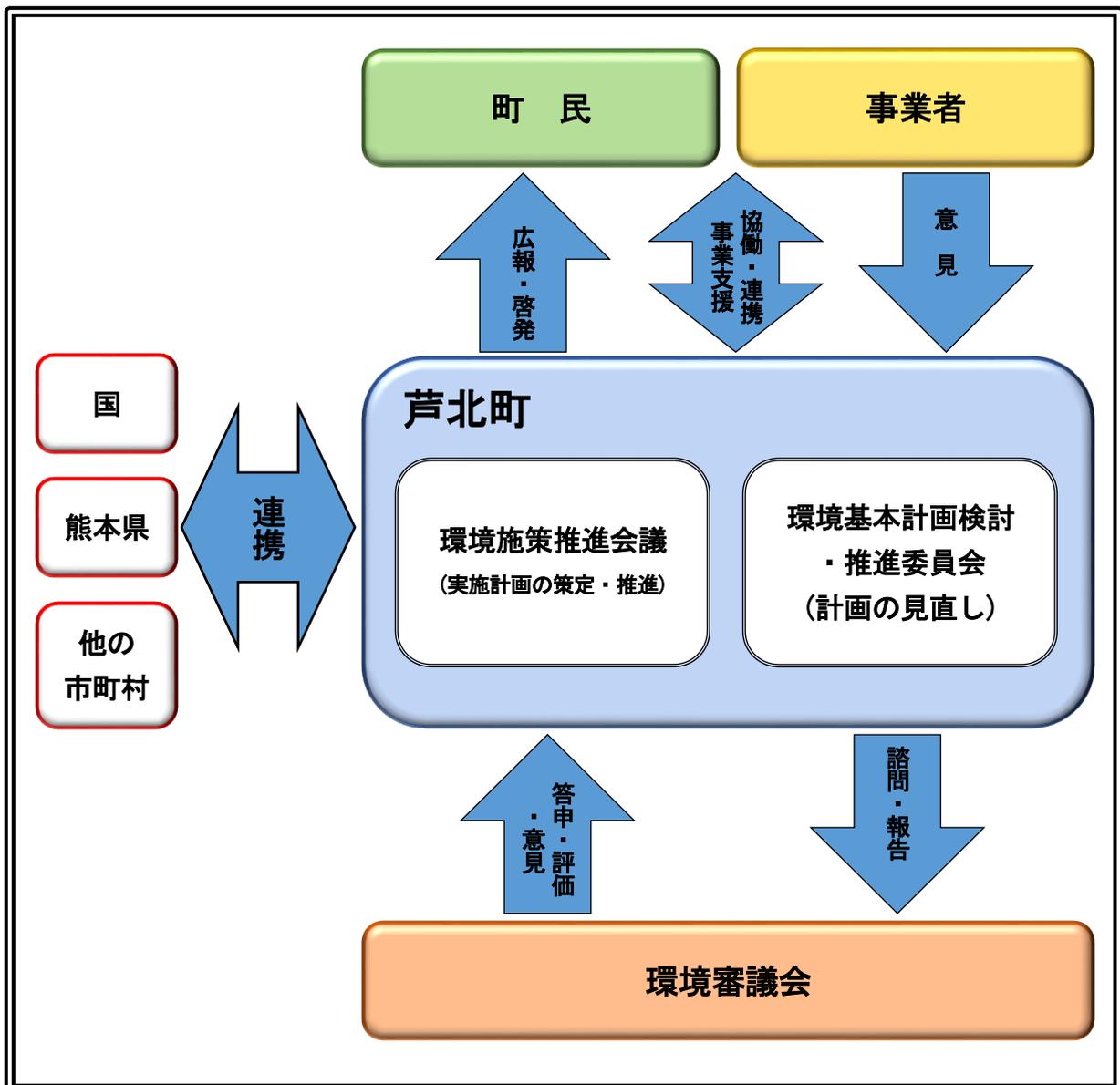
4 - 1 推進体制

芦北町が目指す、「自然の恵みと生活の豊かさがともに実感でき、だれもが安心して暮らせる、環境に配慮したまちづくり」を実現するために、本計画を総合的かつ計画的に推進していく必要があります。

また、町民、事業者、町の各主体がそれぞれの役割を相互に理解協力し、推進していくこともとても重要です。

そのようなことから、下図で示した体制により、各主体が連携し本計画の推進に当たります。

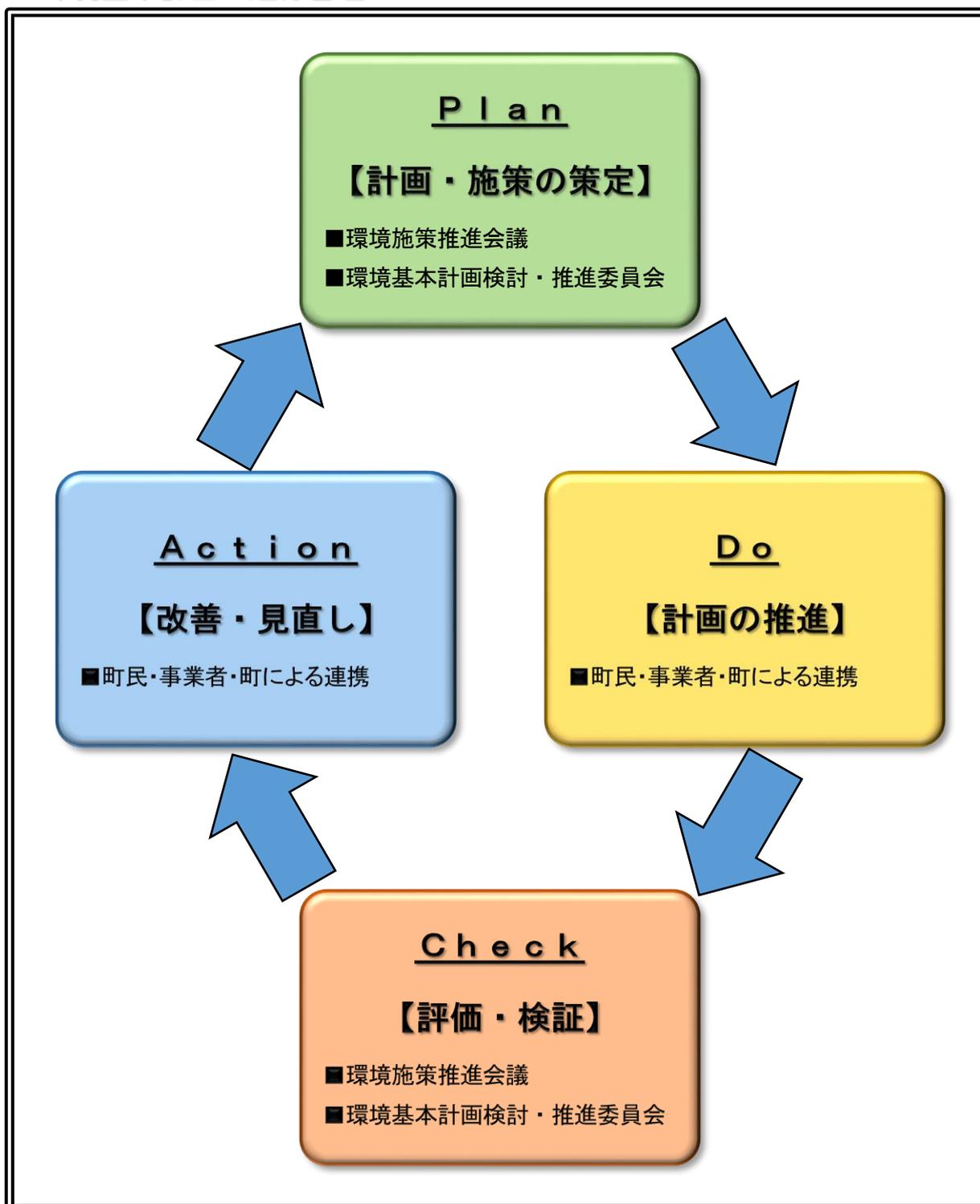
<環境基本計画の推進体制>



4 - 2 計画の進行管理

5つの基本目標ごとに設定した「施策の方向」について、環境マネジメントシステムのPDCAサイクルの考え方に基づき、点検及び評価を行うとともに、芦北町環境審議会、町民、事業者の意見や提言を取り入れ、概ね5年を目途として計画を見直すこととし、その情報を広く町民や事業者へ公表することで継続的な改善につなげていきます。

<環境基本計画の進行管理>



【資料編】

1 計画策定の経過

<第2次芦北町環境基本計画策定経過>

No.	日程	内容等
1	平成31年 4月	第2次環境基本計画策定に向けた課内協議 ・進め方、スケジュールについて
2	令和元年11月	環境に関するアンケート調査実施（一般・学生） ・一般：18歳以上75歳以下の町民440人（無作為抽出） （回収169） ・学生：芦北高校及び町立中学校の生徒で、協力が得られた 学年、学級の生徒175人（回収166）
3	12月20日	第1回 第2次環境基本計画検討・推進委員会 ・委員委嘱状交付 ・計画（素案）の概要について ・町民アンケート結果について ・計画体系について ・各事業及び取り組みについて
4	12月 ～令和2年1月	各委員と個別協議 ・意見調整及び数値目標の設定
5	1月31日 ～2月13日	計画（素案）のパブリックコメント実施（町内5ヶ所） ※意見書提出なし
6	2月14日	第2回 第2次環境基本計画検討・推進委員会 ・パブリックコメント結果について ・計画（案）の最終確認及び決定
7	2月25日	町長へ第2次芦北町環境基本計画（案）策定の報告及び芦北町環 境審議会への諮問について
8	2月27日	第1回 芦北町環境審議会 ・委嘱状交付 ・環境基本計画（案）について ※ 新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い書面決議
9	3月26日	第2次芦北町環境基本計画の策定

<第2次芦北町環境基本計画検討・推進委員会>

任期：令和元年12月20日から令和2年3月31日

No.	役職	委員名	所属・職名
1	委員長	田淵 耕一	住民生活課・課長
2	委員	坂本 吉寛	総務課監理管財係・係長
3	委員	鶴川 健一	企画財政課企画統計係・係長
4	委員	早稲田 孝也	上下水道課水道係・係長
5	委員	森下 みゆき	健康増進課健康づくり推進係・係長
6	委員	立岩 登紀子	福祉課社会福祉係・係長
7	委員	岩間 賢二	農林水産課林務水産係・係長
8	委員	上野 友晴	商工観光課商工振興係・係長
9	委員	蓑田 慎司	建設課計画係・係長
10	委員	竹下 健太	教育課学校教育係・係長
11	委員	深川 裕二	生涯学習課文化振興係・係長

<芦北町環境審議会>

任期：令和2年2月27日から令和4年2月27日

No.	役職	委員名	所属・職名
1	委員	宮尾 秀行	芦北町議会・議長
2	委員	立丸 一廣	芦北町区長会・会長 芦北町自治公民館連絡協議会・会長 芦北町ほたるの里山保全連絡協議会・会長
3	委員	田中 良	芦北町PTA連合会・会長
4	委員	吉海 達也	芦北町学校長会・会長
5	委員	丁 道夫	あしきた農業協同組合・代表理事組合長
6	委員	山元 光晴	芦北町漁業協同組合・代表理事組合長
7	委員	桑畑 達美	水俣芦北森林組合・代表理事組合長
8	委員	片山 幸弘	芦北町環境衛生巡視員会・代表
9	委員	丁 薫	熊本県立芦北高等学校・校長
10	委員	林田 耀宏	芦北町議会文教厚生常任委員会・委員長
11	委員	宮原 千代子	あしきた農業協同組合女性部・部長
12	委員	竹浦 幸子	芦北町食生活改善推進員協議会・会長

2 アンケート結果（一般）

（1）アンケート実施概要

対象者	本町に住所を有する18歳以上75歳以下の町民440人（無作為抽出）
実施時期	令和元年11月
回収結果	配布数440通（うち未達数6通） 返信数169通 返信率38.4%
注意事項	<ul style="list-style-type: none">各回答項目の割合（%）は、端数処理の関係上（小数第2位で四捨五入）、合計が100%にならない場合があります。「自由記入」や「自由意見」については、原則、原文のまま掲載していますが、プライバシーに関する記述や不適切な表現があった場合は、該当部分あるいは全文を削除等している場合があります。

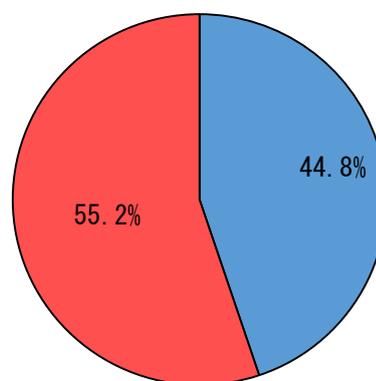
（2）集計結果

1) 基礎的事項

設問① 性別

「女性」が55.2%で、「男性」44.8%より約9%上回っていました。

選択肢	人数	割合
・男性	65	44.8%
・女性	80	55.2%
有効回答	145	100%
無回答（無効回答含む）	24	
全回答	169	

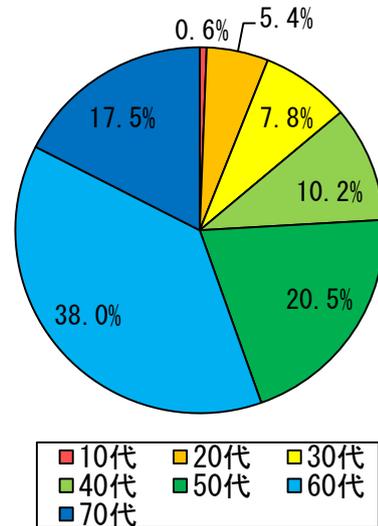


■男性 ■女性

設問② 年齢

「60代」38.0%がもっとも多く、次いで、「50代」20.5%、「70代」17.5%、「40代」10.2%、「30代」7.8%、「20代」5.4%、「10代」0.6%でした。

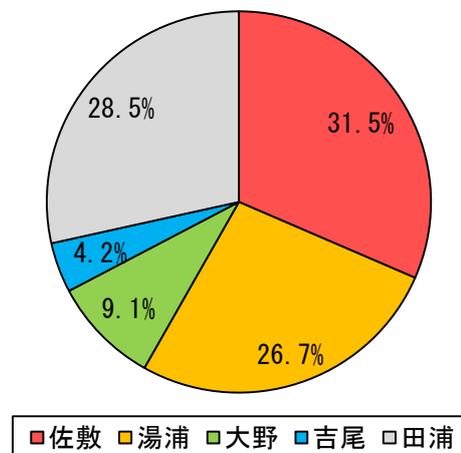
選択肢	人数	割合
・10代	1	0.6%
・20代	9	5.4%
・30代	13	7.8%
・40代	17	10.2%
・50代	34	20.5%
・60代	63	38.0%
・70代	29	17.5%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	3	
全回答	169	



設問③ お住まいの地区

「佐敷地区」31.5%がもっとも多く、次いで、「田浦地区」28.5%、「湯浦地区」26.7%、「大野地区」9.1%、「吉尾地区」4.2%でした。

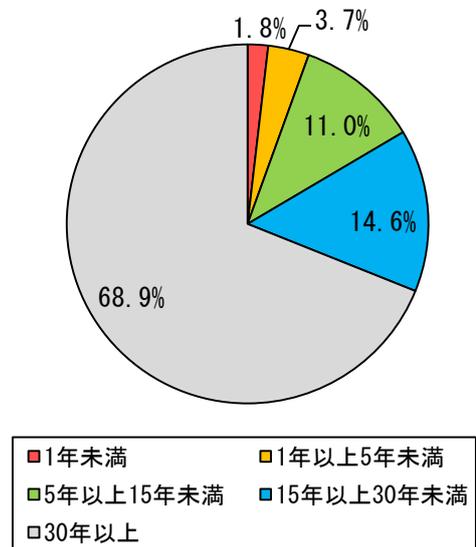
選択肢	人数	割合
・佐敷地区	52	31.5%
・湯浦地区	44	26.7%
・大野地区	15	9.1%
・吉尾地区	7	4.2%
・田浦地区	47	28.5%
有効回答	165	100%
無回答（無効回答含む）	4	
全回答	169	



設問④ 芦北町での居住期間

「30年以上」68.9%がもっとも多く、次いで、「15年以上30年未満」14.6%、「5年以上15年未満」11.0%、「1年以上5年未満」3.7%、「1年未満」1.8%でした。

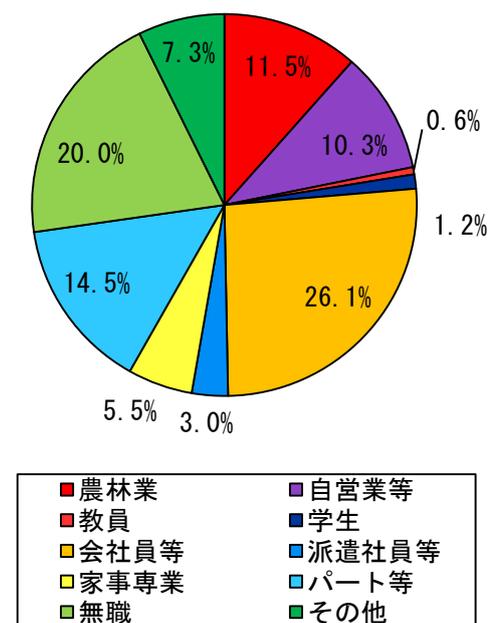
選択肢	人数	割合
・1年未満	3	1.8%
・1年以上5年未満	6	3.7%
・5年以上15年未満	18	11.0%
・15年以上30年未満	24	14.6%
・30年以上	113	68.9%
有効回答	164	100%
無回答（無効回答含む）	5	
全回答	169	



設問⑤ 職業

「会社員や公務員」26.1%がもっとも多く、次いで「無職」20.0%でした。一方で「教員」0.6%がもっとも低く、次いで「学生」1.2%でした。

選択肢	人数	割合
・農林業	19	11.5%
・自営業やその他従事者	17	10.3%
・教員	1	0.6%
・学生	2	1.2%
・会社員や公務員	43	26.1%
・派遣や契約社員	5	3.0%
・家事専業	9	5.5%
・パートやアルバイト	24	14.5%
・無職	33	20.0%
・その他	12	7.3%
有効回答	165	100%
無回答（無効回答含む）	4	
全回答	169	

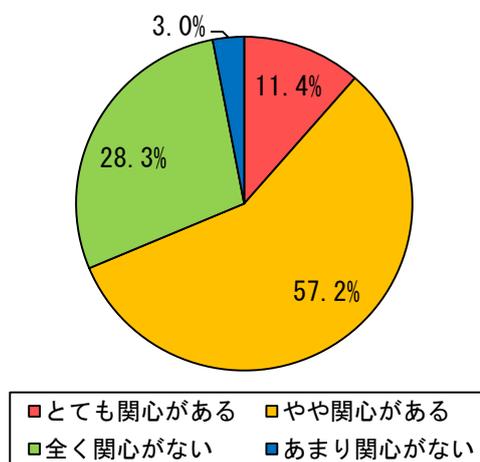


2) 環境への関心等について

設問① 環境への関心度合い

「とても関心がある」11.4%、「やや関心がある」57.2%で、合わせると68.6%となり、全体の3分の2以上が環境に関心をもっていることが分かります。

選択肢	人数	割合
・とても関心がある	19	11.4%
・やや関心がある	95	57.2%
・あまり関心がない	47	28.3%
・全く関心がない	5	3.0%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	3	
全回答	169	

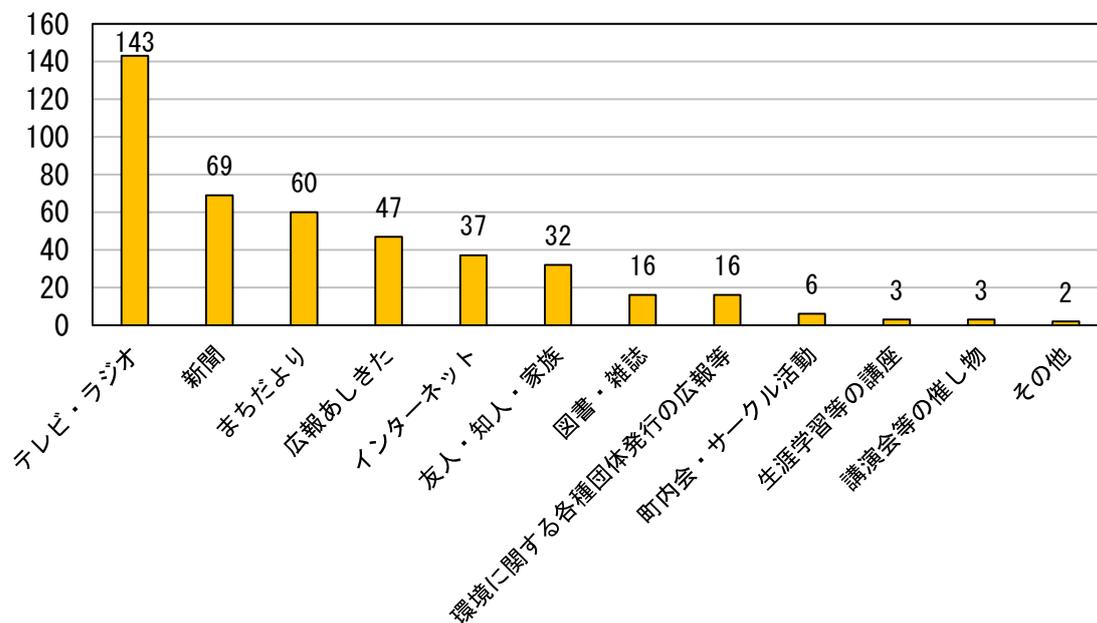


設問② 環境に関する情報の主な入手先（複数回答可）

「テレビ・ラジオ」143人がもっとも多く、他にも「新聞」69人、「まちだより」60人、「広報あしきた」47人が上位を占めています。

一方で「講演会等の催し物」3人及び「生涯学習等の講座」3人がもっとも低く、「町内会・サークル活動」6人でした。

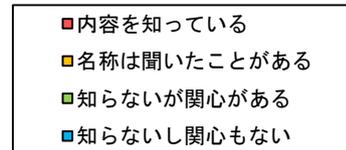
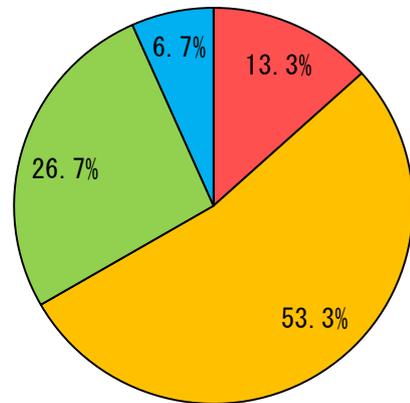
「その他」は、「職員から」「企業内の（環境に関する）研究員である」でした。



設問③ 芦北町ほたる保護条例について

「内容は知っている」13.3%、「名称は聞いたことがある」53.3%で、合わせて3分の2が聞いたことがあると回答しています。

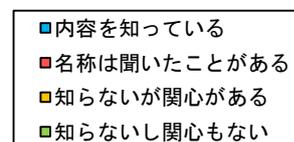
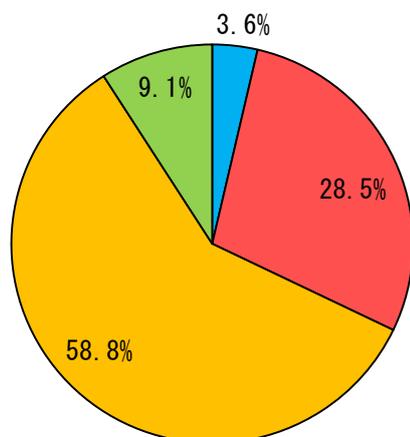
選択肢	人数	割合
・内容を知っている	22	13.3%
・名称は聞いたことがある	88	53.3%
・知らないが関心がある	44	26.7%
・知らないし関心もない	11	6.7%
有効回答	165	100%
無回答（無効回答含む）	4	
全回答	169	



設問④ 芦北町環境基本計画について

「内容は知っている」3.6%、「名称は聞いたことがある」28.5%でした。
一方で「知らないが関心がある」58.8%、「知らないし関心もない」9.1%で、合わせて3分の2以上が知らないと回答しています。

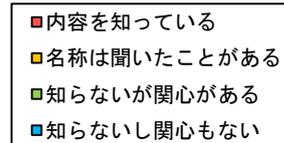
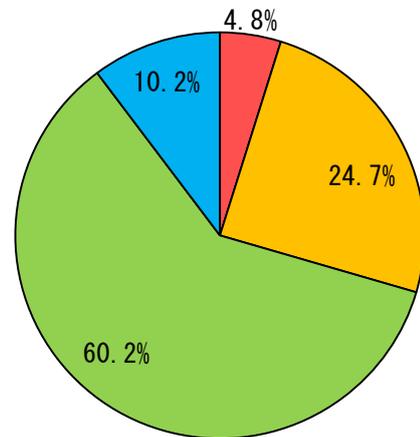
選択肢	人数	割合
・内容を知っている	6	3.6%
・名称は聞いたことがある	47	28.5%
・知らないが関心がある	97	58.8%
・知らないし関心もない	15	9.1%
有効回答	165	100%
無回答（無効回答含む）	4	
全回答	169	



設問⑤ 芦北町総合計画について

「内容は知っている」4.8%、「名称は聞いたことがある」24.7%でした。
 一方で「知らないが関心がある」60.2%、「知らないし関心もない」10.2%で、
 合わせて3分の2以上が知らないと回答しています。

選択肢	人数	割合
・内容を知っている	8	4.8%
・名称は聞いたことがある	41	24.7%
・知らないが関心がある	100	60.2%
・知らないし関心もない	17	10.2%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	3	
全回答	169	



3) 芦北町内の環境に対する現状の満足度と今後の重要度

【ア 自然環境の保全】

<項目：緑の豊かさ>

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	40	24.5%	86	52.8%
・やや満足（やや重要）	77	47.2%	52	31.9%
・どちらでもない	32	19.6%	23	14.1%
・やや不満（やや重要ではない）	11	6.7%	1	0.6%
・不満（重要ではない）	3	1.8%	1	0.6%
有効回答	163	100%	163	100%
無回答（無効回答含む）	6		6	
全回答	169		169	

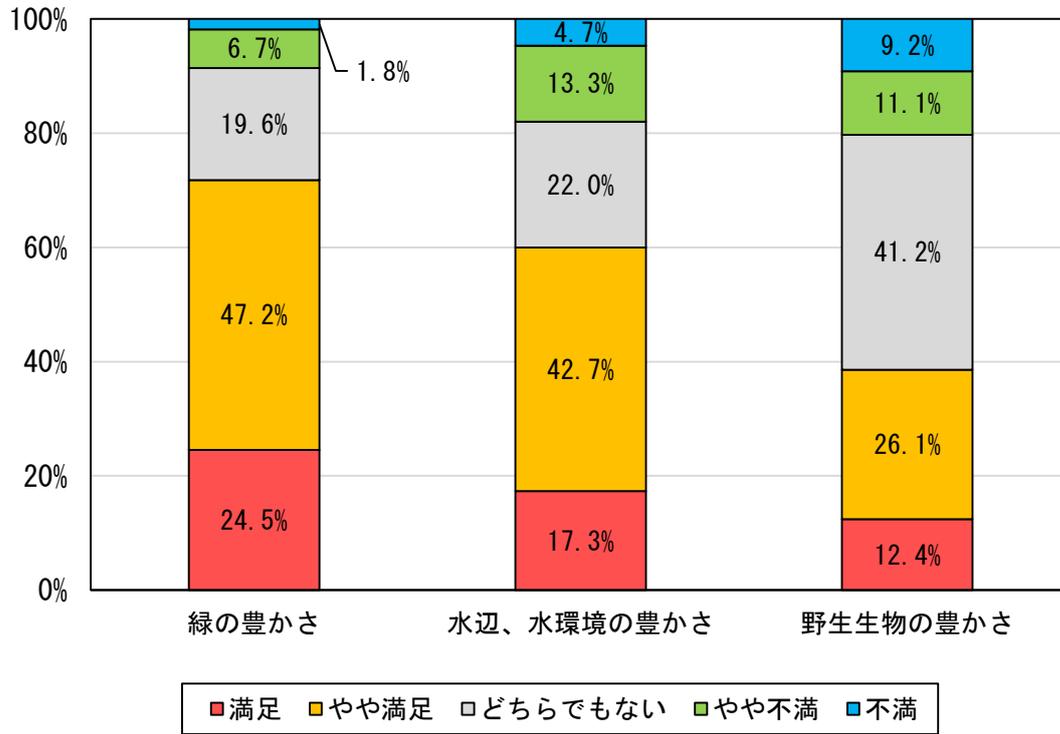
<項目：水辺、水環境の豊かさ>

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	26	17.3%	87	56.1%
・やや満足（やや重要）	64	42.7%	49	31.6%
・どちらでもない	33	22.0%	15	9.7%
・やや不満（やや重要ではない）	20	13.3%	3	1.9%
・不満（重要ではない）	7	4.7%	1	0.6%
有効回答	150	100%	155	100%
無回答（無効回答含む）	19		14	
全回答	169		169	

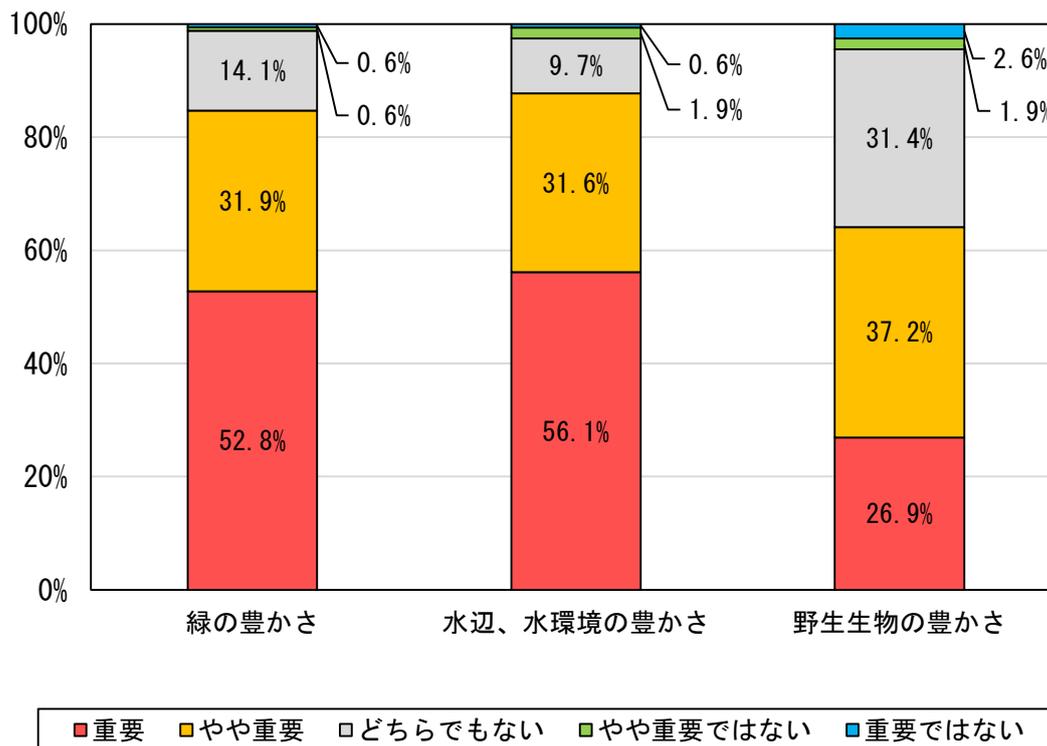
<項目：野生生物の豊かさ>

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	19	12.4%	42	26.9%
・やや満足（やや重要）	40	26.1%	58	37.2%
・どちらでもない	63	41.2%	49	31.4%
・やや不満（やや重要ではない）	17	11.1%	3	1.9%
・不満（重要ではない）	14	9.2%	4	2.6%
有効回答	153	100%	156	100%
無回答（無効回答含む）	16		13	
全回答	169		169	

現状の満足度
【ア 自然環境の保全】



今後の重要度
【ア 自然環境の保全】



【意見・要望（自由記入）：38件】

No.	内容	備考
1	水のおいしさや、豊富な水量など、他へ自慢できます。	50代女性
2	国道3号線の街路樹について、丸坊主に近いぐらい切っているのを見ますが、木がかわいそうで、どうにかならないものですか。景観的にも少し考えたらいいのにと常に思っています。	60代男性
3	イノシシ・シカ・サルの野生動物が農作物を荒らしたり、住宅地まで出没して危険です。動物愛護といいますけど・・・。	50代女性
4	動物と人が共存できる環境	50代
5	有害鳥獣が増えている。	70代
6	【緑の豊かさ】（山林や里山）緑の大切さは分かるが、荒れ放題の山林、田畑、国道、県道、その他のいわゆる“ヤボクラ”はとても問題だと思う。自治体はその把握をどの位しているのか？	60代女性
7	【野生動物】イノシシ等の問題	60代女性
8	川の草などきれいにしてほしい。動物が多くなっているので、少しは駆除してほしい。	60代女性
9	有害鳥獣が多すぎ。駆除が必要。	60代男性
10	川の中の雑草を処理してほしい。	70代男性
11	野生生物の保護（豊かさ）も大事だと思いますが、猪、鹿などによる作物への被害もたいへん多く、駆除もできず増える一方で、とても困っています。	50代女性
12	イノシシ、シカ、見る方はかわいいが農家としては害が多すぎて困っている。	70代
13	もう少し道路の整備をしてほしいです。	60代女性
14	猪、鹿の被害に困っている。	60代男性
15	鳥獣駆除を行ってほしい。	60代女性
16	野生生物の豊かさがありますが、イノシシ、シカ、カラス、ムジナ等、農作物に被害を与える生物が増えて退治してもらいたいと思います。イノシシにはダニがおります。	70代女性
17	外来生物の増加が不安	60代男性
18	イノシシ、シカが多く、果樹、野菜の作付ができなくなりました。	70代女性

【意見・要望（自由記入）：38件】

No.	内容	備考
19	野生生物が多いのは良いことだが、人間の生活圏まで侵入してきているのは本来の様子からして異様なので、少し心配である。	20代女性
20	イノシシ、アナグマ、シカなどの捕獲をお願いしたい。	60代女性
21	樹木、山の持ち主（県か町の所有物）が高齢化によるものなのか分からないが放置が目立つ！間伐する必要有。 （佐敷地区）以前、川の水質調査を行ったが、水質汚染されている。PH値悪い！アユの稚魚が上がってこない！ イノシシが異常に増えている。駆除必要！	40代男性
22	野生動物が住宅地を徘徊している状況は山林で本来の生態系が保たれなくなっているのではと思います。	30代女性
23	たまにシカ、イノシシが道路にいるので、子どもが襲われないか不安。	20代女性
24	農作物を荒らす害獣を駆除してほしい。	70代男性
25	野生生物が作物を荒らすことに不安を感じます。	50代男性
26	シカ、イノシシが多い。交通事故に繋がる。	30代男性
27	山の整備ができていない所（倒木をそのまま等）もあるかと思うので、今後、整備が必要かと思う。	40代女性
28	高齢化に伴い、農業を取り巻く環境、状況も今まで通りではいなくなってきた。野生生物の豊かさよりも農業作物への対策等を考慮し、今後の対応を検討すべき。	60代男性
29	海、川の水質が悪い。シカが多い。	60代
30	（漁師さん）以前に比べると、獲れなくなったと言われる方が多い。	
31	アサリなど自由に取りに行けないのが残念	60代女性
32	重要と答えていますが、農作物への被害は考慮が必要と考えます。	60代女性
33	自然環境の保全としての視点もちろん大切だと思うが、景観上、あるいは安全性などの視点も重要だと思う。住民の生活に身近でありながら、何年（何十年）も人の手が入っていないと思われる箇所も見受けられる。	60代女性
34	緑は豊かだが、利用がされていない。（例：キャンプ、公園、山登りができるコース等の整備）	40代女性
35	河川敷周りの清掃が必要だと思う。	50代男性

【意見・要望（自由記入）：38件】

No.	内容	備考
36	もっと多様性を取り戻すことをすべき。それを町づくり、(地域)おこし、産業、観光にすべき。	40代女性
37	シシ、シカをどうにかしてほしい。	60代
38	最近、畑や公園等にイノシシが出没し、みかげ公園に向かって左側奥、少々、実照寺寄りの所、公園が荒らされています。	70代女性

【イ 循環型社会の推進】

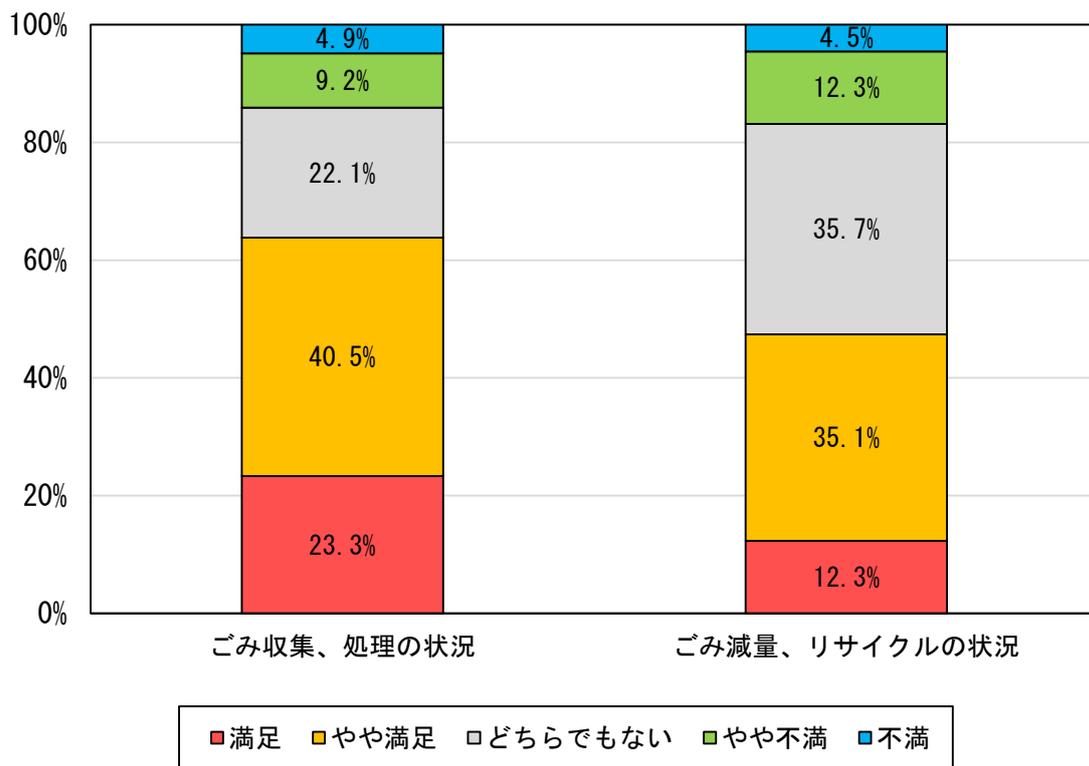
<項目：ごみ収集、処理の状況>

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	38	23.3%	102	62.2%
・やや満足（やや重要）	66	40.5%	45	27.4%
・どちらでもない	36	22.1%	16	9.8%
・やや不満（やや重要ではない）	15	9.2%	1	0.6%
・不満（重要ではない）	8	4.9%	0	0.0%
有効回答	163	100%	164	100%
無回答（無効回答含む）	6		5	
全回答	169		169	

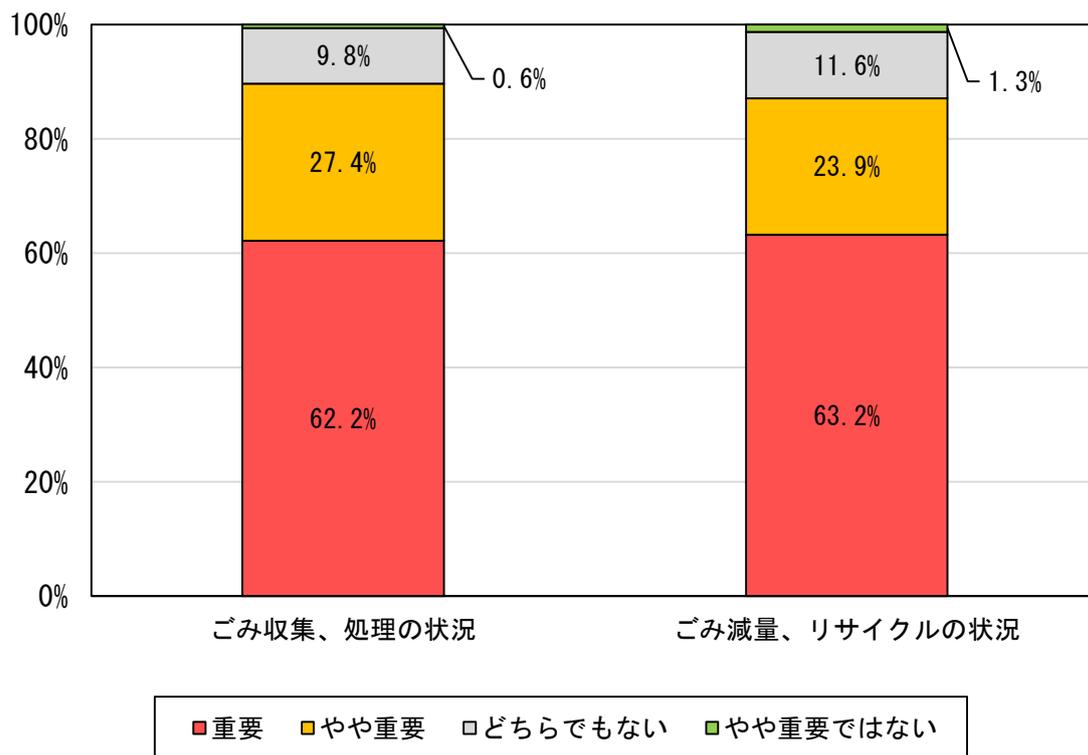
<項目：ごみ減量、リサイクルの状況>

選択肢	満足度		重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	19	12.3%	98	63.2%
・やや満足（やや重要）	54	35.1%	37	23.9%
・どちらでもない	55	35.7%	18	11.6%
・やや不満（やや重要ではない）	19	12.3%	2	1.3%
・不満（重要ではない）	7	4.5%	0	0.0%
有効回答	154	100%	155	100%
無回答（無効回答含む）	15		14	
全回答	169		169	

現状の満足度
【イ 循環型社会の推進】



<今後の重要度>
【イ 循環型社会の推進】



【意見・要望（自由記入）：37件】

No.	内容	備考
1	祝日等もごみの収集日があるので大変有難い。	60代女性
2	食品トレイや発泡スチロールがすぐたまる。ごみ減量を心がけたいのだが難しい。	60代女性
3	ごみのリサイクル情報が少ない	60代女性
4	資源ごみの収集の日を月に1回ではなく、あと1回あればと思います。1度出しそびれると1ヶ月待つことになるので。	50代女性
5	大型ごみの収集を希望	20代女性
6	月曜日の振替休日に収集されるようになったので助かります。	60代男性
7	芦北町のごみは全てごみ（指定）袋を購入し、出さなければいけません。ごみを出す為に高い袋代を出しています。ごみを少なくする為、食品等の包装を工夫してほしい（低所得の為）。	50代女性
8	（ごみの収集）暑い時も、寒い時も感謝しています。ありがたいです。	70代男性
9	【ごみ減量】よく分からないが（自治体との関係？）、物を購入する時の品物の包装にプラスチック製品が多いこと。ひとつの商品にどれだけプラスチック、ビニール袋が使われているか・・・。	60代女性
10	年配の方にはごみの分別が難しい人もいるので、簡単にするか、手助けが必要だと思う。	50代女性
11	エコバッグを各店舗で推奨した方が良いと思います。	10代女性
12	ごみ減量、リサイクルがどれほどされているかよく分からない	60代男性
13	飲み物の容器をピンにし、使ったピンは消費者が店頭を持って行き、高い金額で引き取ってもらう。そのピンの値段を商品に上乗せする。	60代男性
14	分別が多すぎる。最終処分の方法から考えるともっと少なくて良いのでは？	40代男性
15	昔より良くなってきていると思うが、まだ他の土地にごみ（紙コップ等）を捨てている人がいる。決まった捨て方をしていない（人がいる）ため、取り残しがあります。	70代女性
16	プラスチック、紙の分別が少ない（ごみステーションに出てこない）。	60代男性
17	適正で満足	70代女性

【意見・要望（自由記入）：37件】

No.	内容	備考
18	ごみ収集、処理、減量、リサイクルの状況をあまり知らない。他と比べて どういう状況か知りたい。	20代女性
19	五合瓶の回収	50代女性
20	ごみ収集曜日外に。地区外の者が車で来て、大量に分別していないごみを 持ち込んでいる。	40代男性
21	ごみ袋を大・中・小作ってほしい。	40代
22	祭日の時にごみ収集があるかないか分かりにくい。	40代
23	週3回の収集は、利便性は高いが、ごみ減量の意識が高まらないのではと 感じている。	30代女性
24	プラスチックを捨てない。河や海に。	70代男性
25	リサイクルについて、何か行われていることがあるのかも知らない。	20代女性
26	行政やよくやっていると思う。	70代男性
27	ごみの分別については、行政の指導が必要かと思う（広報誌に分別表を入 れるだけでは見ない方もいらっしゃるので・・・）。必要に応じて地区で説明。 または、老人会等での説明があった方がいいのでは？）。ごみステーション も高齢化が進んでいる地域も多いので、必要に応じて増やす必要もあるのでは？	40代女性
28	各家庭等において不用品等の対応をリサイクル等での検討は？	60代男性
29	町のごみ袋には入らないごみの収集（持ち込むのが難しい）。大型ごみの 収集（月に1回程度）。	60代
30	ごみの分別ができていない時（収集所での個人が出すごみ）があります。 もう少し分別方法を広報すべきでは？	60代女性
31	ごみの分別がとても細かいが、どれくらいきちんと分別されているか気にな る。	30代女性
32	プラスチックごみが問題になっているが、芦北町がどのようにリサイクル しているのか、ちゃんとリサイクルされているの町民に示してほしい。	30代女性
33	各地域で決まった収集日に来ていただくので非常に助かります。特に残飯 の時、臭いがするので必ず出て残飯の受け皿を掃除し、職員の方々と会話し ながら、毎日の活動に感謝し、労をねぎらい手を振っています。	70代女性

【意見・要望（自由記入）：37件】

No.	内容	備考
34	ごみの分別については、スタートした時にしっかりと理解し、把握したと思いますが、年月が経ち、住民も高齢化し、認知度が低下したのか、収集場所にいつまでも回収されないで残っているのをよく見ます。再々度周知徹底が必要なのでは。	60代女性
35	プラごみの回収率を上げたり、そもそもを減らす。生ごみや枯れ葉や川土手の草などは有効活用するなど。	40代女性
36	エコバッグの定着	60代男性
37	ペットボトル等のポイ捨てが目立つ。ごみ箱等の設置数を増やす必要があるのでは？	50代男性

【ウ 地球温暖化対策の推進】

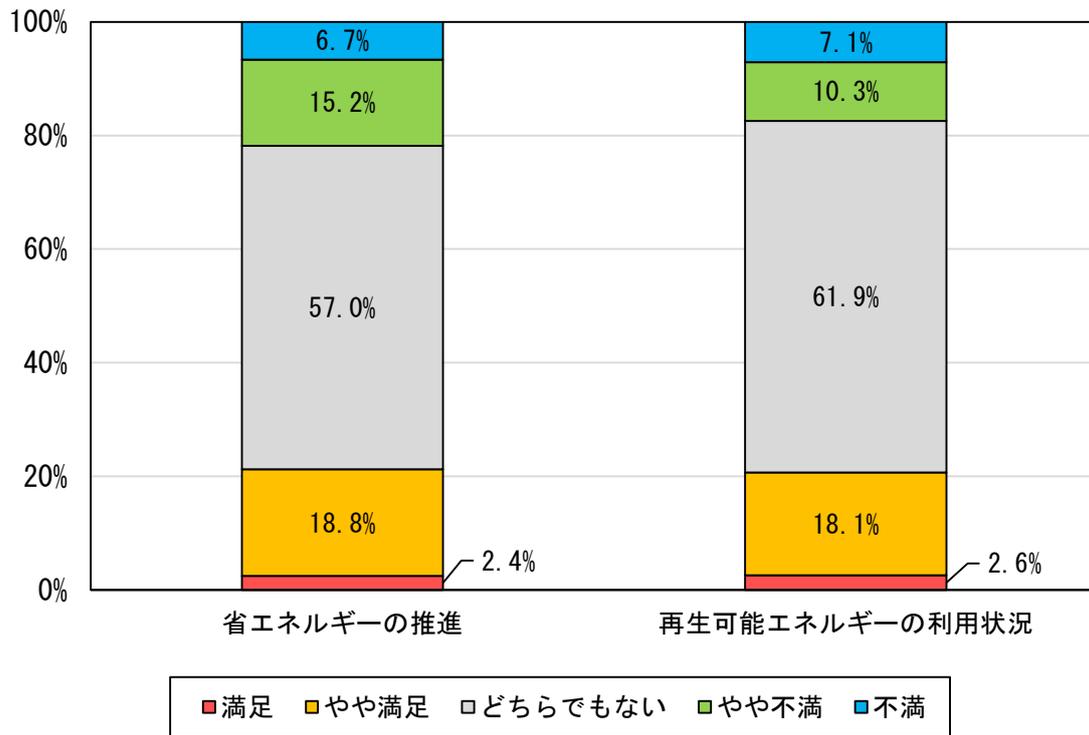
＜項目：省エネルギーの推進＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	4	2.4%	88	54.0%
・やや満足（やや重要）	31	18.8%	41	25.2%
・どちらでもない	94	57.0%	30	18.4%
・やや不満（やや重要ではない）	25	15.2%	4	2.5%
・不満（重要ではない）	11	6.7%	0	0.0%
有効回答	165	100%	163	100%
無回答（無効回答含む）	4		6	
全回答	169		169	

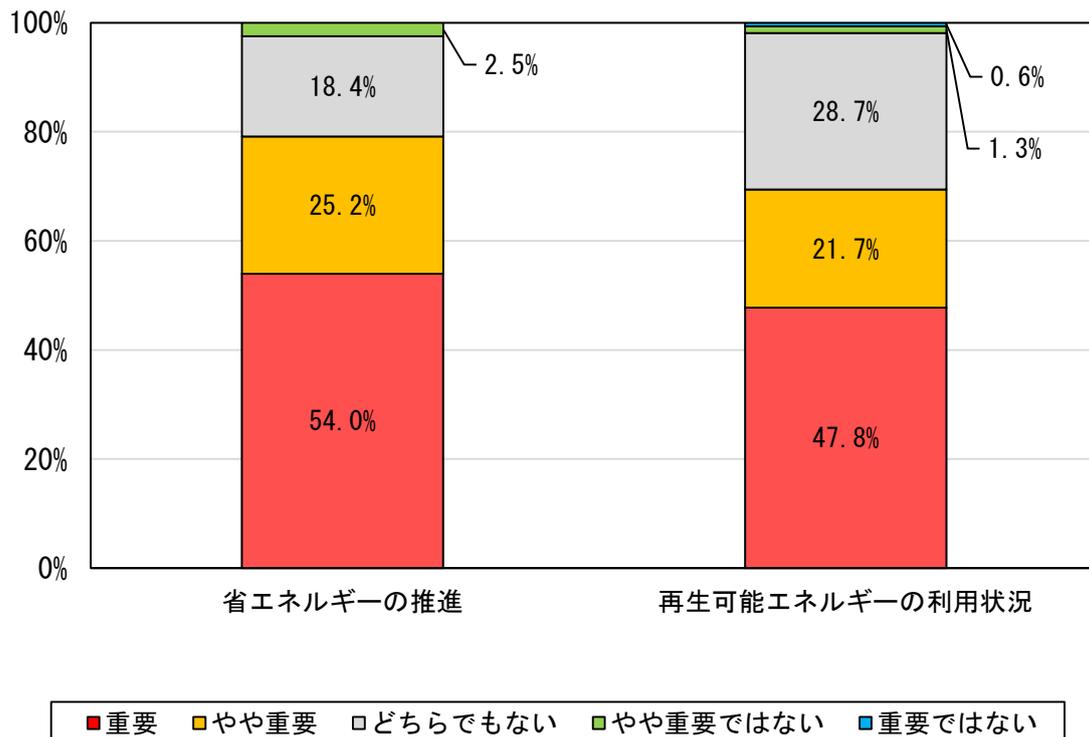
＜項目：再生可能エネルギー（太陽光等）の利用状況＞

選択肢	満足度		重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	4	2.6%	75	47.8%
・やや満足（やや重要）	28	18.1%	34	21.7%
・どちらでもない	96	61.9%	45	28.7%
・やや不満（やや重要ではない）	16	10.3%	2	1.3%
・不満（重要ではない）	11	7.1%	1	0.6%
有効回答	155	100%	157	100%
無回答（無効回答含む）	14		12	
全回答	169		169	

現状の満足度
【ウ 地球温暖化対策の推進】



今度の重要度
【ウ 地球温暖化対策の推進】



【意見・要望（自由記入）：19件】

No.	内容	備考
1	自家用車の利用をできるだけ減らして、排出ガスを減らせたらと思います が、車がないと不便な地域なので、無理かなと思っています。	50代女性
2	原発から再生可能エネルギーへの転換を積極的に進めるべきと考えます。	60代男性
3	考えがまとまっていません。すいません。	60代女性
4	太陽光等の設置には金がかかる。	60代男性
5	地球温暖化により台風が起きるので、大変重要だと思います。	70代女性
6	体育施設の電気の消し忘れがある！我々の税金で電気代を賄っていると 思うが、使用者のマナー、モラル、常識がない！太陽光発電の意味ない！	40代男性
7	メガソーラーに関しては、数十年後、パネルを廃棄する際にどのような処 分方法を予定しているのか気にかかる。	30代女性
8	アパートや団地にも太陽光をつけて、各家庭で蓄電池等準備してもらった り、地球にやさしくを根付かせていった方が良くと思う。	20代女性
9	どこでどのように使われているか周知がない。	50代女性
10	電力安定供給を目指すなら、太陽光発電の発電効率を50%以上のパネル の開発、安価な蓄電池の開発が必要。	70代男性
11	世界の流れかもしれないが、原発、原子力が近い将来、地球を滅すと思う。	70代男性
12	太陽光等の各家庭での利用促進をお願いしたい。	60代男性
13	太陽光発電はあまりにも天候に左右されてしまう。	60代女性
14	テーマが大きすぎて分からない。	50代男性
15	地球規模でこの問題については早急に取り組まなくてはいけないと思う。 そのために我々の生活が多少不便になっても仕方ないと思う。	60代女性
16	太陽光発電の家が少ない。将来の子どもたちのためにももっと何かできな いかと思う。	40代女性
17	金額等の問題があるので、何とも言えない。	50代男性
18	そもそも人間社会活動のやり方、価値観を転換すべき。	40代女性
19	近年、地球温暖化し、大型台風や大水害、大地震が起こったらと思うと、 どうなるか心配である。ここ数年災害が多い。災害の無い事を祈っています。	70代女性

【工 快適な空間の形成と維持】

＜項目：公園や緑地の多さ＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	21	12.8%	60	37.0%
・やや満足（やや重要）	43	26.2%	64	39.5%
・どちらでもない	56	34.1%	35	21.6%
・やや不満（やや重要ではない）	29	17.7%	3	1.9%
・不満（重要ではない）	15	9.1%	0	0.0%
有効回答	164	100%	162	100%
無回答（無効回答含む）	5		7	
全回答	169		169	

＜項目：自然との親しみやすさ＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	21	13.1%	64	39.3%
・やや満足（やや重要）	52	32.5%	65	39.9%
・どちらでもない	55	34.4%	31	19.0%
・やや不満（やや重要ではない）	25	15.6%	2	1.2%
・不満（重要ではない）	7	4.4%	1	0.6%
有効回答	160	100%	163	100%
無回答（無効回答含む）	9		6	
全回答	169		169	

＜項目：自然の景色の美しさ＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	32	19.9%	75	46.9%
・やや満足（やや重要）	61	37.9%	59	36.9%
・どちらでもない	42	26.1%	26	16.3%
・やや不満（やや重要ではない）	18	11.2%	0	0.0%
・不満（重要ではない）	8	5.0%	0	0.0%
有効回答	161	100%	160	100%
無回答（無効回答含む）	8		9	
全回答	169		169	

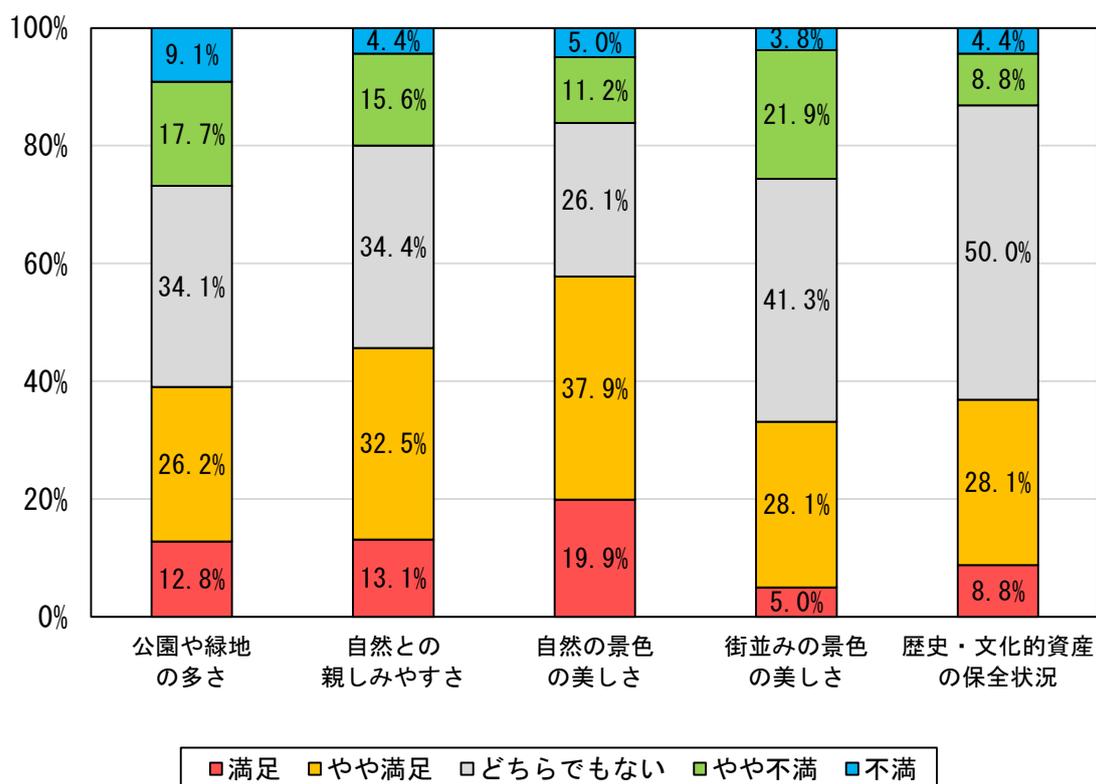
<項目：街並みの景色の美しさ>

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	8	5.0%	58	36.3%
・やや満足（やや重要）	45	28.1%	71	44.4%
・どちらでもない	66	41.3%	28	17.5%
・やや不満（やや重要ではない）	35	21.9%	1	0.6%
・不満（重要ではない）	6	3.8%	2	1.3%
有効回答	160	100%	160	100%
無回答（無効回答含む）	9		9	
全回答	169		169	

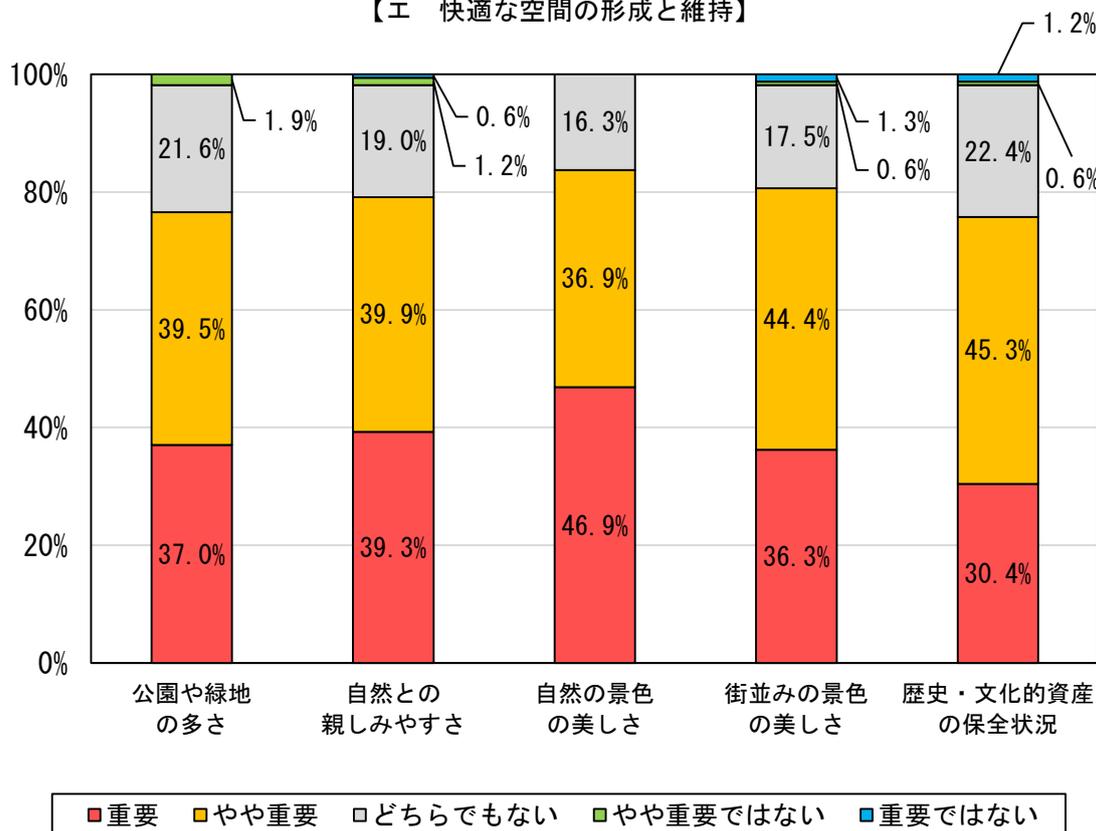
<項目：歴史・文化的資産の保全状況>

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	49	30.4%	75	47.8%
・やや満足（やや重要）	73	45.3%	34	21.7%
・どちらでもない	36	22.4%	45	28.7%
・やや不満（やや重要ではない）	1	0.6%	2	1.3%
・不満（重要ではない）	2	1.2%	1	0.6%
有効回答	161	100%	157	100%
無回答（無効回答含む）	8		12	
全回答	169		169	

現状の満足度
【エ 快適な空間の形成と維持】



今後の重要度
【エ 快適な空間の形成と維持】



【意見・要望（自由記入）：25件】

No.	内容	備考
1	各地域での一汗運動や花いっぱいなどの奉仕活動は有効だと思います。	50代女性
2	「ぜひ行ってみたい」「他人を連れて行きたい」と思われるところがなさすぎると思います。	60代男性
3	小さな子どもさんを安心して遊ばせられる公園等の環境が整っていないのかな？と少し思います。	40代女性
4	若い人たちが住みたくなるような（小さい子のいる家族）街づくりが必要だと思うので、どちらかに片寄るのではなく、商業施設などの整備も必要だと思う。	50代女性
5	公園が汚い。安心して子どもを遊ばせられない。	30代女性
6	子どもたちが遊ぶ公園が少ないため、町外へ出向き遊ばせている。町内にも広い公園等があれば他人とのコミュニケーションも取れやすい。	40代男性
7	公園の利用者を増加させるためのプロジェクト。年配の方々だけでなく、小さい子どもの利用が増加する機会を作るべき。	20代男性
8	個人の家の庭など、1人暮らしの老人さんとか、庭の草取り、庭木の手入れ等、できていない所がある。	70代女性
9	地域に公園や緑地はない。欲しいですが、維持ができそうにない。	70代女性
10	佐敷川沿いの桜の管理は県が行うのか？町が行うようであれば、放置しっ放し。シロアリで腐食して倒れている。	40代男性
11	どこに公園があるか分からない。	40代
12	雨の日こそ遊べる公園が欲しい。立橋の下などにちょこっとした公園や室内キッズルーム、屋根付きキッズルームがあれば凄くありがたいです。	20代女性
13	住宅は空き家が多く、夜はこわいです。	
14	廃屋が取り壊さずに放置が目立つ。	70代男性
15	公園については、草だらけの公園もあるので整備が必要かと・・・（公園が整備されていないから子どもが遊ばないのか、子どもが遊ばないから整備していないのか・・・）。自然の美しさについては、誇りに思っているので、今後も維持していただきたいと思う（海の美しさ、山の青さ等）。	40代女性
16	人口減少に伴い空き家がかかり多くなってきているのが目につく。	60代男性
17	トイレがあればと思うことがある。あった時汚いなあと思うこともある。	60代女性

【意見・要望（自由記入）：25件】

No.	内容	備考
18	夕やけが美しいのはうれしい	60代女性
19	小さい子どもが遊べる公園をもっと作ってほしい。	30代女性
20	気軽に、そして安全にジョギング、ウォーキングができる所を整備してほしい。	30代女性
21	公園も古くて小さい。八代や違う県に遊びに行く事が多かった（子どもが小学生に入るまでは）。	40代女性
22	県外で図書館でゆっくり本を読んだり、DVDを観たり、周辺をウォーキングしたり、1日中過ごせるところがあり、町内にもあれば良いと思っていた。町外利用の場合、1日100円程度の料金をとっていたが、利用者も多かった。	40代女性
23	町内での清掃活動の回数を増やす。	50代男性
24	自然と人の暮らしを融合し、その美しさを目指すべき。	40代女性
25	3号線等に大型スーパー等ができてきたので、本通りの商店も閉店し、人通りも少なく、さみしくなっている。	70代女性

【オ 安心して暮らせる生活環境】

＜項目：大気の状態＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	22	13.5%	89	55.6%
・やや満足（やや重要）	53	32.5%	47	29.4%
・どちらでもない	54	33.1%	21	13.1%
・やや不満（やや重要ではない）	27	16.6%	3	1.9%
・不満（重要ではない）	7	4.3%	0	0.0%
有効回答	163	100%	160	100%
無回答（無効回答含む）	6		9	
全回答	169		169	

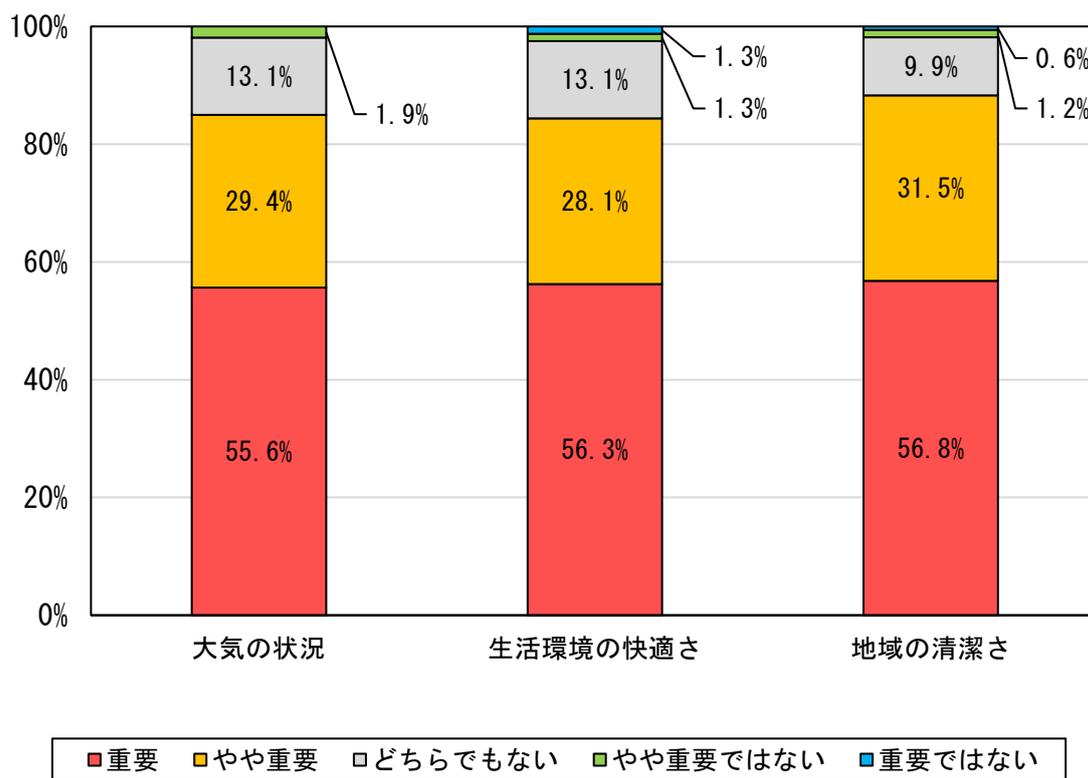
＜項目：生活環境の快適さ＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	15	9.4%	90	56.3%
・やや満足（やや重要）	43	27.0%	45	28.1%
・どちらでもない	53	33.3%	21	13.1%
・やや不満（やや重要ではない）	43	27.0%	2	1.3%
・不満（重要ではない）	5	3.1%	2	1.3%
有効回答	159	100%	160	100%
無回答（無効回答含む）	10		9	
全回答	169		169	

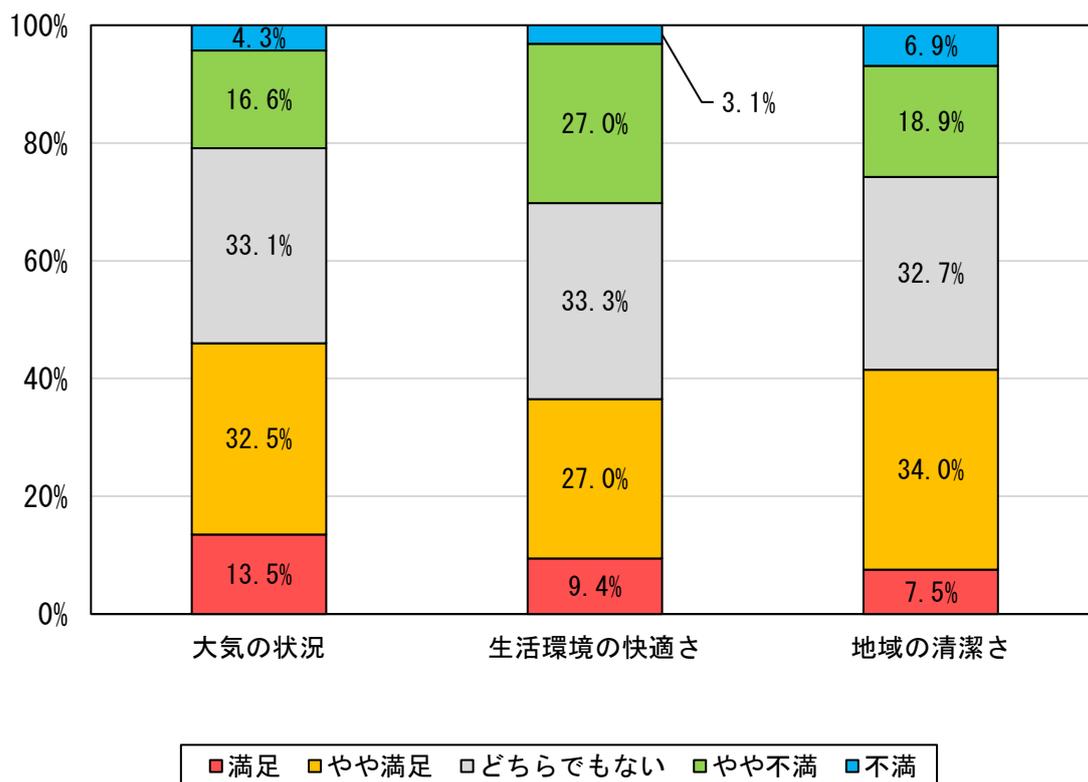
＜項目：地域の清潔さ＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	12	7.5%	92	56.8%
・やや満足（やや重要）	54	34.0%	51	31.5%
・どちらでもない	52	32.7%	16	9.9%
・やや不満（やや重要ではない）	30	18.9%	2	1.2%
・不満（重要ではない）	11	6.9%	1	0.6%
有効回答	159	100%	162	100%
無回答（無効回答含む）	10		7	
全回答	169		169	

今後の重要度
【オ 安心して暮らせる生活環境】



現状の満足度
【オ 安心して暮らせる生活環境】



【意見・要望（自由記入）：27件】

No.	内容	備考
1	ごみの不法投棄パトロールなどを強化していただきたい。	50代女性
2	不法投棄（ごみ）が目立ちます。	20代女性
3	PM2.5で霞む日があるのが・・・。それと、芦北町は水道水がマズくて飲めないのが不満です。それ以外ありません。	60代男性
4	【地域の清潔さ】空家の状況や草やぶの多さ → 今後の治安の問題にも関係していくと思われる。	60代女性
5	プラスチックを燃やす人がいる。	60代男性
6	交通環境をもう少し改善してほしい。	60代男性
7	近所の牛小屋の臭い。	70代男性
8	まだ、山や川へごみを捨てる人が見受けられる。	40代男性
9	他の町や市に比べると少ないが、ごみのポイ捨てが目立つ。環境（水質）汚染の原因となるため、ポイ捨て削減を推進されたい。	20代男性
10	道路等にごみ捨てがあり、散乱している。一人ひとりのモラル向上。	60代女性
11	道路脇の草刈。雑草が伸びており、美しい環境とは思えない。	60代女性
12	まだ私たちは自分で庭の草取りなどできるので良いですが、もう少し年齢を重ねるとできなくなる。	70代女性
13	放置されたまま荒れていく無人の家屋を早く処理してほしいです。	60代女性
14	国道沿いや県道沿いに雑草が生えていて見苦しいので、多くの人を通る所をきれいにしてほしいです。	60代女性
15	人への寛容さが狭くて暮らしにくい。人が少なくなって特に感じます。	70代女性
16	道川内周辺、たばこの投げ捨てが多すぎる!マナー悪すぎる。	40代男性
17	子ども医療費など、子どもをとて育てやすい環境が整っていると思う。なので兄弟が多い家族が増える。今も増えているように感じる。	20代女性
18	ごみ収集の時、名前を記入しない方がいます。	
19	大気については、世界規模かと思うので、町でできることは限られているかと思うが、生活環境については、防犯の意味も含めて街灯の設置が遅れている地域も見受けられる。	40代女性

【意見・要望（自由記入）：27件】

No.	内容	備考
20	地域で環境等、地域内でのそれぞれの団体で対応できていたものが難しくなっている。地域内連携等が重要になってきていると思う。	60代男性
21	児童公園はあるが使い方がよく分からない。気軽に利用できる公園が芦北にも欲しい（ブランコ、すべり台、遊具がある程度充実していたら嬉しい）。	30代女性
22	黄砂、PM2.5など、化学物質が飛来するのは気になる。	60代女性
23	海岸がきれいとは言えない。	60代女性
24	田浦に住んでいるが、老後運転できなくなったら、買い物も大変そうだと思う。住み続けるのを考えてしまう。	40代女性
25	まず、道路が整備されて交通量が多くなって、目に見えないほこりがある（特に窓）。	70代女性
26	昔に比べると食べ物や衣類等も増加している。	70代女性
27	毎日ごみ収集に来てくださるので、どこもきれいと思います。	70代女性

【力 環境に係る協働や学習の推進】

＜項目：環境について学ぶ機会＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	3	1.8%	44	27.2%
・やや満足（やや重要）	22	13.5%	71	43.8%
・どちらでもない	113	69.3%	44	27.2%
・やや不満（やや重要ではない）	20	12.3%	3	1.9%
・不満（重要ではない）	5	3.1%	0	0.0%
有効回答	163	100%	162	100%
無回答（無効回答含む）	6		7	
全回答	169		169	

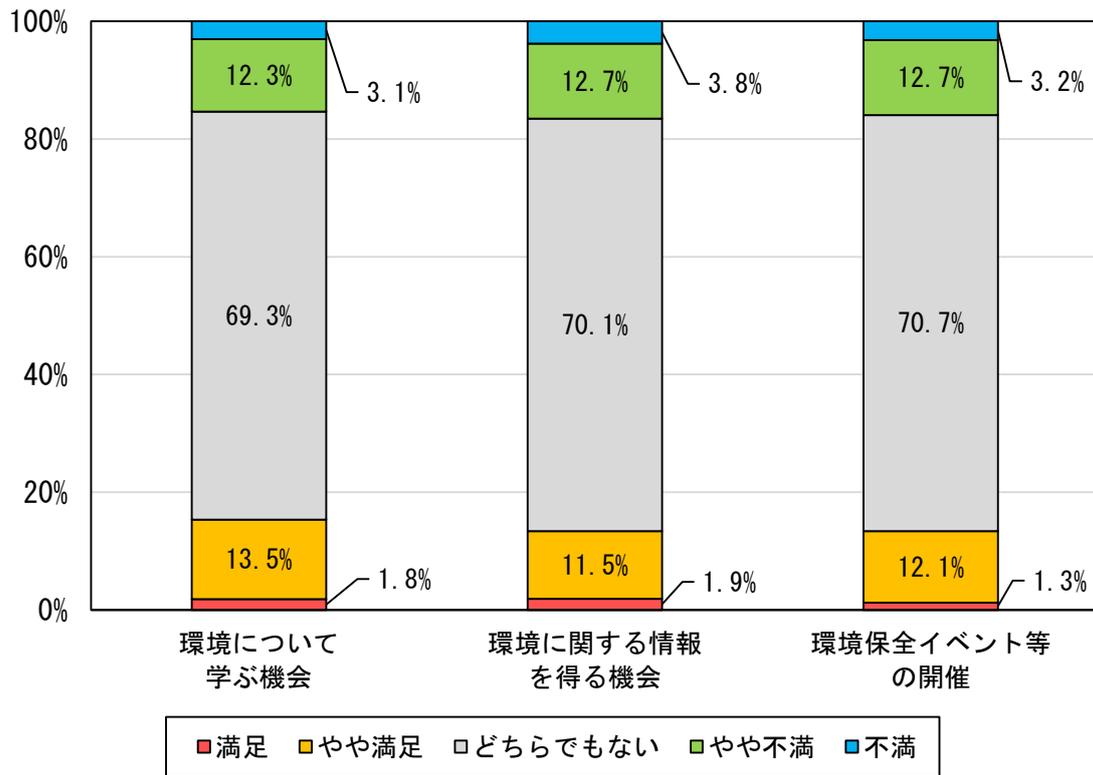
＜項目：環境に関する情報を得る機会＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	3	1.9%	40	25.3%
・やや満足（やや重要）	18	11.5%	76	48.1%
・どちらでもない	110	70.1%	38	24.1%
・やや不満（やや重要ではない）	20	12.7%	4	2.5%
・不満（重要ではない）	6	3.8%	0	0.0%
有効回答	157	100%	158	100%
無回答（無効回答含む）	12		11	
全回答	169		169	

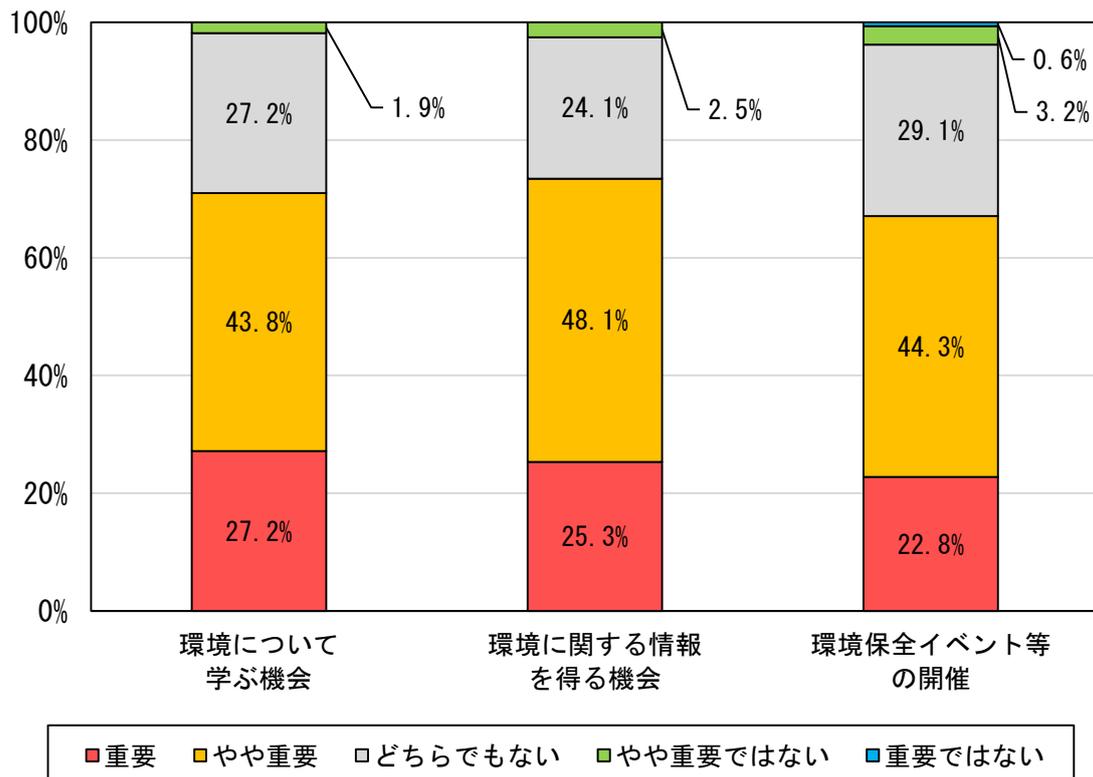
＜項目：環境保全イベント等の開催＞

選択肢	現状の満足度		今後の重要度	
	人数	割合	人数	割合
・満足（重要）	2	1.3%	36	22.8%
・やや満足（やや重要）	19	12.1%	70	44.3%
・どちらでもない	111	70.7%	46	29.1%
・やや不満（やや重要ではない）	20	12.7%	5	3.2%
・不満（重要ではない）	5	3.2%	1	0.6%
有効回答	157	100%	158	100%
無回答（無効回答含む）	12		11	
全回答	169		169	

現状の満足度
【カ 環境に係る協働や学習の推進】



今後の重要度
【カ 環境に係る協働や学習の推進】



【意見・要望（自由記入）：14件】

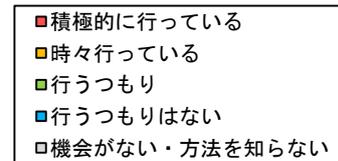
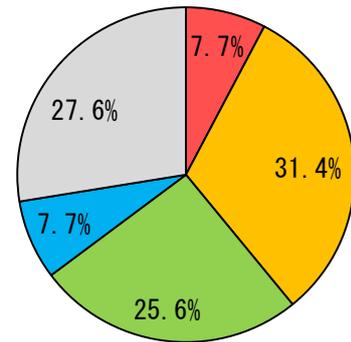
No.	内容	備考
1	一般の環境について学ぶ・情報を得る・イベントの機会が少ない。あっているのなら、その情報を得られていない。	60代女性
2	大人になってからではなく、小・中学生の頃から始めることが良いと思います。	50代女性
3	環境については、会社で学んでいる。	40代男性
4	地域別に行う廃品回収の頻度を高めても良いと思う。	20代男性
5	一般道路へのごみ捨て（抑制）の強化（パトロール実施）。	40代男性
6	毎日、生ごみを川に捨てている人がいる！海、川が汚染されている意識がない！海や川で生計を立てている人に失礼！環境破壊されている！	40代男性
7	イベント、フェスなどで子どもが楽しめる行事、企画があれば、若いファミリー層はもっと集まるかと思う。	20代女性
8	環境について、すべての人が学ぶ機会を設けるべきだと思う。子どもは学校で、若い人たちは職場で、お年寄りまですべて集まる場所で勉強会をしたらいいと思う。	60代女性
9	環境について学ぶ機会が子どもから大人までどのくらいあるのか・・・。	40代女性
10	農業に関しても、安全、安心はもちろん、生産活動も結果管理ではなく、工程管理（G・A・P）等の中に環境への取り組みも必要になってきている。	60代男性
11	あまり目にする機会がない。	40代女性
12	情報やイベント等が分かりにくい。	50代男性
13	英才教育すべき。	40代女性
14	各分野における勉強会が盛んになっている。特に、スポーツする人が多くなったと思う。3項目（力の項目）における勉強会があったら、1度参加できたらと思います。	70代女性

4) 環境に係る個人の取り組みについて

【自然環境の保全】

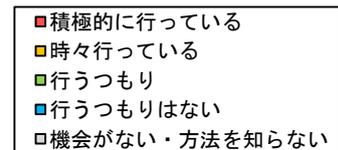
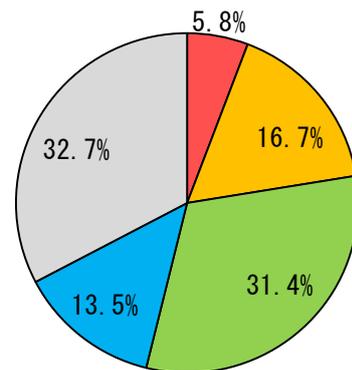
①身近な緑や水を守る活動を行う

選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	12	7.7%
・時々行っている	49	31.4%
・行うつもり	40	25.6%
・行うつもりはない	12	7.7%
・機会がない・方法を知らない	43	27.6%
有効回答	156	100%
無効回答	13	
全回答	169	



②身近な生き物を守る活動を行う

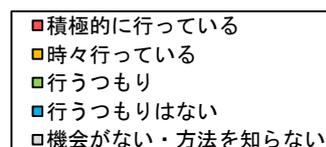
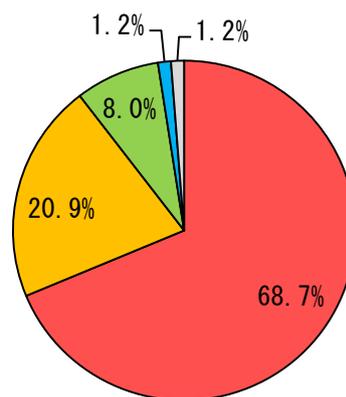
選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	9	5.8%
・時々行っている	26	16.7%
・行うつもり	49	31.4%
・行うつもりはない	21	13.5%
・機会がない・方法を知らない	51	32.7%
有効回答	156	100%
無効回答	13	
全回答	169	



【循環型社会の推進】

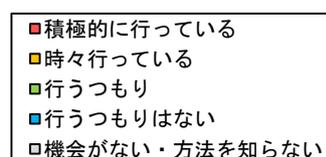
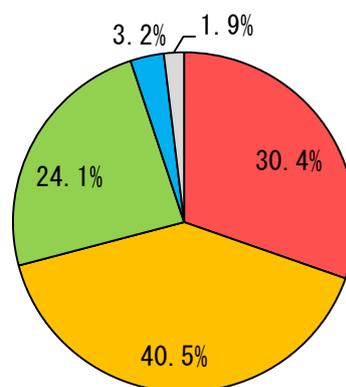
③ごみの分別を徹底する

選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	112	68.7%
・時々行っている	34	20.9%
・行うつもり	13	8.0%
・行うつもりはない	2	1.2%
・機会がない・方法を知らない	2	1.2%
有効回答	163	100%
無効回答	6	
全回答	169	



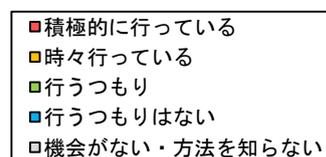
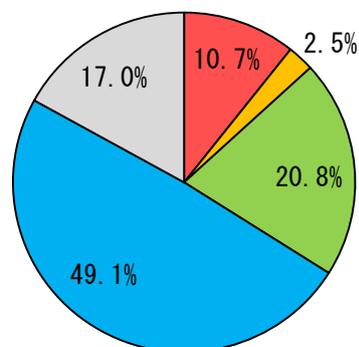
④買い物にはマイバッグを持参する

選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	48	30.4%
・時々行っている	64	40.5%
・行うつもり	38	24.1%
・行うつもりはない	5	3.2%
・機会がない・方法を知らない	3	1.9%
有効回答	158	100%
無効回答	11	
全回答	169	



⑤生ごみ処理機を導入する

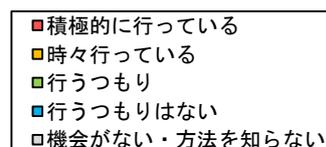
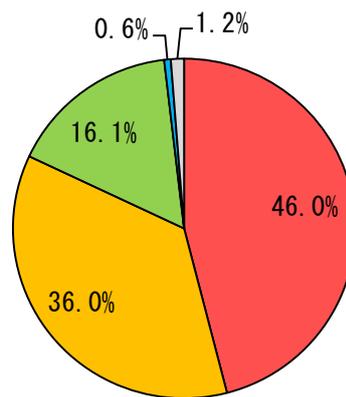
選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	17	10.7%
・時々行っている	4	2.5%
・行うつもり	33	20.8%
・行うつもりはない	78	49.1%
・機会がない・方法を知らない	27	17.0%
有効回答	159	100%
無効回答	10	
全回答	169	



【地球温暖化対策の推進】

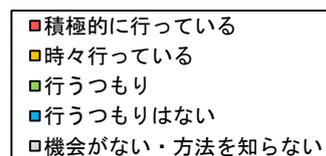
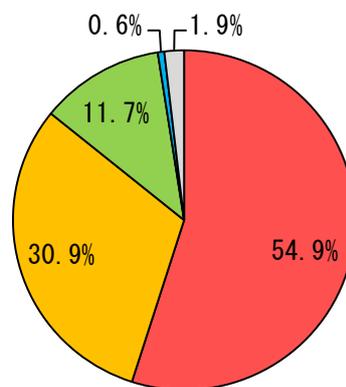
⑥こまめに電源を切る

選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	74	46.0%
・時々行っている	58	36.0%
・行うつもり	26	16.1%
・行うつもりはない	1	0.6%
・機会がない・方法を知らない	2	1.2%
有効回答	161	100%
無効回答	8	
全回答	169	



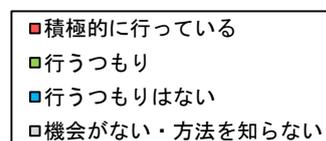
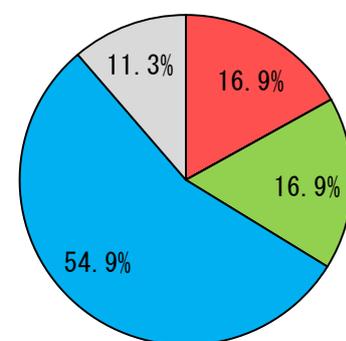
⑦冷暖房の温度を適正に設定する

選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	89	54.9%
・時々行っている	50	30.9%
・行うつもり	19	11.7%
・行うつもりはない	1	0.6%
・機会がない・方法を知らない	3	1.9%
有効回答	162	100%
無効回答	7	
全回答	169	



⑧太陽光などの再生可能エネルギーを活用した機器を導入する

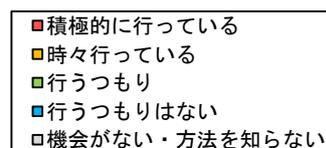
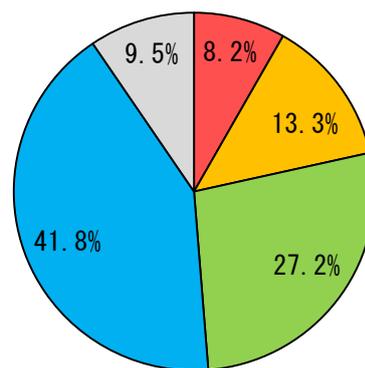
選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	24	16.9%
・行うつもり	24	16.9%
・行うつもりはない	78	54.9%
・機会がない・方法を知らない	16	11.3%
有効回答	142	100%
無効回答	27	
全回答	169	



※「時々行っている」は回答欄から除く。

⑨グリーンカーテンを設置する

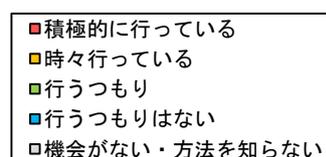
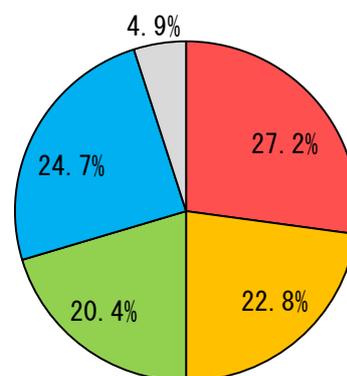
選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	13	8.2%
・時々行っている	21	13.3%
・行うつもり	43	27.2%
・行うつもりはない	66	41.8%
・機会がない・方法を知らない	15	9.5%
有効回答	158	100%
無効回答	11	
全回答	169	



【自然との共存】

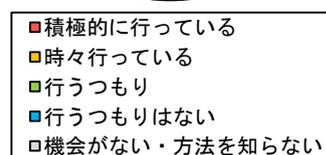
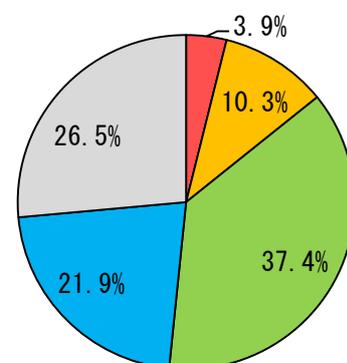
⑩庭や屋上ベランダなどを緑化する

選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	44	27.2%
・時々行っている	37	22.8%
・行うつもり	33	20.4%
・行うつもりはない	40	24.7%
・機会がない・方法を知らない	8	4.9%
有効回答	162	100%
無効回答	7	
全回答	169	



⑪歴史的・文化的資産の保全（見物・維持・発信活動等）に努める

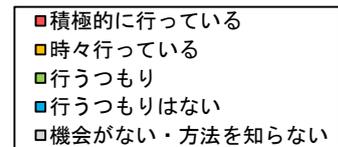
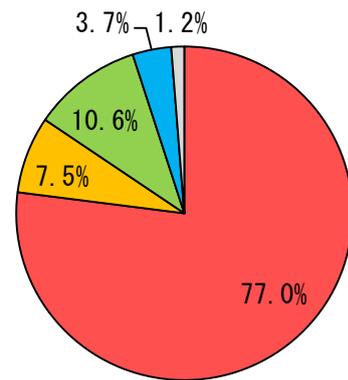
選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	6	3.9%
・時々行っている	16	10.3%
・行うつもり	58	37.4%
・行うつもりはない	34	21.9%
・機会がない・方法を知らない	41	26.5%
有効回答	155	100%
無効回答	14	
全回答	169	



【安心して暮らせる生活環境の構築】

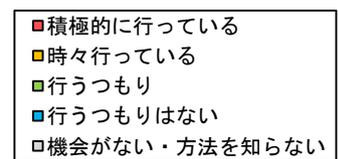
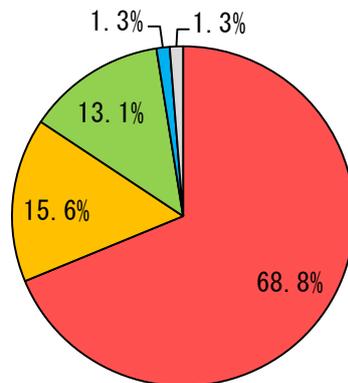
⑫廃油や残飯を下水に流さない

選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	124	77.0%
・時々行っている	12	7.5%
・行うつもり	17	10.6%
・行うつもりはない	6	3.7%
・機会がない・方法を知らない	2	1.2%
有効回答	161	100%
無効回答	8	
全回答	169	



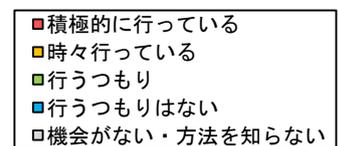
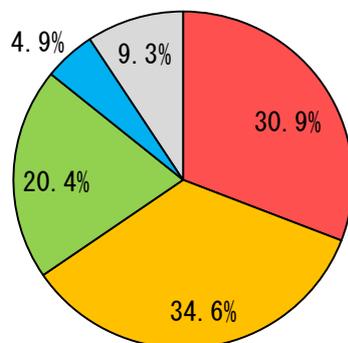
⑬騒音について近隣に配慮している

選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	110	68.8%
・時々行っている	25	15.6%
・行うつもり	21	13.1%
・行うつもりはない	2	1.3%
・機会がない・方法を知らない	2	1.3%
有効回答	160	100%
無効回答	9	
全回答	169	



⑭地域のごみ拾いなど環境美化活動に参加する

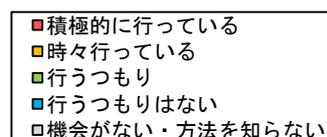
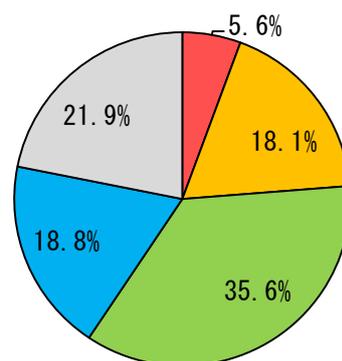
選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	50	30.9%
・時々行っている	56	34.6%
・行うつもり	33	20.4%
・行うつもりはない	8	4.9%
・機会がない・方法を知らない	15	9.3%
有効回答	162	100%
無効回答	7	
全回答	169	



【その他】

⑮環境教育や学習に関する活動に参加し、環境への理解を深める

選択肢	人数	割合
・積極的に行っている	9	5.6%
・時々行っている	29	18.1%
・行うつもり	57	35.6%
・行うつもりはない	30	18.8%
・機会がない・方法を知らない	35	21.9%
有効回答	160	100%
無効回答	9	
全回答	169	



【取り組みを推進する上での課題】

取組番号	課題の内容
⑤	生ごみ処理機の値段が高い。
⑧	資金が・・・。
⑧	予算がない。
⑧	太陽光機器の値段も高い。
⑩	庭も屋上もバルコニーもありません。
⑭	積極的に、自分1人でも海岸の美化に取り組もうと思っているがなかなか・・・。 プラスチック・缶・びん等が散らかっていて気にはなっているが・・・。
⑮	必ず実施する必要があると思う。
⑤、⑧	金銭的に無理である。
⑤、⑧	導入する予算がありません。
⑥、⑦	すべての人が行うことで大きな良い結果が現れると思う。
⑤、⑧、 ⑩、その他	現在は仕事に忙しく活動に参加する等は時間的に無理がある。生ごみ処理機等も経済的に余裕もありません。（補助があるのは知っています）
-	個人的に出来る事はする必要があると思うが、活動や導入等は時間や金額等に問題があるため何とも言えないところがある。
-	子どもが小さすぎると託児がないと参加したくてもできなかったり、もしくは子供を連れて参加しても十分に参加できないなどの不安があった。

5) 次世代に残したい町内の環境

回答内容ごとに、「①歴史・文化に関するもの」、「②自然や生き物に関するもの」、「③美しく管理された景観に関するもの」、「④施設等に関するもの」、「⑤特産品などに関するもの」、「⑥安全・安心に関するもの」の6つに分類しました。

さらにその中で、似た内容のものをグループでまとめて集計しました。

①歴史文化に関するもの	
赤松館：2人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））	
1	当時の生活環境が見てわかるため。
2	歴史的な遺産
うたせ船：23人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））	
1	芦北の海の幸のPRと海の美しさ、温泉利用可能を訴えることに適していると思われます。
2	全国的に珍しい？ので。
3	芦北の名物を後々まで残したい
4	外部からのお客様を案にする時に佐敷城跡やうたせ船が喜ばれるため。
5	他に無い貴重な資産
6	子ども達の小さい時の思い出だから。
7	昔ながらの漁法は残さなければならないし、観光収入源にもなるので。
8	昔ながらの漁業をたくさんの人に見ていただきたい。
9	歴史ある漁法として後世に残し観光資源として。
10	その美しい姿。
11	他にはない船であり、芦北を代表するイメージがあるので残したいと思う。
12	昔からある伝統的な漁法であり、次世代に残すべきだと思う。
13	海の貴婦人と言われているだけのことがあると思う。
14	キレイなので残してほしい。
15	町外・県外から多くの方々が体験学習として来られるので、一生続けていただきたい。
16	観光客をたくさん呼べる。
17	価値がある。
18	芦北町を代表する風景だと思うので残したいと思う。
佐敷城跡：14人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））	
1	名所なので後々まで残したい
2	街のシンボルなので残していきたい
3	歴史の形になっているから。
4	昔の芦北町を知るためにも残したい。

①歴史文化に関するもの

佐敷城跡：14人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

5	芦北町の歴史の一つとして、ハッキリと目に残すことができる。
6	歴史の面から見て城（跡）の存在は大きいと思うから。町の歴史を知るきっかけとなるものだから。
7	城山から見た芦北町は昔と現在の素晴らしい場面が見られるので残していただきたい。撮影スポットでもあります。（1～4月・10月～12月）
8	芦北町のシンボルとして見学したいところ。

諏訪神社・諏訪祭り（他祭り）：4人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	昔から祭りや初詣に行くことが多いので。
2	大人から子供まで参加できて、相撲や諏訪神社の伝統を伝えていく。
3	農業の神様であるため。
4	活性化のため継続（祭り）

城下町としての街並み：3人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	独自の歴史を持つ。
---	-----------

野坂の浦：2人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	天皇が立ち寄られた所と聞いている
2	天皇が昔立ち寄られた場所

旧国道のトンネル：1人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	人力施工の構造物なので保存してもらいたい。
---	-----------------------

木造校舎（旧女島小学校）：1人

②自然や生き物に関するもの

美しい海や川：21人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	芦北と言えばやっぱり海！
2	安全・安心な海の幸を食せる町であってほしいから。
3	【豊かな海岸】山の緑と海の青が美しいので残したい。
4	夕焼けがすごく美しいので今の美しさを保てたらと思う。
5	【潮干狩りなどできる環境】子供達、大人の思い出
6	景観が美しいと心も美しいと思うから。
7	芦北と言えば海のイメージが強いので、きれいな海を保って観光にも役立って欲しいから。
8	県内外から多くの人がある。海水浴に来る人は芦北の海はキレイと言う人が多いと聞くので。
9	子供達にキレイな海を残したいから。
10	【海・島のコントラスト】素晴らしい景観（心がホッとする）

②自然や生き物に関するもの	
美しい海や川：21人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））	
11	【美しい海と海岸（海水浴場）】普段見慣れていると当たり前前に思っていますが、都会から来た人は”きれいな海水が透き通っている。”と驚きます。松林と砂浜なども美しく残してほしいです。
12	【魚の放流】自然を残し、自然を愛する。
13	【アマモ】
14	【きれいなリアス式海岸と昔ながらの波止場】
ほたる等の生き物：5人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））	
1	ホタルの舞う川は水質の良いところだと聞くので、きれいな河川は保たれるべき。
2	【橋本川のホタル】孫たちが喜ぶのもっと増えたらいいと思う。
3	【沼に生息する在来種の生き物】
4	【川に魚や鳥が集まる環境】
豊かな緑と田園風景：13人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））	
1	芦北はほとんどが山林であるが、荒れている山・総伐してそのままにしてある山も多い。美しい山並みを残したい。災害対策にもなると思います。
2	季節を感じられてとてもよい。
3	必須だから
4	【田や柿やみかんの実る風景】四季折々の特産品の恵みを得られる農産物を育てて行くための重要性が自然環境の保全へ繋がると考えられます。
5	【棚田】自然豊かでリラックス・安心できる。
6	少子高齢化による人口減少で部落が消滅するかもしれないから
7	子ども達の通学や地域の人々の生活の中にのどかな風景と豊かな環境を保持していきたい。
8	休耕地が増えつつあるため。
9	落ち着いた雰囲気がある。
美しい星空：1人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））	
1	町内でも標高の高いところへ行くとより美しい星空が楽しめる集落がまだ多く残っている。夜は夜らしく空が暗くなり、空気の澄んでいる場所は後世に遺していきたい。

③美しく管理された景観に関するもの	
御立岬：6人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））	
1	芦北町のPRになる。
2	町民の憩いの場
3	公園から見た景観（朝日・夕やけ・海・うたせ船等）がきれいだから。

③美しく管理された景観に関するもの

御立岬：6人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

4	景観・海水浴場等が素晴らしく、安らぎの場所として最高だと思う。当地はみかん畑があり、自然にマッチした遊びなど、大人・子供一緒に楽しめる場所がある。
5	景観がいいので。

並木（桜並木）：2人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	【湯浦河川敷公園の桜と紅葉】季節の素晴らしい景観である。
2	【桜並木】毎年きれいに咲くのを楽しみにしています。

その他：3人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	【県道254号二見田浦線】山の上から所々に見える八代海・天草島等景観がいいです。道路の両側雑木等スッキリさせて、初めての人や地元の人に感動を味わってもらいたい。SNS等にのせて欲しい。
2	【街並】価値がある
3	【計石～田浦間の海岸線の風景】芦北の海の幸のPRと海の美しさ、温泉利用可能を訴えることに適していると思われます。

④施設等に関するもの

温泉：7人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	【湯浦温泉】芦北町の宝（立地も良くコンパクトに集中）。地域の人だけの利用ではなく、工夫次第で観光の目玉になる。
2	【湯浦温泉】泉質が良く、朝も夜も温泉に入る人が多い。温泉文化は貴重なので温泉を残してゆくべきと思う。
3	温泉は地域の集まりの場でもあるし子供も私も好きなので。
4	芦北の海の幸のPRと海の美しさ、温泉利用可能を訴えることに適していると思われます。
5	温泉の歴史があり、癒しの一つとして後世に残した方が良い。
6	よく行くので残してほしい。
7	泉質が良い。

学校や体育館、図書館等：4人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	【小学校等】大人も子供も遊べる場所。笑い声が出る場所。
2	【図書館】芦北町の歴史を学べるので。
3	【スカイドーム】
4	【子どもが家から通えるような体育館・グラウンド・塾など】

海水浴場と海浜公園：7人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	【御立岬海水浴場】若者が来る良い観光資源だから残しておくべき。県外の友人が気に入っている。
---	---

④施設等に関するもの

海水浴場と海浜公園：7人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

2	【ローラーリ्यूージュ】子どもが大好きなので。景色がとても良い。子供たちが好きなので遊べるところを残したい。
3	【御立岬公園他】ネットが普及している現在で自然と触れ合う機会が減っている子供達。外で遊んではしゃいでケガして笑うような環境をずっと残していきたい。無料で子供たちが遊ぶ公園（例えば日奈久ドリームランドシー湯・遊）。

商業施設：4人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	【道の駅「肥後うらら」】
2	【本町アーケード】
3	【バイサイド芦北】
4	【買い物しやすい店】

交通手段：1人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	【肥薩おれんじ鉄道】
---	------------

⑤特産品などに関するもの

甘夏みかん：1人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	色々な問題はあるが今後、廃園等が多くなる一方、地域環境への影響大
---	----------------------------------

田浦銀太刀や漁協の朝市：2人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	他に負けない強い魅力があり、食は本当に大切なものだから。
2	【田浦銀太刀】東京都では最近ドラゴンという認識でおなじみの銀太刀。田浦銀太刀をもっとアピールする必要あり。

水：1（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	（水）大関・古石など美味しいし、木々に癒される。
---	--------------------------

⑥安全・安心に関するもの

治安が良く清潔な町：1人（以下に理由等を記載（意見、要望等は除く））

1	海や山や町が美しい形、安心、安全に暮らせることのありがたさを思います。
---	-------------------------------------

6) 芦北町の環境に対するご意見（自由意見）

回答内容ごとに、「①自然環境や景観の維持・美化について」、「②学習機会や町の姿勢について」、「③ごみに関することについて」、「④地域の活性化について」、「⑤公園等の施設について」、「⑥その他」の6つに分類しました。

①自然環境や景観の維持・美化について（14件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
1	海に生ごみを捨てる人（海の近くの方）がいるようです。	70代女性
2	環境は、人間によって作られた場所、風景も必要だと思うけど、人の手によってつくられない自然そのものの環境も保つことも大事なことだと思う。それで生きている私たち人間がどうするかで環境はすぐに変わると思うので、小さな事から身の回りから心がけるべきだと思う。そして、今にもかも便利で裕福になった時代から昔にかえった時代を知ることも環境を勉強する大切な一歩ではないかと思う。	60代女性
3	環境に関しては、特段目立った課題は感じられず、海、山、川、温泉など様々な資源に恵まれ、今後も生まれ育ったこの芦北町で、暮らし続けていきたいと思っています。しかし、これらの環境は、守っていく努力をしないと残せないものであるという意識や危機感を持った市民は少ないのではと思います。折に触れ、啓発や警鐘を鳴らすことが必要ではないでしょうか。	30代女性
4	河やすだ（※法面の意味）の草が茂って見た目が悪い。	70代男性
5	湯浦川沿いの桜の木が春はとても美しいので、もっと手入れをしてほしい。家の中だけでの生活になる身体の不自由な人達のドライブや散歩を行うのにとても良いと思う。介護者も気分転換になり、より良い介護が出来ると思う。環境は福祉にもとても大切な事です。	50代女性
6	特に近年、山林の手入れが行き届いていないと思われれます。道路沿い、住宅地の周囲などしっかりとした管理が必要と感じます。ことに台風による倒木での電線、電話線の切断など全国的に多いと思っております。	50代女性
7	災害などで山の木々が倒れていたりします。そういった場合の復旧などなるべく早く行って欲しいと感じます。災害復旧が難しいのは分かりますが、復旧していくと心が軽くなります。	60代女性
8	道路沿いに季節の花があるとうれしく思う。月1回ほどの、道路沿いの美化の日を決めたらどうでしょうか？	70代女性
9	なぜ、貝や魚がいなくなったのか調べるべき。	60代
10	町内会などでプランターの花が置いてありますが、最初は美しいと思いますが、お花の時期が過ぎればプランターのみ放置されているのは、もったいないと感じます。	60代女性
11	湯浦川の体積物の排除（在来種の草が水域を塞いでいる）。	60代男性
13	近所の90才ぐらいの男性が道路で用を足されます。痰も吐きながら歩いています。年配者の方に注意はしにくいです。環境問題に直結すると思います。	20代女性

①自然環境や景観の維持・美化について（14件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
13	地域の美化作業だけでは手が届かないところや、作業ができない場所があります。子供が参加すれば親も参加しますが、小さい子供につきっきりになる為、簡単な作業しかできません。町と地区が（企業も）協力して、活動ができればと思います。	30代女性
14	次世代に残したいものは良くわからないけど、自然の景色の美しさは残してほしいと思う。私は星空をみるのが好きです。たくさんの星の出ている時にはきれいで、この町にいて良かったと思う。	女性 60代

②学習機会や町の姿勢について（11件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
1	町自体が積極的に取り組んでいる姿勢が見えない。	70代男性
2	役場のグリーンカーテン続けてください。	50代男性
3	芦北町の環境に関して、地域内の課題等、地域住民での話し合う場の必要あり。	60代男性
4	環境保全活動は大切なことではありますが、非常に難しいことかと思えます（町全体、町民一丸とならないとどうにもならないので）。日頃から環境に目を向けてもらうような仕掛けが必要だし、小さい頃から考える機会が必要かと思えます。熊本県環境センターも水俣市にあることで、タイアップしてイベント等があったらと思います。美しい芦北を後世に残すためがんばっていただけたらと思っています。	40代女性
5	非常に行政が良く取り組んでいると思うので、更になんかしてほしい。	70代男性
6	細かいごみの分別をしないといけないが、町民の環境に対する意識は低いと感じる。環境保全等のイベントを開催しても、興味のある人しか参加しないので、より多くの人に関心を持ってもらうには難しいと思う。大人の意識を変えるのは難しいので、子どもたちが小さい頃から環境に興味を持ち、地元の環境を守っていきたくて思ってくれるようになってほしい。	30代女性
7	環境というテーマが広義すぎて分かりにくい。環境は誰しも良くなってほしいと思っているし、アンケートの内容の主旨が分かりにくい。	50代男性
8	熊本市とか引越した時に、ごみ収集カレンダーや観光マップ、割引券や地図があったり分かりやすいが、芦北のおすすめ観光や、道など分かりにくいし、知らないのも、他の所から来てもらいやすいようにした方が住みやすくなると思います。	40代
9	川内原発の事故での放射能漏れによる汚染の町内への影響について、詳しく情報を告知しておく必要があると思っている。	60代男性
10	環境に関してあまり考えて事がなかった。しかし、芦北町がより良い環境である為には、個人で出来る事、家庭内で出来る事、職場内で出来る事などいろいろな問題に対してあると思う。今すぐ出来る小さな事から始めるべきだと思う（ごみ拾い、ごみの分別、その他）。清掃活動を年内に数回行う。人口減少に歯止めをかける（企業等の誘致）。	50代男性

②学習機会や町の姿勢について（11件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
11	大きい課題ではあるが、住民が安心して暮らせるように。	60代

③ごみに関することについて（6件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
1	芦北町のほとんどの店が買い物袋の有料化を行っていない。町外のほとんどの所が2円～5円でレジ袋を利用するか聞かれます。	50代男性
2	ごみの分別がきびしすぎる。もう少し楽しくリサイクル化ができるようにしてほしい。	30代男性
3	道路清掃をしてほしい。	60代男性
4	ごみの収集の料金が高いため、片付けたくてもできずにいます。もう少し良心的にしていただけたらうれしいです。プラスチックや缶、ダンボールの回収はとてもうれしいです。回収袋を買わなくて済むので。	20代男性
5	時々、プラスチック、ナイロンを燃やしている所を見るので、それだけは・・・。	60代女性
6	ごみ出しがもっと簡単に分別できるようにしてほしい。何か一つでも違う物が入っていたら持って行ってもらえず、何日もそのままになってしまいます。家族の誰かが分別できればいいですが、できない人もいます。近くにいる者にとってどうしたらいいかわかりません。	60代

④地域の活性化について（7件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
1	頑張っているが、どこを取っても中途半端でここだけは他よりも良く自慢できるという場所がない。SNSなどを使って町をPRする、県外からでも来るようなそんな話題が欲しいですね。	40代女性
2	佐敷の町並みはとてもきれいですが、店は開いているのか、開いていないのか分からないので、足が遠のいています。おそらく税金をかなり投入したと思われませんが、商店街としては活気がなさすぎてもったいない。空き店舗は、カフェをやりたい人等に貸すとか、家賃の補助をするとか、有効活用できれば、佐敷城と一帯の活性化もするのではと思います。	50代女性
3	芦北町は城下町であること、城山から望む芦北は西海岸、天草や不知火海、三ツ島があり、小学生の頃、海水浴に出かけ、塩水で洗っていたご飯はとても美味しく皆で楽しんだ光景は今でも忘れません。緑地公園や河川敷公園又周囲の紅葉も美しくグラウンドゴルフ等も出来ること。女島の活力センターも海に囲まれ、コスモスやヒマワリの花で空気もきれいでスポーツも楽しむことができる快適な場所。田浦の御立岬公園での全国火縄銃の演武をまた見たいです。町内に素晴らしい場所はいくつもあります、ほんの一部書きました。※環境に関し全ての内容に対して回答はできていませんがお許し下さいませ。ただただ思ったことを書いてしまいました。	70代女性

④地域の活性化について（7件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
4	美里町のフットパスのように芦北町にも多くの人に参加してもらえ、人と人との交流ができるようになればいいと思う。芦北のフットパスのイベントもあることは知っているが、広がりがまだまだ少ないと思う。芦北の自然を生かしたフットパス、低山の登山道作り、散歩道の整備など、住民の心の安らぎにつながるような取組を期待します。	60 女性
5	佐敷に比べ田浦の方はだんだんさびしくなっている。田浦の方にも力を入れてください。	70 代
6	ローテクとハイテクを融合させて先駆ける取り組みをしたい。	40 代女性
7	田浦にも町内バスをお願いします。お年寄りの方が困っておられます。タクシーもない状態。	

⑤公園等の施設について（4件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
1	自然のある公園を作ってもよい（小川が流れたり、花や木のある公園）。	30 代女性
2	雨の日でも子供が遊べるスペースがほしい。	20 代女性
3	日本一になった上田浦駅から御立岬公園の歩道。途中でトイレがないのが残念。上田浦駅のトイレも古くて子供はこわがって入れない。せっかく日本一になったのに残念である。駅のトイレと途中（波多島）位にでもトイレがあったらと思う。イベントの時だけ仮設トイレでは残念。	60 代女性
4	緑の多い公園が少ないと思う。遊具も少なく、子供たちが遊べる所が少ないと思う。インドアになりがちなこのご時世であり、子供たちが行きたくなくなるような公園が欲しいです。温泉もたくさんあるのに、足湯など気軽に立ち寄れる所がないです。温泉をもう少し生かして町おこしなどしてはどうでしょうか？	40 代女性

⑥その他（5件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
1	【空き家】空家の増加	70 代男性
2	【防犯】自分達の住む家は、仕事があってもなくても、くつろぐ家、住まいです。悪者がおらないように、他からも来ないようにした町づくりが大切であるように私の願いはこれです。私達は、住宅暮らして色々辛くてたまらない時もあります。どの戸でもそうです。住宅に住む暮らしはとても気がかりなところ。留守にして行く事（カギ）この町に住んで満足なく悲しんでいても心配してもつまらない町づくりではいけません。芦北町は平和です。愛変わらず愛の町となるように、おはようございます、こんにちになりますように。	

◎その他（5件）

No.	意見や要望（アイデア）等	備考
3	【人口減少】芦北町の人口が増える政策をしてもらいたい。税金が増えたら払いきらんことなる。	50代男性
4	【有害鳥獣】野生動物のイノシシ・野犬・カラス等の人的・農作物への被害をもたらす動物への対策をもっと強化してほしい。	60代男性
5	【有害鳥獣】イノシシ、シカ等の被害が大きいので駆除を進めてほしい（環境を破壊している）。	60代女性

3 アンケート結果（中学生・高校生）

(1) アンケート実施概要

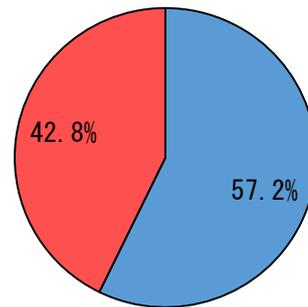
対象者	芦北高等学校及び町立中学校の生徒で、協力が得られた学年、学級の生徒
調査方法	学校を通じてアンケート用紙の配布・回収（無記名）
実施時期	令和元年11月
回収結果	配布数 175 通 返信数 166 通 返信率 94.9%
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 各回答項目の割合（％）は、端数処理の関係上（小数第2位で四捨五入）、合計が100%にならない場合があります。 「自由記入」や「自由意見」については、原則、原文のまま掲載していますが、プライバシーに関する記述や不適切な表現があった場合は、該当部分あるいは全文を削除等している場合があります。

(2) 回収結果

「男」が57.2%で、「女」42.8%より約14.4%上回っていました。

<全体>

選択肢	人数	割合
男	95	57.2%
女	71	42.8%
計	166	100%



■男 ■女

<学校別>

選択肢	田浦中		湯浦中		佐敷中		芦北高校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男	16	53.3%	13	39.4%	33	61.1%	33	67.3%
女	14	46.7%	20	60.6%	21	38.9%	16	32.7%
計	30	100%	33	100%	54	100%	49	100%

<学校種別>

選択肢	中学校		高校	
	人数	割合	人数	割合
男	62	53.0%	33	67.3%
女	55	47.0%	16	32.7%
計	117	100%	49	100%

<学生種別>

回答者	人数	割合
中学生	117	70.5%
高校生	49	29.5%
計	166	100%

(3) 集計結果

1) あなたが実施している、環境を守るための行動について教えてください。

【ア 自然や生物について】

<項目：野生生物のことを知る>

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	12	7.2%
・時々実行している	73	44.0%
・これから実行したい	57	34.3%
・これからも実行しない	24	14.5%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

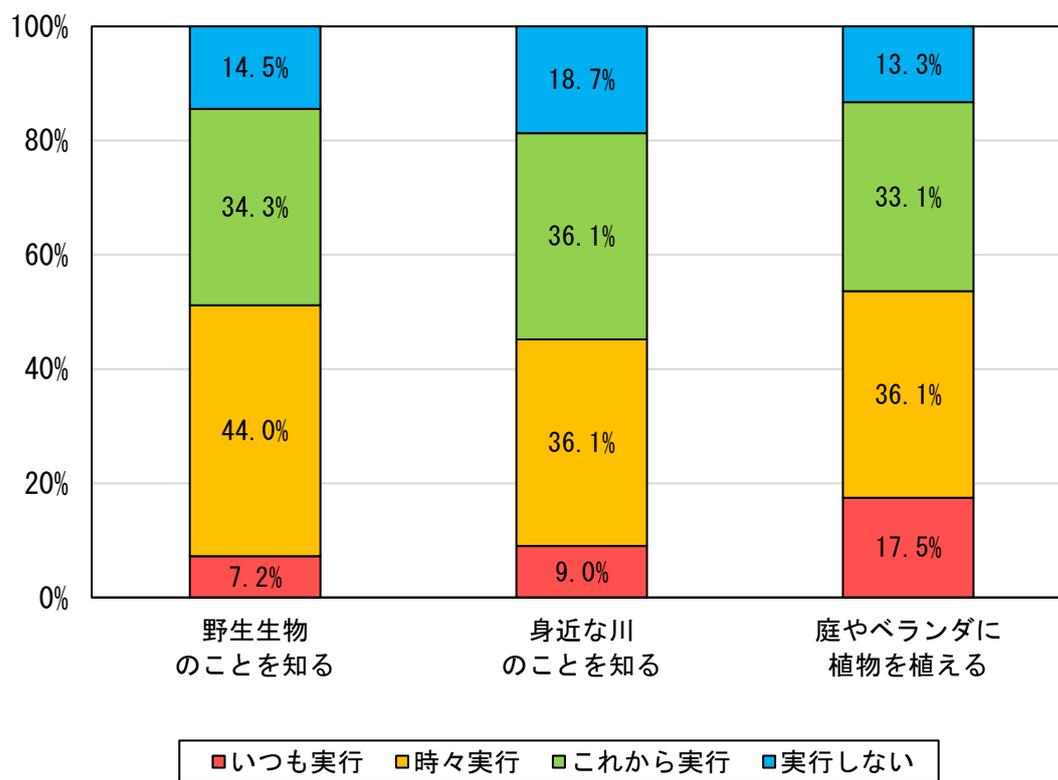
<項目：身近な川のことを知る>

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	15	9.0%
・時々実行している	60	36.1%
・これから実行したい	60	36.1%
・これからも実行しない	31	18.7%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

<項目：庭やベランダに植物を植える>

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	29	17.5%
・時々実行している	60	36.1%
・これから実行したい	55	33.1%
・これからも実行しない	22	13.3%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【ア 自然や生物について】



【イ 住みやすく美しい町について】

＜項目：自転車は決められた場所に駐輪する＞

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	144	89.4%
・時々実行している	14	8.7%
・これから実行したい	0	0.0%
・これからも実行しない	3	1.9%
有効回答	161	100%
無回答（無効回答含む）	5	
全回答	166	

＜項目：環境ボランティアに参加する＞

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	19	11.4%
・時々実行している	65	39.2%
・これから実行したい	70	42.2%
・これからも実行しない	12	7.2%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

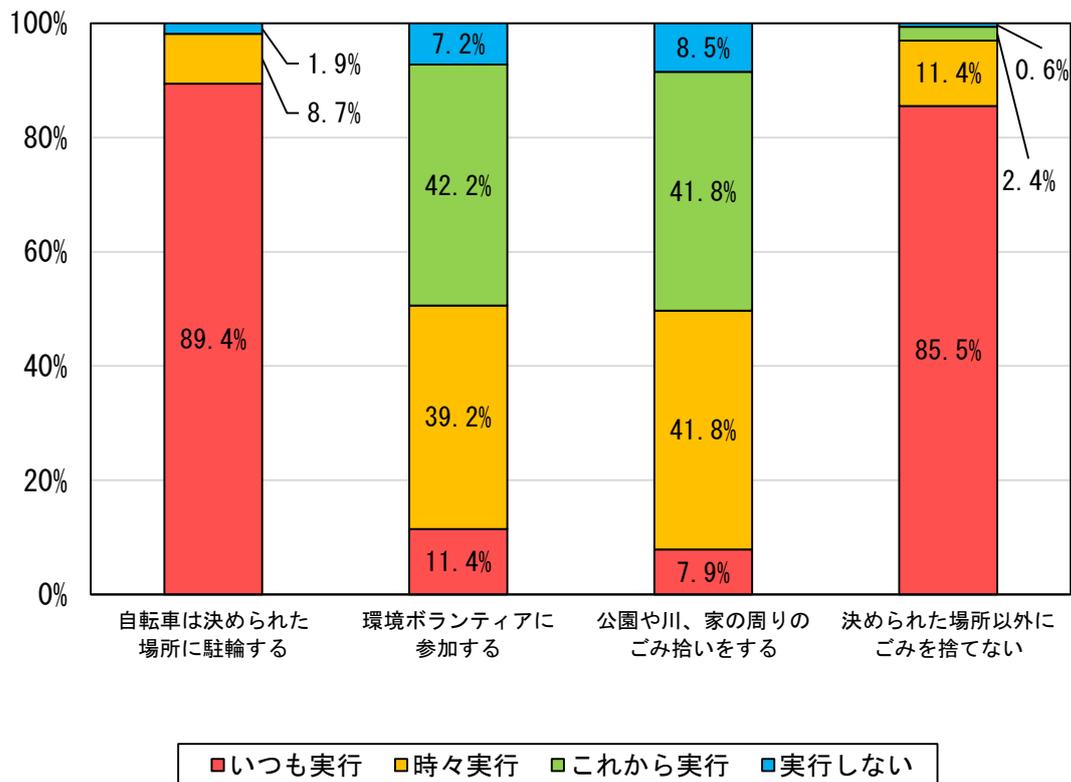
＜項目：公園や川、家の周りのごみ拾いをする＞

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	13	7.9%
・時々実行している	69	41.8%
・これから実行したい	69	41.8%
・これからも実行しない	14	8.5%
有効回答	165	100%
無回答（無効回答含む）	1	
全回答	166	

<項目：決められた場所以外にごみを捨てない>

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	142	85.5%
・時々実行している	19	11.4%
・これから実行したい	4	2.4%
・これからも実行しない	1	0.6%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【イ 住みやすく美しい町について】



【ウ 安心して暮らせる生活の環境について】

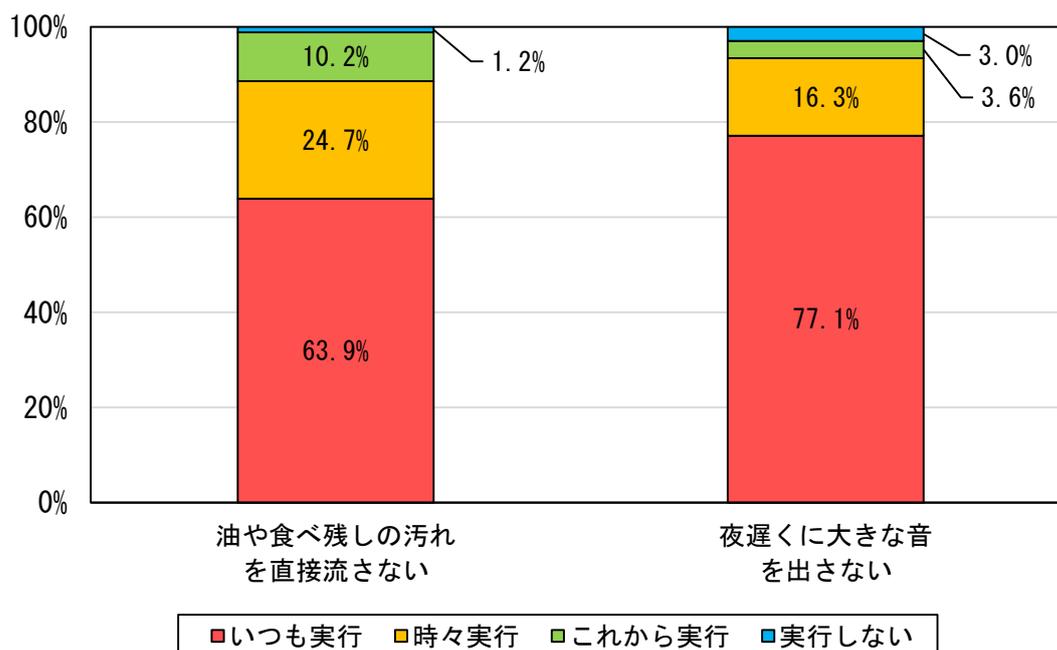
<項目：油や食べ残しの汚れを流しに直接流さない>

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	106	63.9%
・時々実行している	41	24.7%
・これから実行したい	17	10.2%
・これからも実行しない	2	1.2%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

<項目：夜遅くに大きな音を出さない>

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	128	77.1%
・時々実行している	27	16.3%
・これから実行したい	6	3.6%
・これからも実行しない	5	3.0%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【ウ 安心して暮らせる生活の環境について】



【エ 省エネについて】

＜項目：部屋の照明やテレビなど、使用しない時は電源を切る＞

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	111	66.9%
・時々実行している	40	24.1%
・これから実行したい	14	8.4%
・これからも実行しない	1	0.6%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

＜項目：冷房時 28℃、暖房時 20℃を目安に温度設定する＞

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	55	33.3%
・時々実行している	50	30.3%
・これから実行したい	49	29.7%
・これからも実行しない	11	6.7%
有効回答	165	100%
無回答（無効回答含む）	1	
全回答	166	

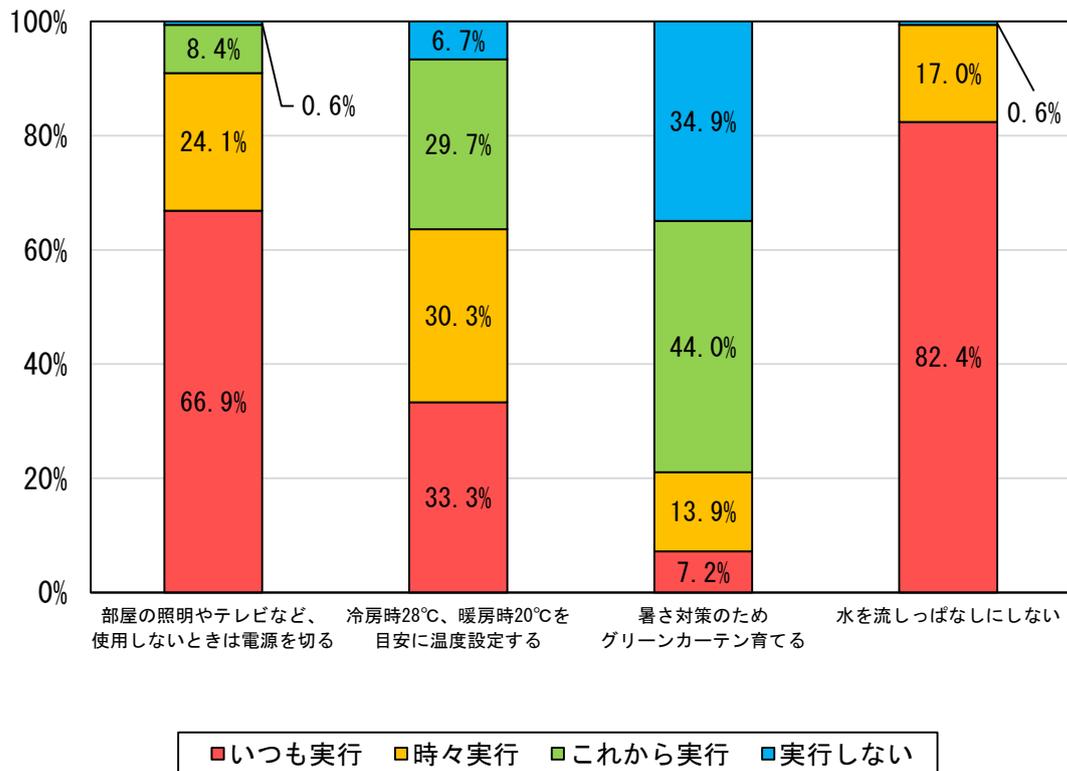
＜項目：暑さ対策のためグリーンカーテン（ゴーヤ等）を育てる＞

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	12	7.2%
・時々実行している	23	13.9%
・これから実行したい	73	44.0%
・これからも実行しない	58	34.9%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

<項目：水を流しっぱなしにしない>

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	136	82.4%
・時々実行している	28	17.0%
・これから実行したい	0	0.0%
・これからも実行しない	1	0.6%
有効回答	165	100%
無回答（無効回答含む）	1	
全回答	166	

【エ 省エネについて】



【オ 3R（ごみを出さない、繰り返し使う、材料として再利用する）について】

＜項目：レジ袋をもらわないようにする＞

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	20	12.0%
・時々実行している	54	32.5%
・これから実行したい	75	45.2%
・これからも実行しない	17	10.2%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

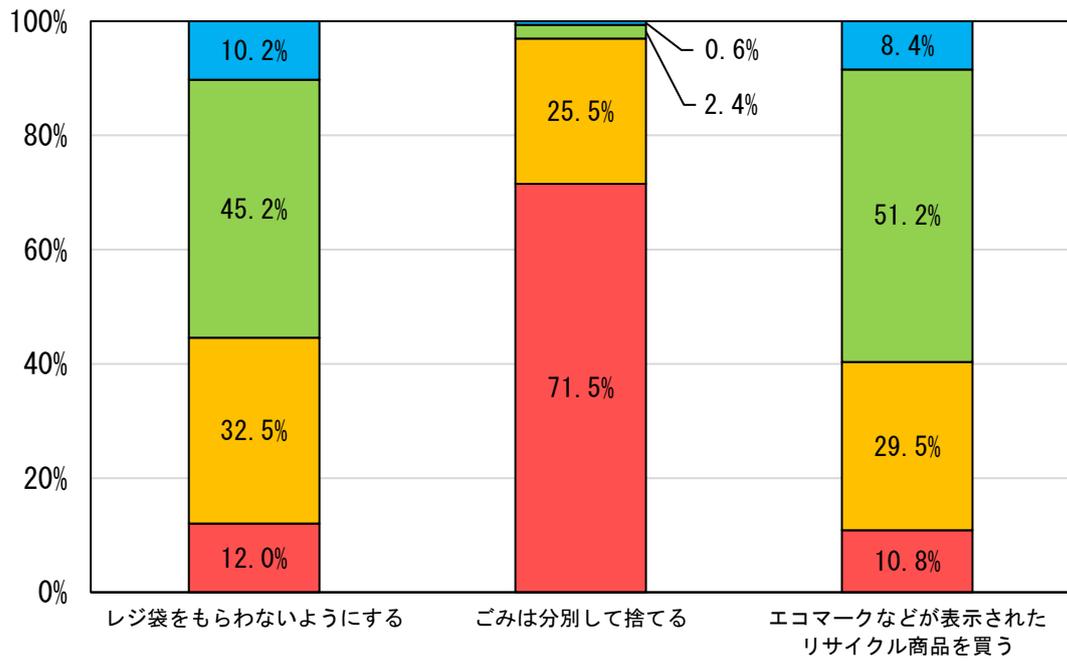
＜項目：ごみを分別して捨てる＞

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	118	71.5%
・時々実行している	42	25.5%
・これから実行したい	4	2.4%
・これからも実行しない	1	0.6%
有効回答	165	100%
無回答（無効回答含む）	1	
全回答	166	

＜項目：エコマークなどが表示されたリサイクル商品を買う＞

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	18	10.8%
・時々実行している	49	29.5%
・これから実行したい	85	51.2%
・これからも実行しない	14	8.4%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【オ 3Rについて】



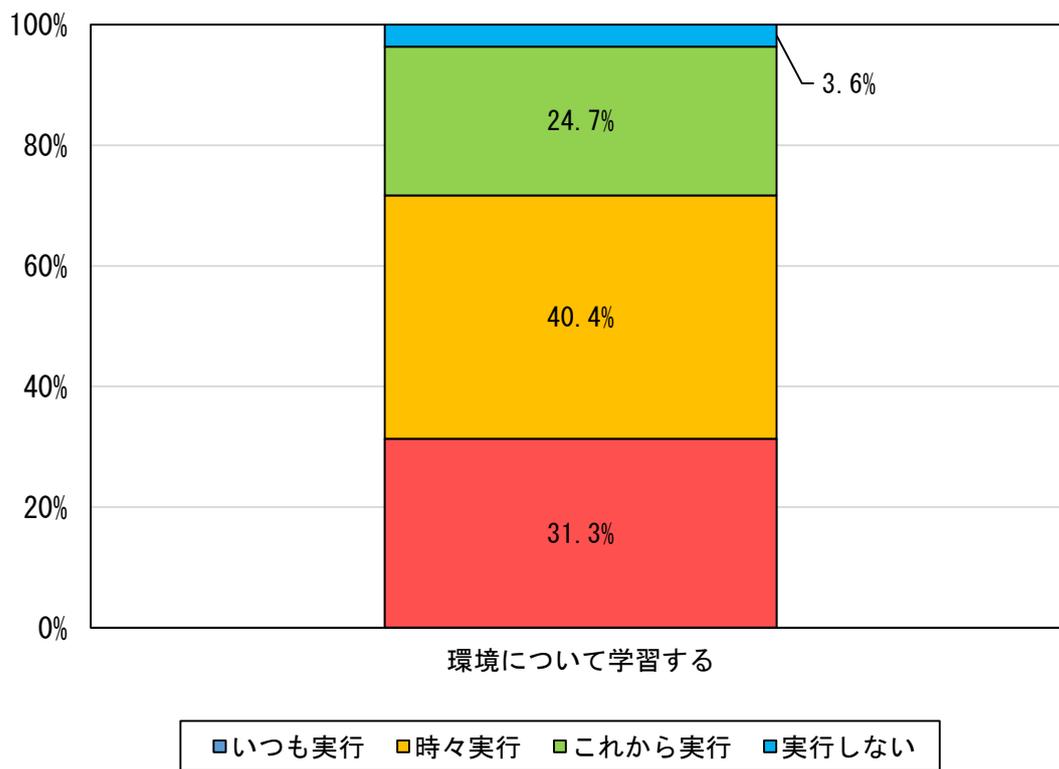
■いつも実行 ■時々実行 ■これから実行 ■実行しない

【カ みんなの力でより良い環境を目指す取組みについて】

<項目：環境について学習する>

選択肢	人数	割合
・いつも実行している	52	31.3%
・時々実行している	67	40.4%
・これから実行したい	41	24.7%
・これからも実行しない	6	3.6%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【カ みんなの力でより良い環境をめざす取組みについて】



2) 環境について、あなたが大切だと思うことを教えてください。

【ア 自然や生物について】

<項目：自然が守られること>

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	159	95.8%
・どちらでもない	5	3.0%
・大切だと思わない	2	1.2%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

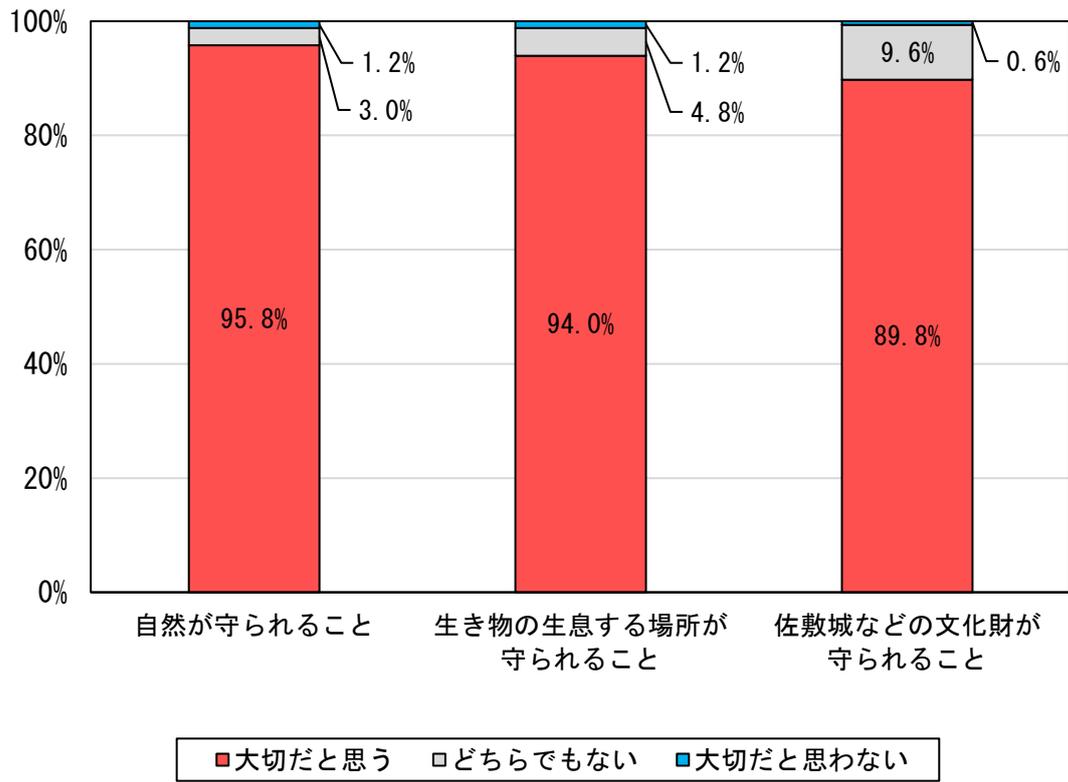
<項目：生き物が生息する場所が守られること>

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	156	94.0%
・どちらでもない	8	4.8%
・大切だと思わない	2	1.2%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

<項目：佐敷城跡などの文化財が守られること>

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	149	89.8%
・どちらでもない	16	9.6%
・大切だと思わない	1	0.6%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【ア 自然や生物について】



【イ 住みやすく美しい町について】

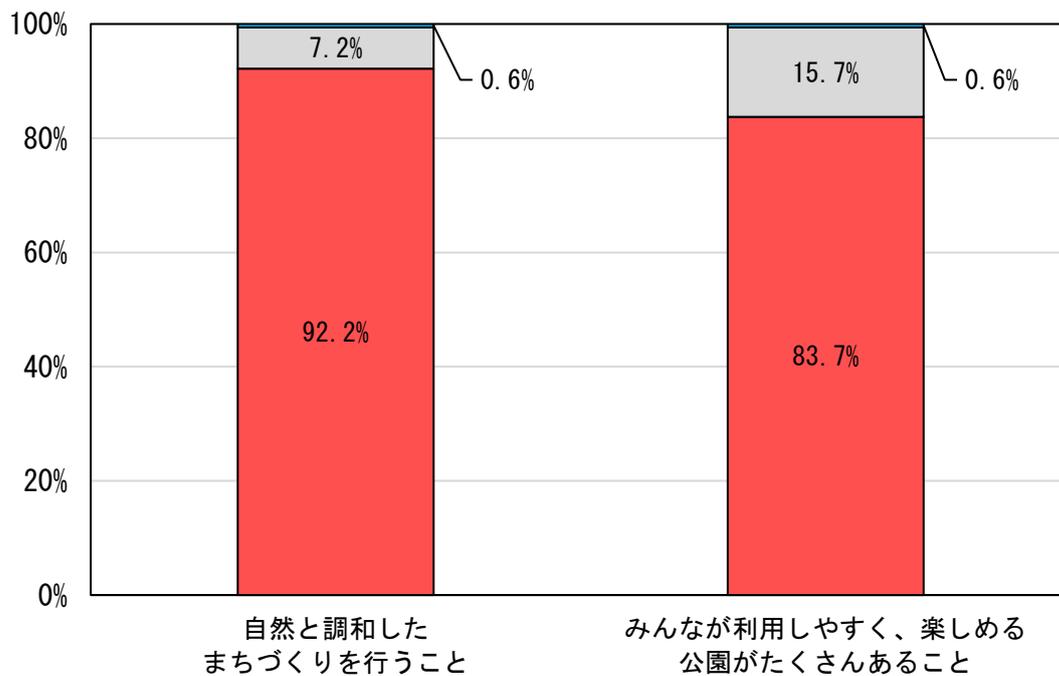
<項目：自然と調和したまちづくりを行うこと>

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	153	92.2%
・どちらでもない	12	7.2%
・大切だと思わない	1	0.6%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

<項目：みんなが利用しやすく、楽しめる公園がたくさんあること>

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	139	83.7%
・どちらでもない	26	15.7%
・大切だと思わない	1	0.6%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【イ 住みやすく美しい町について】



■ 大切だと思う □ どちらでもない ■ 大切だと思わない

【ウ 安心して暮らせる生活の環境について】

<項目：空気が澄んでいること>

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	158	95.2%
・どちらでもない	8	4.8%
・大切だと思わない	0	0.0%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

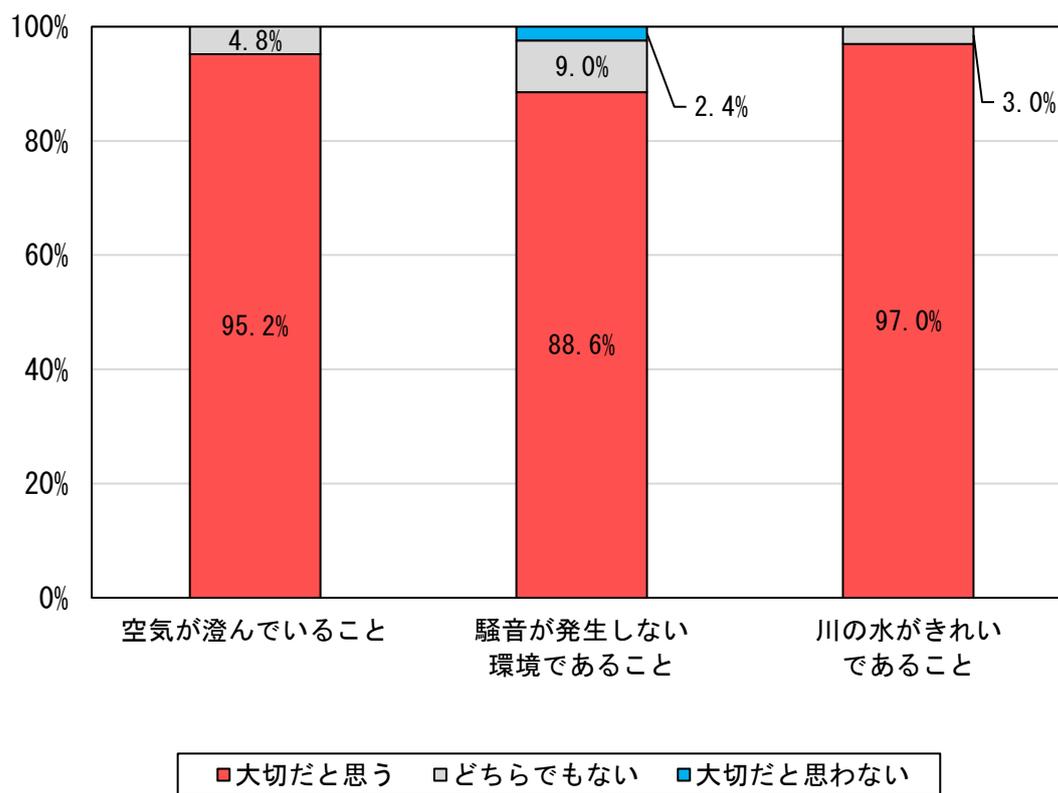
<項目：騒音が発生しない環境であること>

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	147	88.6%
・どちらでもない	15	9.0%
・大切だと思わない	4	2.4%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

<項目：川の水がきれいであること>

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	161	97.0%
・どちらでもない	5	3.0%
・大切だと思わない	0	0.0%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【ウ 安心して暮らせる生活の環境について】



【エ 地球温暖化防止対策について】

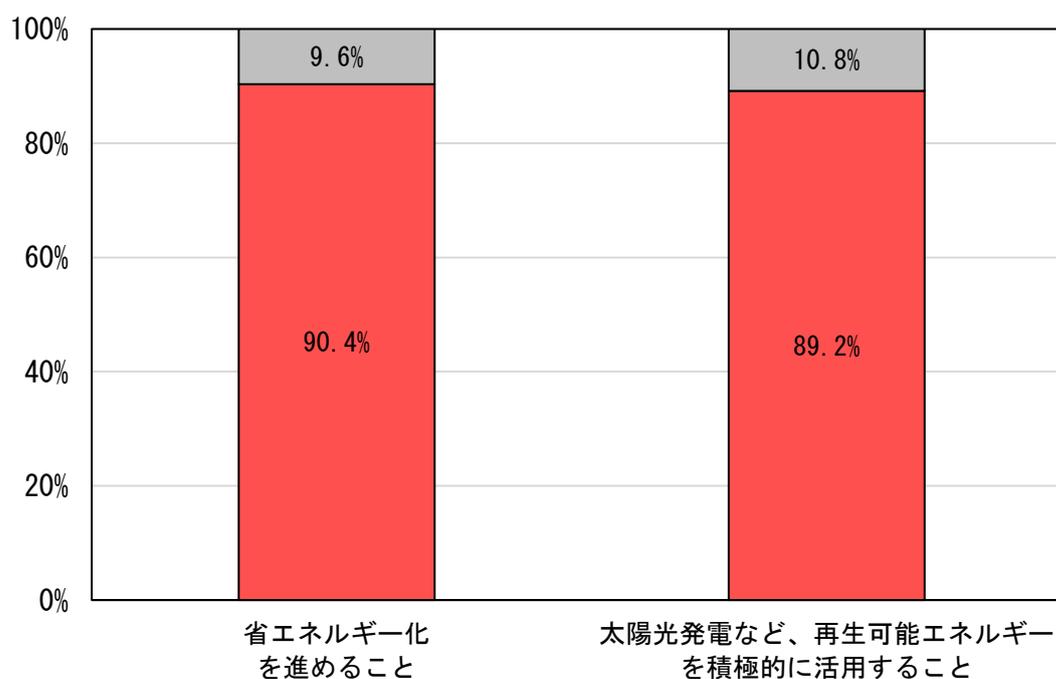
＜項目：省エネルギー化を進めること＞

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	150	90.4%
・どちらでもない	16	9.6%
・大切だと思わない	0	0.0%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

＜項目：太陽光発電など、再生可能エネルギーを積極的に活用すること＞

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	148	89.2%
・どちらでもない	18	10.8%
・大切だと思わない	0	0.0%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【エ 地球温暖化防止対策について】



■大切だと思う □どちらでもない □大切だと思わない

【オ 3R（ごみを出さない、繰り返し使う、材料として再利用する）について】

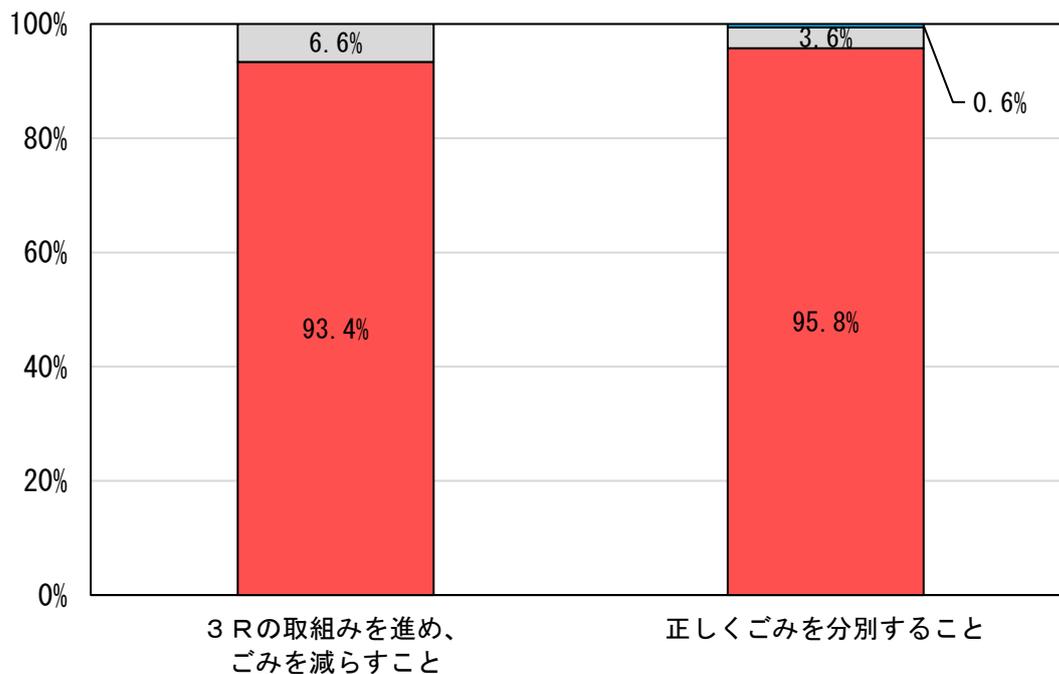
＜項目：3Rの取組みを進め、ごみを減らすこと＞

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	155	93.4%
・どちらでもない	11	6.6%
・大切だと思わない	0	0.0%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

＜項目：正しくごみを分別すること＞

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	159	95.8%
・どちらでもない	6	3.6%
・大切だと思わない	1	0.6%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【オ 3Rについて】



■大切だと思う □どちらでもない ■大切だと思わない

【カ みんなの力でより良い環境をめざす取組みについて】

＜項目：環境に関する情報を入手しやすいこと＞

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	127	76.5%
・どちらでもない	37	22.3%
・大切だと思わない	2	1.2%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

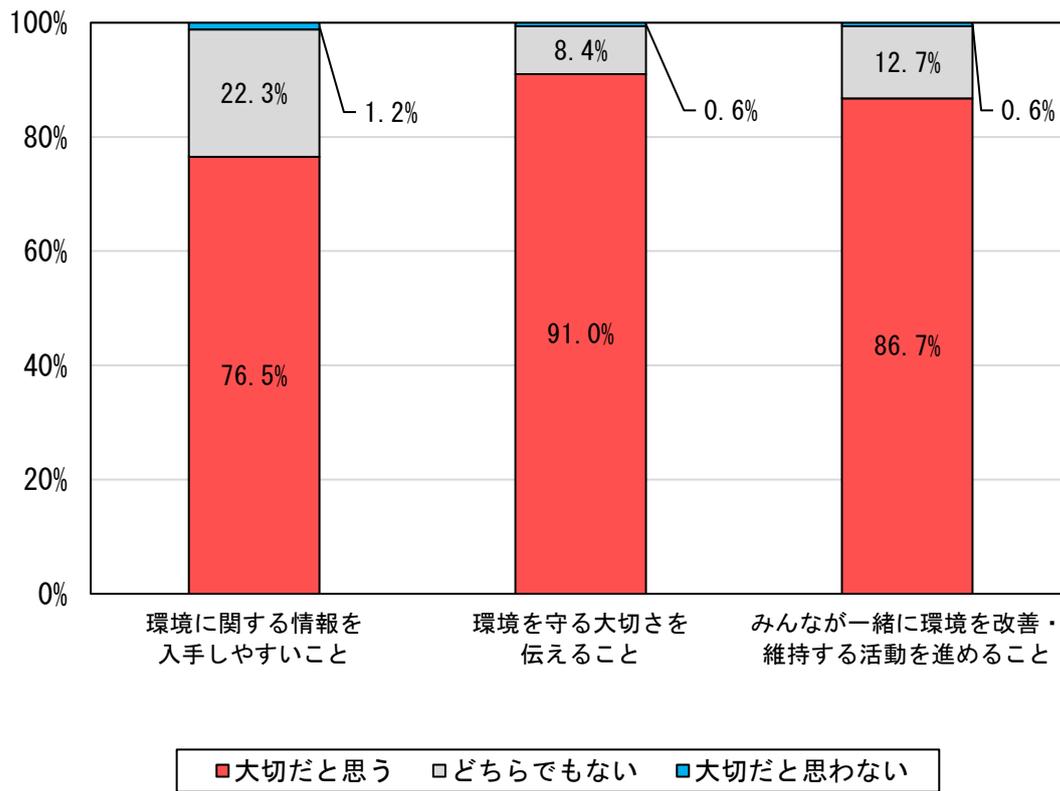
＜項目：環境を守る大切さを伝えること＞

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	151	91.0%
・どちらでもない	14	8.4%
・大切だと思わない	1	0.6%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

＜項目：みんなが一緒に環境を改善・維持する活動を進めること＞

選択肢	人数	割合
・大切だと思う	144	86.7%
・どちらでもない	21	12.7%
・大切だと思わない	1	0.6%
有効回答	166	100%
無回答（無効回答含む）	0	
全回答	166	

【カ みんなの力でより良い環境を目指す取組みについて】



3) どうすれば芦北町の環境がより良くなると思いますか。(問題点と解決策)

問題点及び解決策に応じ、「①自然(海、山、川、生物等)関すること」、「②環境美化に関すること」、「③ごみの削減に関すること」、「④安心して暮らせる生活環境に関すること」、「⑤環境に対する意識に関すること」、「⑥その他」の6つに分類しました。

①自然(海、山、川、生物等)に関すること(31件)

No.	問題点	解決策
1	ホテルが長く生きられる環境づくり	芦北町民による会議の実施
2	川のごみや河原のごみが多い。	地域でのごみ拾い活動の普及
3	海にごみがある。	ごみを披露。
4	海にごみが落ちている。	拾う。
5	海にごみやサンダルが浮いている。	ボランティアを募集する。
6	川にペットボトルなどが流れている。川辺などにごみがある。	リサイクル活動をする。鏡をつけて悪い事をしているとポイ捨ての本人に分からせる。
7	川が汚れて生き物が生活できていない、海にごみが流れてくる。	水をきれいにする、ごみ拾いをする。
8	海にごみが浮いている。	分別し捨てる。
9	海にごみが浮いている。	分別し決められたところへ捨てる。
10	ごみが川にある。	ごみを捨てないように決まりを作る。
11	ごみが川に浮いている。	ポイ捨てを拾う、ボランティアをする。
12	海にごみがある。	ごみになる物を持って行かない。
13	海岸のごみ	ごみ拾い、まず捨てないようにする。
14	川が汚れていること。	1つのごみが捨ててあると捨てていいんだという考えになってしまうため、ボランティア活動を行うといいと思う。ポスターなどを貼る。
15	山や川にごみを捨てること。	捨てられたごみは拾って回収する。
16	川にごみがあったりごみが流れていたりしている。	ごみは決められた処理のしかたで処理する。
17	川にごみがある。	注意して呼びかけなどをする。

①自然（海、山、川、生物等）に関すること（31件）

No.	問題点	解決策
18	川にごみが捨ててある。山にカンやびんなどが捨ててある。	ごみを捨てている人を見つけたら注意する。
19	川にごみを捨てる人がいる。	個人の考え方を変える必要がある。
20	川が汚れている。	分別を増やす。ごみ箱を設置する。
21	工事などに使われて、木の生えていない山がある。	木を植えて、元のように戻していく。
22	川にごみがある。	きれいにする活動を行う。
23	川などにごみが浮いていることがある。	ごみ拾い、ごみを捨てない。
24	学校のそばの川に生活排水がそのまま流れているところ。	（生活排水が）そのまま川に流れないようにする。
25	海、川、山の近くなどにごみが落ちていること。	自分から拾ったり、ボランティア活動を開いたり、防災無線を使って呼び掛けたりしていく。
26	放置された森林が多い。	
27	川や海近くのごみが多い。	
28	海が汚れている。	
29	川にごみなどがある。	
30		もう少し自然を豊かにする。
31		緑を増やす！ポイ捨てをしない。

②環境美化に関すること（79件）

No.	問題点	解決策
1	町にごみが散らかっている。	ボランティア等に参加する。
2	ごみが多い。	ごみはちゃんと捨てる。
3	ごみが落ちている。	ごみを拾う（ちゃんと捨てる）。
4	ごみが落ちている。	ごみ拾いをする。

②環境美化に関すること（79件）

No.	問題点	解決策
5	ごみ捨て。	ごみはごみ箱へ。
6	たばこのポイ捨てがよく見られる。	捨てる場所をつくる。
7	ポイ捨てが多い。	ボランティアでごみ拾いをする。
8	道端にごみが落ちている。	ごみを集める活動。
9	ごみが道端にたくさん落ちている。	ボランティア活動を月1で入れる。
10	ごみを捨てる人がいる。	ごみは持ち帰り捨てるようにする。
11	そこらへんにごみが捨ててある事がある。	ポイ捨てしない、ごみ箱に捨てる。
12	ごみが道路などに落ちている。	1人ひとりがごみ箱にしっかり捨てる。
13	ごみ捨て。	捨てる。
14	道や公園にごみが落ちていることがある。自動販売機じゃないところにペットボトルがある。	ごみを見つけたら見て見ぬふりをせず、拾って捨てる。きちんとしたところに捨てる。
15	公共の場にごみが落ちている。	ごみを落とさない。
16	ごみがいろいろな所に落ちている。	いろいろな所にごみ箱を設置する。
17	ごみが決められた所に捨てられていない。	決められた所に捨てる。
18	道路のまわりにごみなどがたくさん捨ててある。	見つけたごみは拾ってごみ箱に入れる。
19	決められた所以外にごみが捨ててある。	決められた所にごみを捨てるように呼びかける。
20	たまに、ごみが落ちている。	ポイ捨てしないようにするための呼びかけ・看板作りなど。
21	近くの空き地にごみがたくさん捨てられている。	ごみ拾いの活動を実施する。看板を立てる。
22	キャンプをした人や観光客がごみを捨てている。	ごみ箱を用意する。
23	たまにポイ捨てしてある、歩きタバコしてる人がいる。	ポイ捨て禁止看板を作る、注意をよびかける。

②環境美化に関すること（79件）

No.	問題点	解決策
24	ポイ捨て。	ごみ箱の設置
25	ポイ捨てする人がいる。	ごみ箱にちゃんと捨てる。
26	ポイ捨て。	いろいろな所にごみ捨て場を作る。
27	道にごみが捨ててある。	呼びかけをする。
28	ごみが道に捨てられている。	ごみ箱を増やす。
29	決められた場所以外にごみが落ちている。	捨てない、落ちていたら拾う。
30	ごみのポイ捨て、ごみの量が多い。	ボランティアなどでごみ拾いをする。再利用できる物はもう1度使う（小さくなった服などは誰かにあげたり、別のものにかえたりする）。
31	ポイ捨てする人がいる。	それぞれの町でごみの分別表をはる。マイバッグを持って買い物をする。
32	ごみが時々捨ててあることがある。	ごみをその辺に捨てないようにする。
33	ごみ箱が少ない。	人通りが多いところにごみ箱を設置する。
34	ごみが落ちている。	ごみ箱の設置（誰かが拾っても家に持って帰るのがめんどうくさいと感じるからみんな捨わない）。
35	ごみが川や道に落ちている。	ごみ箱を作る。
36	ごみが多い。	ごみを少なくする。
37	川や道端にごみが捨ててあること。	芦北町に住んでいる人で年に何回かごみ拾いをする。
38	ポイ捨てが多い。	誰もが捨てていいようなごみ箱の設置を行う。
39	ポイ捨てが多い。	ポイ捨てをしないように町全体で呼びかける。
40	ごみが多いこと。	ごみ箱を置いておく、ポイ捨てしないように呼びかける。
41	ごみが道端に落ちている。	ごみ箱を増やす。

②環境美化に関すること（79件）

No.	問題点	解決策
42	ごみがいろいろな所に落ちている所に捨ててある（ポイ捨て）。	看板などの設置。
43	川や道路などに空き缶などのごみが落ちているときがある。	ごみ拾いなどボランティアを増やし、チラシ等で声掛けをしたりする。
44	ごみが捨ててある。	「ごみを捨てないでください」の看板を貼る。
45	車からごみを捨てる人がいる。	個人の考え方を変える必要がある。
46	ポイ捨て。	分別を増やす。ごみ箱を設置する。
47	ポイ捨て。	ポイ捨てをするのではなく、ちゃんと分別をすること。
48	たばこの煙。	あまりたばこを吸わない。
49	公園などよくごみを見つける。	ごみ箱の設置。
50	道の端に時々ごみや袋が落ちている。	所々にごみを捨てる所を造る。町の掃除を積極的に行う。ごみの分別の種類を増やす。
51	道路にたばこの吸い殻やごみが落ちていることが多い。	ポイ捨てをしない。町の中でごみ箱の設置を多くする。
52	ごみが不法投棄されていることがある。	注意を呼び掛ける。
53	ごみが落ちているのをたまに見る。	ごみ箱の量を増やす（ごみ箱を道に置いておく）。
54	ごみが溝の付近とかに落ちている。	ごみ箱を設置する。
55	ごみがたまに道や人が気付にくい所に捨ててあることがある。	気付いた人がごみを拾い、ごみを捨てる人をきちんと分別してから“ごみ箱”に捨てるとうい！
56	つぶれた缶が道に落ちていた。	道にごみが落ちていたら、自分のものでなくても拾うといいですね。
57	道ばたにごみが落ちているのをよくみかける。	ポイ捨てをしない。
58	たまに道路にごみが落ちている。道のすみっこにジュースの缶がいっぱいあった。	ごみ拾いをする。

②環境美化に関すること（79件）

No.	問題点	解決策
59	ごみが捨ててある。	看板やポスターなどを貼ったり、呼びかけ運動などをしたりする。
60	時々道にごみが捨てられている。	積極的に拾う。
61	川、道にごみが落ちていること。	水辺（川、家の周り）のごみ拾いを積極的に行う。
62	ごみを捨てないでという看板が立っているにもかかわらずごみを捨てていること。	私がたまに拾いに行く。そして監視カメラをつける。
63	ごみ箱が少なくごみが散らかっているところがある。	ごみ箱を多く設置すべきだと思う。
64	ポイ捨てをする人がいる。	ポスターなどを貼って呼び掛ける。
65	たまに公共の場でごみが落ちている。	ごみをしっかり捨てる。
66	ごみ置き場以外に置いてあるごみがたまにある。	ごみ置き場に捨てるのを面倒くさからず、しっかり決まった場所に捨てられるようにポスターを貼る。
67	ポイ捨て。たばこを吸っている。	ごみを勝手に燃やさない。家まで持ち帰るかごみ箱にちゃんと捨てる。
68	ごみ（タバコの吸殻）を道に捨てている人がいる。	
69	道の途中にごみが落ちている。	
70	いたる所にごみが落ちていること。	
71	道端にごみが落ちている。川にもごみが落ちている。	
72	ポイ捨て。	
73		町全体でごみを拾うイベントを作る。
74		身近にごみ箱を置く、人の目が届くところにポスターを貼る。
75		芦北町全体で年に一回くらいごみ拾いなどの清掃活動をする。必要な建物以外は建てすぎない。

②環境美化に関すること（79件）

No.	問題点	解決策
76		ボランティア活動を行うといいと思う。ポスターなどを貼る。
77		ポイ捨てをしない。
78		ポイ捨てをしないこと。そして道端とかに捨ててあった物は自分で捨てるときれいな環境になると思った。
79		地区で集まって清掃活動をする。分別する種類を増やす。

③ごみの削減に関すること（13件）

No.	問題点	解決策
1	分別の設備をよくする。	分別しやすい表。
2	ごみがきちんと分別されていない。お店でレジ袋をもらう人がたくさんいる。	それぞれの町でごみの分別表をはる。マイバッグを持って買い物をする。
3	ごみの分別が出来ていない。	分別用のごみ箱を各場所に置く。ごみ箱に分類順に名前が書いてある。
4	分別が水俣より少ない。ポイ捨て。	分別を増やす。ごみ箱を設置する。
5	分別ができていないごみがある（プラスチックごみの所に生ごみが捨ててあること）。	ごみ置き場に捨てるのを面倒くさがらずに、しっかり決まった場所に捨てられるようにポスターを貼る。
6		買い物に行く時はエコバッグを持って行き、レジ袋をもらわないようにする。
7		ごみを分別する。
8		ごみの分別を増やす。
9		水俣市のようなごみの分別の取組をする。
10		分別の種類を増やす。
11		水俣のようにごみを捨てる時に分別するものの量を多くして地域でそれぞれ分けるようにする。

③ごみの削減に関すること（13件）

No.	問題点	解決策
12		水俣のようにもってごみの分別をする。見習う。
13		ごみの分別をしやすくする。

④安心して暮らせる生活環境に関すること（6件）

No.	問題点	解決策
1	雨が降り続いたら土砂崩れが起きそうなところがある。	柵を作る、そんな所に住まないようにする。
2	植物が道路にダラーってなっている。段差が多くお年寄りが大変だし、危険階段が多い！	（植物は）切って通りやすくしてほしい。 （階段は）スロープを増やす。
3	車の排出ガスで汚染されている。	買い物をする時はエコバッグを持って行く。家の近くに行くときは、自転車で رفتり歩いて行ったりする。
4	焼却や埋め立てによる大気汚染。	焼却や埋め立てだけでなく、資源化を主に取り組む。
5	バイクがうるさい。	
6	勝手にごみなどを燃やしている家がある。	

⑤環境に対する意識に関すること（3件）

No.	問題点	解決策
1		環境について学ぶ機会をつくる。
2		1人1人みんなが気を付ける。
3		1人1人が環境のことについて意識しながら生活するともっと良くなると思う。

⑥その他（5件）

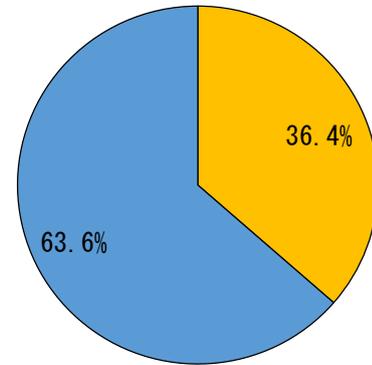
No.	問題点	解決策
1	観光での来客の減少。	芦北町民による会議の実施。
2	人口を増やす（出産率を増やす、婚活）。	人口を増やせるような子どもを産んだ時の待遇をする。
3	住んでないからわからない。特に下校中にも気になったことはない。	
4	店が少ない。	
5		遊具のたくさんある公園を作る。

4) 今年はほたるを見ましたか。

「見ていない」が63.6%で、「見た」の36.4%より約27.2%上回っていました。

<全体>

選択肢	人数	割合
・見た	59	36.4%
・見ていない	103	63.6%
有効回答	162	100%
無回答（無効回答含む）	4	
全回答	166	



■ 見た ■ 見ていない

<学校別>

選択肢	田浦中		湯浦中		佐敷中	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
・見た	7	24.1%	10	31.3%	26	48.1%
・見ていない	22	75.9%	22	68.8%	28	51.9%
有効回答	29	100%	32	100%	54	100%
無回答（無効回答含む）	1		1		0	
全回答	30		33		54	

選択肢	芦北高校	
	人数	割合
・見た	16	34.0%
・見ていない	31	66.0%
有効回答	47	100%
無回答（無効回答含む）	2	
全回答	49	

<表紙の写真>

【表】



- ① (春) 国指定史跡「佐敷城跡」から見た町中心部
- ② (夏) うたせ船と不知火海に沈む夕日
- ③ (秋) 女島活力推進センターゆめもやいに咲くコスモス
- ④ (冬) 日本一になった田浦の星空 (御立岬公園シンボルタワー)

【裏】



町指定天然記念物「ツクシムレスズメ」



第2次芦北町環境基本計画

発行 芦北町 住民生活課 環境対策係

〒869-5498

熊本県葦北郡芦北町大字芦北 2015 番地

電話 0966-82-2511 (内線 145、147)
